

完成版  
H30.7.17

新潟市教育ビジョン第3期実施計画  
～NEXT&NEW～

平成29年度 施策最終評価



平成30年5月31日

新潟市教育ビジョン推進委員会

## 新潟市教育ビジョン平成29年度施策実施状況最終報告 施策一覧

基本施策(13施策)	施策(54施策) 網掛…【NEXT】&【NEW】に該当する施策		3期進捗 平均評価	担 当 課 (◎とりまとめ課、○関係課、※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料 頁				
				総務	学務	施設	保給	地教推	学人事	教育職	支援	図書	生セ			中公	総セ		
1 確かな学力の向上	1-1	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進	【NEXT】	4.3								◎				○	☆	1	
	1-2	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進		4.0								◎						3	
	1-3	基礎・基本を身に付ける教育の推進	【NEXT】	4.1				○				◎						☆	5
	1-4	アグリ・スタディ・プログラムの推進	【NEXT】	4.0								◎						☆	7
	1-5	学習習慣の定着		5.0								◎							9
	1-6	読書活動の推進と新聞活用の充実	【NEXT】	3.3					○		○	◎						☆	11
2 豊かな心と健やかな体の育成	2-1	いのちの教育・心の教育の推進		4.1								◎		○	○			13	
	2-2	一人一人の成長を促す生徒指導の推進	【NEXT】	3.2								◎					☆	15	
	2-3	体験活動・ボランティア活動の充実		3.5								○		◎				17	
	2-4	文化・芸術活動体験の推進		5.0								◎			○			19	
	2-5	体力づくりの推進		4.5								◎						21	
	2-6	健康づくりの推進		3.5				◎										23	
	2-7	食育の推進		2.8				◎						○				25	
	2-8	青少年の健全育成の推進		4.2					◎							○		27	
3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成	3-1	地域学習の充実		5.0											◎			29	
	3-2	外国語教育・国際理解教育の充実	【NEW】	4.5								◎					☆	31	
	3-3	情報教育の充実とICTを活用した教育の取組	【NEW】	4.7								◎					☆	33	
	3-4	主体的な取組を促す環境教育の推進		4.5				○				◎			○			35	
	3-5	海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進	【NEW】	4.0								◎					☆	37	
4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進	4-1	子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進	【NEW】	5.0								◎					☆	39	
	4-2	特別支援教育のサポート体制の推進		5.0								◎						41	
	4-3	早期からの就学相談・支援の充実	【NEW】	5.0								◎					☆	43	
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1	新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組	【NEW】	4.0							◎						☆	45	
	5-2	幼児教育の充実と幼保小連携の推進	【NEW】	4.0							※		◎				☆	47	
6 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1	人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進		4.6								◎		○	○			49	
	6-2	交流・体験活動の推進		4.0											◎			51	
7 家庭教育の充実と子育て支援	7-1	家庭教育充実への支援		4.3							※		※	○	◎			53	
	7-2	子育て支援の充実		4.0											◎			55	
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-1	主体的な学習を支えるシステムづくり		4.0										◎				57	
	8-2	学び育つ各世代への支援	【NEXT】	4.3									○	◎	○		☆	59	
	8-3	地域における生涯学習活動への支援		5.0											◎			61	
9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進	9-1	地域と共に歩む学校づくりの推進	【NEXT】	4.5					◎						○		☆	63	
	9-2	広報広聴活動の推進		4.0					◎									65	
	9-3	学校・地域・NPO等の協働の推進		4.5					◎					○	○			67	
	9-4	高等教育機関及び企業との連携推進	【NEW】	4.7								○	○	◎			☆	69	
	9-5	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画		4.0								◎			※			71	
	9-6	市民の生涯学習施設運営への参画		4.5										◎	○			73	

基本施策(13施策)	施策(54施策)		3期進捗 平均評価	担 当 課 (◎とりまとめ課、○関係課、※情報提供課)										☆…説明に 取り上げる 施策 (20施策)	資料頁			
	網掛…[NEXT]&[NEW]に該当する施策			総務	学務	施設	保給	地教推	学人事	教育職	支援	図書	生セ			中公	総セ	
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-1	防災・安全教育の充実 [NEW]	4.0							◎							☆	75
	10-2	保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進	4.0							◎								77
	10-3	安全な学校施設	4.0			◎												79
	10-4	学びを支援する体制の整備と充実 [NEW]	4.1	◎				○		○							☆	81
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11-1	効果的な指導を支援する施設設備の充実 [NEW]	4.0	◎													☆	83
	11-2	コミュニティの拠点としての学校整備	4.0			◎												85
	11-3	学校施設の整備	4.0			◎												87
	11-4	生涯学習施設を核とした学習環境の整備	3.7								◎	○						89
12 市民に信頼される教育関係職員の育成	12-1	教育関係職員の研修プログラムの充実 [NEXT]	4.7					※				○	※	◎			☆	91
	12-2	教職員への支援体制の充実	2.7						◎									93
	12-3	信頼される教職員の採用・登用・配置	4.0						◎									95
	12-4	教育関係職員の人事管理の適正化	4.0						◎									97
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造	13-1	新潟らしい教育改革の推進 [NEW]	4.0	◎													☆	99
	13-2	効果的・効率的な執行体制の整備	/	◎														101
	13-3	教育情報の収集と発信	4.0	◎														103
	13-4	学校適正配置	/	◎														105
	13-5	教育施策の管理と適切な評価	4.0	◎														107

施策評価の平均	全施策の平均	4.17
	NEXT&NEWの平均	4.22

施策評価の分布	評価5 … 指標を上回って達成した施策	13.7%	} 86.3%	← 平均評価5.0の施策数÷51施策×100
	評価4 … 指標を概ね達成した施策	72.5%		← 平均評価4.0以上評価5.0未満の施策数÷51施策×100
	評価3 … 指標をもう少しで達成した施策	9.8%		← 平均評価3.0以上評価4.0未満の施策数÷51施策×100
	評価2 … 指標を下回った施策	3.9%		← 平均評価2.0以上評価3.0未満の施策数÷51施策×100
	評価1 … 指標を大きく下回った施策	0.0%		← 平均評価1.0以上評価2.0未満の施策数÷51施策×100

指標目標の 評価基準	指標目標の評価基準は下記のとおり。なお、( )内は、減少指標目標の場合
	※ 達成率 = 進捗状況値 ÷ 指標目標値 × 100
	評価5 … 達成率 105%以上(95%未満)
	評価4 … 達成率 95%以上105%未満(同左)
	評価3 … 達成率 85%以上95%未満(105%以上115%未満)
	評価2 … 達成率 75%以上85%未満(115%以上125%未満)
評価1 … 達成率 75%未満(125%以上)	

平成29年度  
施策評価の総括

新潟市教育ビジョン第3期実施計画平成29年度施策最終評価において、全施策の数値評価の平均は4.17、NEXT&NEWの平均は4.22となった。

教育ビジョン全54施策のうち、数値評価できるものが51施策あるが、昨年度と比較すると次のように変わった。

- ・指標を達成した施策(評価5と4)は45施策であり、昨年度よりも2施策増加し、割合も84.3%から86.3%に増加した。
- ・目標を達成できなかった施策(評価3と2と1)は7施策であり、昨年度よりも2施策減少し、割合も15.7%から13.7%に減少した。また評価1の施策はなくなった。

これらにより、13-(5)教育施策の管理と適切な評価における「3期進捗平均」は評価4となり、第3期実施計画において施策は着実に実施され成果を挙げていると判断できる。但し、目標を達成できなかった7施策については、今後、その状況の分析や平成30年度に向けた改善策が必要と考える。

基本施策 1	確かな学力の向上	施策(1)	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進(p.17)	(NEXT)
--------	----------	-------	------------------------------	--------

●H29施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		20.0	50.0	75.0	85.0		5	118.1%
進捗状況	-	42.5	72.0	85.0				
指標2	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0		4	100.0%
進捗状況	92.0	95.0	100.0	100.0				
指標3	放課後の学習支援をする中学校(校)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56		4	100.0%
進捗状況	-	56	56	56				
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1.0	1.0	1.0	1.0		4	100.0%
進捗状況	1	1.0	1.0	1.0				
指標5	環境教育事業の実施						H29評価	
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施			
進捗状況	実施	実施	実施	実施				
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○持続可能な開発のための教育の啓発 ○学校訪問を通じた助言・指導	○持続可能な開発のための教育(ESD)の啓発を広報により実施 ○ESDを教育課程へ位置づけている学校が小学校で88%, 中学校79%と確実に増えている。
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○年間2回実施の研究主任会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での具体的支援	○年間2回実施される研究主任会での指導と支援 ○計画訪問, 要請訪問での指導と支援
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施(10月12日)	○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会(10月12日) ○参加延べ生徒数16,716人
当初予算額 7,400千円	決算額 6,094千円
構成事業4 環境学習の充実(再掲)	
H29事業計画	H29事業成果
○環境学習への支援 ○環境学習発表会	○環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業を指定9校において実施 ○児童生徒が緑に親しみふれ合い, 自然の大切さや環境の保護に取り組もうとする思いや態度が育っている。
当初予算額 1,200千円	決算額 1,197千円
構成事業5 環境教育事業(再掲)	
H29事業計画	H29事業成果
○地域住民向け環境教育事業や子ども向け環境教育事業の実施	○環境美化活動や地域特有の自然や環境を学習する機会を提供し, 延べ1,260人が参加
当初予算額 275千円	決算額 473千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	7,885 千円	H27	6,637 千円
H28	8,916 千円	H28	7,913 千円
H29	8,875 千円	H29	7,764 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	25,676 千円	合 計	22,314 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○第1回の研究主任研修会では、「アクティブ・ラーニング」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた各校の校内研修の進め方について学び合うことができた。その結果、多くの学校が見通しをもって取り組んでいることが計画訪問、要請訪問の様子から分かった。

○学校訪問を通じて「アクティブ・ラーニング」による主体的・対話的で深まりのある授業を推進するよう働き掛けてきた。その結果、教職員一人一人が「アクティブ・ラーニング」を進めることで、社会の変化や課題に適切に対応できる力を育むことができるという意識を高めることができた。また、ようやく、ESD(持続可能な開発のための教育)の概念が各教職員に浸透してきている。

○環境教育の一層の推進を図るため、小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、希望校1校(南浜中)と指定校9校(松浜小, 南中野山小, 鳥屋野小, 有明台小, 亀田東小, 新津第二小, 根岸小, 坂井輪小, 中之口西小)が事業推進している。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(新津第二小, 鳥屋野小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。その結果、各学校で身近な環境と水俣病との関連に気付き、「環境問題は自分たちの問題である」ととらえ、子どもたちの意識が高まった。

○5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別支援の両面から、生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

○子どもたちが、緑豊かな環境の中で、自然とかがわり合う体験をおして学ぶことができるよう「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の案内・募集を行い、9校(濁川中, 木崎小, 木戸小, 沼垂小, 女池小, 鳥屋野中, 早通小, 大通小, 巻東中)が事業推進している。その結果、対象校の敷地内緑化が進み、子どもたちが自然とかがわり合う体験をおして学ぶことができるようになってきた。

○地域住民に向けた環境を考える講座や小中学生を対象とした自然体験教室を実施することで、身近な自然や環境を実感し、考える機会とした。

● 30年度の取組

○計画訪問、要請訪問を通して、校内研修の方向性等について研究主任、管理職に指導・助言していく。

○さらに学校訪問等を通じて、「アクティブ・ラーニング」による主体的・対話的で深まりのある授業を推進するよう働き掛けていく。また、広報等でもESD(持続可能な開発のための教育)の概念の理解を広め、他課(環境政策課)とも連携を図りながら進めていく。

○今年度の「地域の特色を活かした環境学習支援事業」推進校を指導、支援すると共に、次年度のモデル校指定に向けて、新規モデル校の指定を校長会を通じて働き掛けていく。

○アフタースクール学習支援員研修会を希望制で行う。生徒の能力やニーズに応じたきめ細やかで質の高い学習支援が行われるような研修会にする。

○「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の各実践校から報告書を回収し、次年度への取組に活用する。

○引き続き、地域団体や学校と連携して環境事業を実施し、身近な環境や自然を考える機会を提供することで、地域住民の意識向上を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

○ 学習支援員研修会は、なぜ希望制なのか。学校によっては、子どもたちと向き合う姿勢についても違う視点があると思うが。  
⇒ 昨年度では元教員が20名。塾の講師や学習ボランティア経験者が33名であり、教育に携わった方も多く、希望制で行うこととした。(委員からの要望)子どもと向き合う共通認識とか、必要な視点を学ぶためにも、研修を呼び掛けてほしい。

基本施策 1	確かな学力の向上	施策(2)	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進(p.18)
--------	----------	-------	------------------------------

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	キャリア教育の充実を目指して年間指導計画を作成、改善した学校の割合(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	90.0	100.0	100.0	100.0	4	95.8%
進捗状況	97.0	100.0	100.0	95.8				
指標2	高等教育機関・関係機関より講師を招聘し、キャリア発達に資する思考力・判断力・表現力を育む授業をした学校の割合(%)						H29評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0		4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0				
指標3	大学見学・職場見学、インターンシップ(就業体験)等を実施した学校の割合(%)						H29評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0		4	100.0%
進捗状況	-	100.0	100.0	100.0				
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 キャリア教育推進事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○中学校にキャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を配付 ○中学校での職場体験の推進 ○キャリア教育・年間指導計画の作成, 改善	○「中学生のキャリア教育」を職場体験等で活用 ○中学校での職場体験を57校中56校で実施 ○キャリア教育・年間指導計画を約96%の小・中・特別支援学校で作成	
当初予算額	0千円	決算額 0千円
構成事業2 市立高等学校キャリア教育推進事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○高等教育機関や企業等からの講師による授業実施 ○大学見学・職場体験, インターンシップ等の実施 ○キャリア教育・年間指導計画の改善	○高等教育機関や企業等からの講師が参加参画する講義の実施 ○職場体験, インターンシップ等の実施 ○関東圏で大学見学の実施	
当初予算額	1,214千円	決算額 1,105千円
構成事業3		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,699 千円	H27	1,325 千円
H28	197 千円	H28	1,315 千円
H29	1,214 千円	H29	1,105 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	3,110 千円	合計	3,745 千円

注：再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○キャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を市内中学校へ配付し、職場体験の事前学習や、自分の将来や進路を考える際に活用できるようにした。

○キャリア教育で身に付けてほしい力「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を示し、その定着を意識しながら学習したり生活したりできるようにキャリア教育を年間指導計画に位置づけるよう各学校に指導した。

○市内中学校で実施している職場体験学習の実施状況を調査し、多くの学校で充実した活動となるよう支援している。

○市内高等学校では、7月に大学見学を実施し、県外の複数の大学を訪問し、そこで学ぶ学生とディスカッションしたり、大学の先生を学校に招いて複数の講義を体験したりすることで、生徒の大学進学に対する意欲の向上や大学で学ぶ意義について考えられるようにしている。

● 30年度の取組

○キャリア教育リーフレット「中学生のキャリア教育」を市内中学校へ配付し、職場体験の事前学習や、自分の将来や進路を考える際に活用できるようにする。

○キャリア教育で身に付けてほしい力「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を示し、その定着を意識しながら学習したり生活したりできるようにキャリア教育を年間指導計画に位置づけるよう各学校に引き続き指導していく。

○市内中学校で実施している職場体験学習の実施状況を調査し、より多くの学校で充実した活動となるよう支援する。

○市内高等学校では、大学見学を実施し、県外の複数の大学を訪問し、そこで学ぶ学生とディスカッションしたり、大学の先生を学校に招いて複数の講義を体験したりすることで、生徒の大学進学に対する意欲の向上や大学で学ぶ意義について考えられるようにする。

○大学の先生や企業の講師を招いて講演会を実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

○ キャリア教育は、人間関係形成上、あるいは自己管理能力を高めるなど、様々な意味で非常に大切と考えるが、平成29年度になぜか4.2パーセント下がり、100パーセントではないのはなぜか。  
⇒ 年間指導計画を改善していない学校が1校あったためであり、キャリア教育をやっていないというわけではない。

**●H29施策評価**

3期進捗平均
4.1

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

**●成果指標**

指標1	全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		61.7	61.9	104.0	104.0	104.0	4	
進捗状況	70.7	68.5	63.5	106.4				
指標2	全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		59.7	59.9	104.0	104.0	104.0	4	
進捗状況	73.4	56.0	50.0	103.3				
指標3	全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		53.2	53.4	104.0	104.0	104.0	4	
進捗状況	67.3	66.1	49.0	101.9				
指標4	全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		61.2	61.3	104.0	104.0	104.0	4	
進捗状況	62.8	48.2	52.0	102.3				
指標5	児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		84.0	84.5	85.0	86.0		4	101.5%
進捗状況	83.1	87.7	87.4	88.7				
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		70.5	71.0	72.0	73.0		4	99.9%
進捗状況	69.8	70.7	74.4	74.3				
指標7	生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	80.5	81.0	84.0		5	102.3%
進捗状況	79.1	85.0	84.2	86.1				
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		70.0	71.0	72.0	73.0		4	102.2%
進捗状況	69.0	70.5	71.6	73.2				

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

**●施策を構成する事業**

構成事業1 学力実態調査	
H29事業計画	H29事業成果
○市内全中学2年生に学力調査(CRT)を実施(理科, 英語) ○学力実態報告書の作成・配付	○市内全中学2年生に学力調査(CRT)を実施 ○学力実態報告書を作成し, 各校に配付 ○新潟市全体の傾向を市のホームページに掲載
当初予算額 4,374 千円	決算額 4,089 千円
構成事業2 学力定着支援事業	
H29事業計画	H29事業成果
○小学校3・4・5・6年生と中学校全学年用の算数・数学の単元評価問題の作成・配信(年9回) ○理科の評価問題を作成・配信(年4回) ○分析結果をたよりで広報	○小学校3・4・5・6年生の算数と中学校全学年の数学の単元評価問題及びサポート問題を年9回配信 ○小学校5年生, 中学校2年生の理科の評価問題を年4回配信
当初予算額 506 千円	決算額 506 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会実施	○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会(10月12日) ○参加延べ生徒数16,716人
当初予算額 7,400 千円	決算額 6,094 千円
構成事業4 学習支援員派遣事業	
H29事業計画	H29事業成果
○教員を目指す大学生を学習支援員として派遣し, 児童生徒へのきめ細かな学習指導を支援 ○連絡調整費として一回につき1,000円を支給。一人当たりの上限を25回とし, 160名の派遣	○学習支援ボランティア派遣プロジェクト, 未来の先生プロジェクトにおいて, 187名の学生を87校の学校園に派遣した。延べ回数3,013回
当初予算額 4,800 千円	決算額 3,013 千円
構成事業5 理科大好きプロジェクト	
H29事業計画	H29事業成果
○理科支援員の配置	○理科支援員を39校に配置 ○理科の授業の「観察・実験の回数」「計画性」「予備実験の有無」「安全性」「きめ細やかな指導」などのアンケート項目で, 肯定的評価が9割以上となった。
当初予算額 3,325 千円	決算額 3,237 千円
構成事業6 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)	
H29事業計画	H29事業成果
○本事業にかかる研修会開催(第1・2・3研修会・教職員のみ)の研修会・Coのみの区研修, 新任コーディネーター研修, 校長のみの研修会) ○ウェルカム参観日等事業の市民への周知	○本事業にかかる研修会を開催し, 学校担当者, 地域教育コーディネーター, 学社民融合支援主事あわせて延べ1,210名が参加 ○市民へ周知のため, ウェルカム参観日を45校で実施
当初予算額 144,292 千円	決算額 144,652 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	19,582 千円	H27	18,877 千円
H28	19,639 千円	H28	17,810 千円
H29	20,405 千円	H29	16,939 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	59,626 千円	合 計	53,626 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○【全国学力・学習状況調査による学力実態:正答率】  
 ・国語A 小学校:77.9%(全国比+3.1), 中学校:77.4%(全国比 0)  
 ・国語B 小学校:61.2%(全国比+3.7), 中学校:73.6%(全国比+1.4)  
 ・算数数学A 小学校:81.2%(全国比+2.6), 中学校:66.1%(全国比+1.5)  
 ・算数数学B 小学校:48.3%(全国比+2.4), 中学校:49.2%(全国比+1.1)

○学校訪問は3順目に入り,学校で組織的な授業改革の取組が充実してきた。継続的に校長・教頭・研究主任に対し,授業マネジメント研修を行うことで確実に定着してきたと考えられる。また,中学校の授業改革も進んできた。8月に各教科の教諭全員を集めて実施した授業づくり研修が成果につながっている。

○算数・数学の単元評価問題等の配信を継続した。活用方法が定着してきていると同時に,指導の要点をもとに指導を行い,評価問題に取り組む学校が増えてきた。

○理科支援員配置の希望の募集を行い,92校の希望があり,これまでの配置状況を検討し,今年度39校に理科支援員を配置した。各校で有効に活用され,理科の授業の観察・実験等が円滑に進められ,大変助かっているという声が寄せられている。

○5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い,今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別支援の両面から,生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

○学習支援ボランティアが派遣された学校は幼稚園2園,小学校59校,中学校25校,特別支援学校2校,計88校である。派遣された学生の延べ回数は3,013回である。学習支援ボランティアが授業補助を行うことで,児童生徒の学習内容の定着や落ち着いた学習環境づくりができると学校側からのニーズも高い。9月最初に教員を交えて中間発表会を行い,よりよい学習支援の仕方について,学校現場と共通理解を図った。

○全国学力調査において,新潟市は全国平均を大きく上回っているものの,中学校が小学校に比べ数値が低い。

\* 地域と学校パートナーシップ事業については,「9-(1) 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進」P64の記載内容を参照

● 30年度の取組

○全国学力・学習状況調査の結果を受けて,各学校がより一層授業改革に取り組めるように,下記研修会を実施する。また,今年度は学力と児童生徒の意識調査を関連させて研修を進めていく。  
 ・授業マネジメント研修会(校長対象10月 教頭対象11月)  
 ・授業改革戦略フォーラムⅡ(研究主任対象 1月)

○単元評価問題配信事業は,上半期に引き続き,算数・数学・理科の評価問題を配信するとともに,解説を作成し配信する。

○アフタースクール学習支援員の研修会を希望制で行う。生徒の能力やニーズに応じたきめ細やかで質の高い学習支援が行われるような研修会にする。

○理科支援員配置の希望の募集を行い,これまでの配置状況を検討し,31校に理科支援員の配置を行う。

○学習支援ボランティアを希望する学校への派遣率が60%以上(H29は50%)になるよう,大学と連携し,今後2次募集,3次募集を行い,より多くの学校に学習支援ボランティアが派遣されるように働き掛ける。新潟大学,県立大学,青陵大学,新潟医療福祉大学,新潟薬科大学の5大学から学習支援ボランティアが派遣されるので,より広い地区に学生が派遣されるよう,説明会等で働き掛けていく。

○毎月集約する理科支援員の出勤状況を管理しながら,支援員の活用が計画的に実施されるよう指導・助言を行う。

\* 地域と学校パートナーシップ事業については,「9-(1) 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進」P64の記載内容を参照

● 推進委員からの意見・要望等

○ 全国学力・学習状況調査の結果で,中学校が小学校に比べて数値が低いという記載があるが,その対策はあるのか。  
 ⇒ 『新潟市の授業づくり』に基づき,何を学ぶのかを明確にし,また何を学んだのかを子どもたち全員に共有させたり,振り返らせたりするという授業の一つのパターンを取り入れている。中学校は若干その実施率が低いため,その推進を図っている。もう一つは,新潟市全体の問題であるが,家庭学習が多くないため,その改善策に着手している。

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0				
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		25.0	50.0	75.0	100.0	100.0	4	150.0%
進捗状況	-	25.0	50.0	75.0				
指標3							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業【新規】			
H29事業計画		H29事業成果	
○ASP総合推進会議, ASP推進委員会, ASP評価・サポート委員会を開催し, ASPの改善点の検討を実施		○総合推進会議, 推進委員会, 評価・サポート委員会, アグリパークを語る会などを開催し, ASPの改善点を明確にし, 各学校に周知	
○ASP研修会の開催, 活用のポイントを周知		○ASP研修会を4回(うち1回は宿泊研修)の開催, 活用のポイントを周知	
当初予算額	0千円	決算額	0千円
構成事業2			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		0	
構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○校長会や教育委員会事務局, 市長部局関係機関の代表者からなるアグリ・スタディ・プログラム(以下, ASP)総合推進会議を5月16日に開催した。そこでは, 28年度の教育活動を振り返り, 取組の課題を明確にし, 29年度のASP推進の方向性を示した。

○ASP総合推進会議の検討内容を受け, 各区小学校代表校長(8名)と代表中学校長(4名)からなるASP推進委員会を5月24日に開催した。そこでは, 総合推進会議で示された方向性に基づいて, 各区において具体的にどのように取り組むかについて情報交換を行った。

○小中学校, 市PTA連合会, 教育委員会事務局, 市長部局関係機関の代表者からなるASP評価・サポート委員会を5月24日と7月25日の2回開催した。実践参観とそれに基づく協議の中で, ASP実践について評価し, 課題点を明らかにした上で, よりよい実践につながる助言を行った。

○教職員向けのASP研修会を4回開催した。そこでは, 搾乳体験などのASPの体験プログラムを実際に体験するとともに, それを取り入れた具体的な指導方法についての研修を行った。参加者からは, すぐに自分の実践に活用できる研修内容との評価を得た。

○「農業をもとにした新潟市の教育の効果」「農業を活用して発展する新潟市の素晴らしい都市イメージ」の2つを全国に向けて発信するためのASP実践事例集を作成し, 各学校に配付した。

● 30年度の取組

○第2回ASP総合推進会議, 第2回ASP推進委員会, ASP評価・サポート委員会を準備し, ASPの改善点の検討を実施する。

○改善点に基づいたASP研修会を開催し, 活用のポイントを周知するとともに, ASP成果発表会とアグリパークを語る会を準備する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		家庭学習を1時間以上する中学校2年生の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		51.8	51.9	57.7	62.6		5	108.5%	
進捗状況	-	51.8	57.6	62.5					

  

指標2								H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

  

指標3								H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

  

指標4								H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

  

指標5								H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

  

指標6								H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

  

指標7								H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

  

指標8								H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習習慣定着事業	
H29事業計画	H29事業成果
○家庭学習実態調査の実施 ○啓発活動の推進(HP・支援課広報紙「サポート」等)	○「新潟市生活・学習意識調査」にて, 家庭学習実態にかかわる調査を実施(11月) ○授業と家庭学習をつなぐリーフレットをもとに, 家庭学習習慣定着への取組の推進と啓発(通年)
当初予算額 223 千円	決算額 239 千円

  

構成事業2	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	534 千円	H27	223 千円
H28	398 千円	H28	343 千円
H29	223 千円	H29	239 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,155 千円	合 計	805 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○昨年度作成し配付したリーフレットを活用し、市教委として各学校に家庭学習習慣定着に取り組むよう促した。広報紙「サポート」を活用し意欲的に取り組んでいる学校を紹介するなど、具体例を示したことで、成果が上がってきている。  
 ・全国学力学習状況調査質問紙によると、中学3年生の平日に1時間以上学習する生徒の割合が2.2%増えている。

● 30年度の取組

○学校訪問、広報紙「サポート」等を活用し、各校への啓発を継続する。

● 推進委員からの意見・要望等

○ 全国学力学習状況調査の結果を見ると、中学3年生の方が小学校6年生より勉強しないという状況が、以前からずっと続いている。その状況に対して取組はあるのか。また保護者にもしっかりと伝えることが必要ではないか。  
 ⇒ 中学生が少ないのは様々な要因がある。『家庭学習リーフレット』を教育委員会で作成し、それに基づいた取組が各校で始まっている。例えば、学校にいるうちに家庭学習のスタートをしたり、家庭で行ってきた学習を学校で確認する等である。また各区ミーティングの際に全国学力・学習状況調査結果を知らせ、家庭学習を含めた課題を伝えている。



●H29施策評価

3期進捗平均
3.3

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	3	159.6%
進捗状況	77.2	75.6	46.8	74.7				
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	5	130.3%
進捗状況	55.1	62.1	55.2	71.9				
指標3	中学生の不読率(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	4	103.4%
進捗状況	12.1	12.3	11.8	11.4				
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)→H29～週に1回以上新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.8	2.8	2.8	2.8		1	
進捗状況	2.7	1.0	1.1	1.6				
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	0						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校図書館活用推進校事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○小学校22校, 中学校12校を学校図書館活用推進校として指定し, 年度末(2月)に実践発表会を開催。28年度学校図書館活用推進校実践例を市HPに掲載 ○学校支援課だより「サポート」で代表的実践例の紹介	○小学校22校, 中学校12校を学校図書館活用推進校として指定し, 2月に区ごとに実践報告会を開催 ○学校支援課だより「サポート」, 新潟市HPに平成29年度推進校の実践事例を掲載	
当初予算額	0千円	決算額 0千円
構成事業2 学校図書館支援事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○蔵書システム運用サポート体制強化(4月) ○学校図書館地域開放実施(7, 8月) ○学校図書館支援センター運営検討委員会開催, 次年度司書配置(3月)	○蔵書管理システム運用サポート体制の維持 ○夏季休業中の学校図書館地域開放実施(93校) ○学校図書館支援センター運営検討委員会の開催 ○司書の全校配置	
当初予算額	395千円	決算額 378千円
構成事業3 学校図書館支援センター事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○学校訪問, 相談対応 ○新任学校司書研修, 学校司書実務研修 ○学校貸出図書搬送事業の継続 ○学校貸出セット【オレンジBOX】追加整備と貸出の継続	○学校図書館訪問 305回 ○相談対応 1,712件 ○新任学校司書研修6回, 実務研修3テーマ6回実施 ○学校貸出図書搬送65,913冊 ○学校貸出セットの図書を更新	
当初予算額	1,437千円	決算額 1,538千円
構成事業4 新聞活用の推進【新規】		
H29事業計画	H29事業成果	
○小学校8校, 中学校8校を新聞活用教育(NIE)推進校として指定 ○推進校における, 新聞活用教育の授業実践の支援 ○年度末(2月)に実践報告集を各校に配付	○小学校8校, 中学校8校を新聞活用教育(NIE)推進校として指定 ○推進校を核とした新聞活用教育の授業実践の推進 ○実践報告集の配付及び報告集を活用した授業実践の啓発	
当初予算額	223千円	決算額 239千円
構成事業5		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,160 千円	H27	1,888 千円
H28	2,521 千円	H28	1,928 千円
H29	2,055 千円	H29	2,155 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	6,736 千円	合 計	5,971 千円

注：再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

◎平成29年度学校図書館活用推進校実践報告会を2月に行った。報告会を区ごとに行うこと、説明会と報告会に管理職も参加することによって、全校体制で学校図書館を活用した実践が多く行われ、あわせて中学校区での実践も広がった。

○学校司書を全ての市立学校(小・中学校, 中等教育学校, 特別支援学校, 高等学校)に配置するとともに、蔵書管理システムの円滑な運用を図るため、サポート体制を維持した。

◎夏季休業中に小・中学校の学校図書館の地域開放を行い、子どもたちのほか、保護者や地域の方々にも学校図書館の利用を通して学校図書館への理解を深めてもらうことができた。

◎学校図書館支援センターは以下の取組を行い、学校図書館の活用を推進した。

- ・市立小・中学校, 中等教育学校, 特別支援学校の全校を訪問し, 学校図書館の運営や活用状況を聞き取り, 業務相談に応じた。
- ・新任学校司書研修は研修項目を増やし内容を充実させて6回実施した。学校司書実務研修は, 全員を対象とした「学校図書館とNIE－新聞を活用しよう」や各学校図書館支援センターの研修を実施し, 学校司書のスキルアップや業務の平準化を進めた。
- ・市立図書館から学校への団体貸出や学校貸出図書搬送により, 授業や読書活動を支援した。学校貸出セット【オレンジBOX】の内容を見直し, 出版後年数を経た図書を新刊図書に入れ替えた。
- ・「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」の重点事業である「うちどく(家読)」について, 継続的にロゴマークや「うちどく読書ノート」の活用等について情報提供・収集を実施し, 学校を通して「家族ふれあい読書」の取組が広がった。
- ・『新潟市学校図書館実務マニュアル』について, 「学校図書館の実務」等の改訂を行った。
- ・学校図書館支援センターホームページの内容の充実を図り, 学校図書館運営に役立つ情報を提供するとともに, 学校図書館関連HPへの取材協力や, 図書への写真提供の協力など, 新潟市の学校図書館の取組の情報を広く全国に発信した。

◎新聞活用教育(NIE)推進校として, 各区1校(小学校8校・中学校8校)を4月に指定し, 新聞を配備。各校の新聞活用計画に基づき実践を進めた。  
各校は配備された新聞を活用し, 児童生徒の関心を高めることができた。しかし, 新聞を購読せずインターネット等を日常的な情報源としている家庭が増えていることから, 週に1回以上新聞を読む中学生が減少している。

● 30年度の取組

◎「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を意識した学校図書館の活用が全校体制および中学校区で推進されるよう, 各学校の取組を支援する。学校図書館活用推進校実践報告会を2月に区ごとに開催し, 29年度の成果を30年度推進校に繋げる。

○全ての市立学校(小・中学校, 中等教育学校, 特別支援学校, 高等学校)への学校司書の配置を継続する。蔵書管理システムの円滑な運用を図るため, サポート体制を引き続き維持する。

◎夏季休業中に小・中学校の学校図書館の地域開放を行い, 子どもたちのほか, 保護者や地域の方々にも学校図書館の利用を通して学校図書館への理解を深めてもらう。

◎学校図書館支援センターは以下の取組を行い, 学校図書館の活用を推進する。

- ・市立小・中学校, 中等教育学校, 特別支援学校の全校を訪問するほか, 新任学校司書配置校等には個別に支援を進める。授業での学校図書館活用や読書活動, 「うちどく(家読)」, 地域ボランティア等の情報を収集, 提供を行う。
- ・全市の新任学校司書研修を6回実施し, 各支援センターでは, 担当区の実情に応じたテーマの学校司書実務研修を実施する。
- ・市立図書館から学校への団体貸出, 学校貸出図書搬送を継続実施する。
- ・学校図書館支援センターホームページの内容の充実を図るとともに, 新潟市の学校図書館の取組の情報を広く発信する。

◎新聞活用教育(NIE)をより一層推進する。

- ・推進校として, 各区小・中1校(小学校8校, 中学校8校)を4月に指定し, 新聞を配備する。
- ・各校の取組をもとに, 他校も活用しやすい実践報告集を作成する。
- ・各校の実践報告集をもとに, 事業推進に効果的な取組を具体的に周知し, 新聞活用計画に基づく実践を進める。

● 推進委員からの意見・要望等

- 新聞購読者が減っている中, なぜ「週1回以上新聞を読む中学生の割合が全国平均を上回る」指標を設けているのか。  
⇒ NIE(新聞活用教育)を, 新潟市も推進し, 予算を使って各学校に新聞を配備することを実施しており, その成果を確実に把握する必要があるため。また, 子どもたちに読む力をつけるため, 学校図書館活用推進事業を実施しているためである。
- 家庭で購読率が減っているという数字とかはあるのか。  
⇒ (委員の回答)「書道の時間に新聞を家から持ってきて」との指示に, 持ってこられない子どもが大変増えてきている。そのため新聞のある環境をつくる, また授業で新聞を活用することはとても大切である。

**●H29施策評価**

3期進捗平均
<b>4.1</b>

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

**●成果指標**

指標1	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	80.0	80.0	80.0		4	102.2%
進捗状況	79.8	78.5	80.3	82.1				
指標2	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「自分には、よいところがあると思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		72.0	72.0	72.0	72.0		4	105.6%
進捗状況	70.6	72.4	71.5	75.5				
指標3	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)→H29～「新潟市の学校教育実践状況調査」で上記評価を実施						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		96.5	96.5	96.5	96.5		3	
進捗状況	96.0	95.2	—	90.4				
指標4	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)→H29～「新潟市の学校教育実践状況調査」で上記評価を実施						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		96.5	96.5	96.5	96.5		3	
進捗状況	96.1	95.6	—	90.2				
指標5	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した児童(小6)の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		98.0	98.0	98.0	98.0		4	100.2%
進捗状況	97.5	97.1	97.6	97.8				
指標6	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で、「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」と回答した生徒(中3)の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.3	95.0	95.0		4	99.8%
進捗状況	94.3	95.2	94.8	94.6				
指標7	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	4	100.0%
進捗状況	90.2	94.5	94.4	94.4				
指標8	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		26.3	26.3	28.0	28.0	29.8	5	131.1%
進捗状況	24.5	24.5	28.1	36.8				
指標9	家庭教育学級数(講座)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		63	64	68	69	69	4	97.1%
進捗状況	63	68	68	66				

**●施策を構成する事業**

構成事業1 道徳教育の充実、福祉教育の充実、人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進(再掲)		
H29事業計画	H29事業成果	
○道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業の実施 ○小・中学校教員を対象にした道徳教育研修会を実施 ○人権教育、同和教育に関する研修会の実施 ○男女平等教育のための資料作成と配付	○市内小・中学校12校で道徳教育パワーアップ研修会を実施 ○人権教育、同和教育に関する研修会の実施 ○男女平等教育の資料を活用した授業実施	
当初予算額	3,951 千円	決算額 2,745 千円
構成事業2 家庭教育振興事業(再掲)		
H29事業計画	H29事業成果	
○出産前から子どもの成長期に合わせた家庭教育学級の実施 ○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習出前講座の実施(小・中学校)	○朝ごはん料理講習会の実施(38か所, 参加者1,067名) ○子育て学習出前講座の実施(小101校, 中21校) ○出産前から思春期・孫育てなどの家庭教育学級66講座を実施	
当初予算額	12,063 千円	決算額 11,393 千円
構成事業3		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	420,420 千円	H27	9,274 千円
H28	13,051 千円	H28	11,009 千円
H29	16,014 千円	H29	14,138 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	449,485 千円	合 計	34,421 千円

注：再掲事業分を含む

<前ページの指標目標の設定型>

- I 型：第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型：初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型：前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型：数値ではなく文字で設定

● 29年度の取組に対する評価

- 小学校・中学校で道徳教育研修会を実施した。新潟市の目指す授業づくりを道徳の授業づくりにおいても推進できた。
- 人権教育、同和教育の研修会を19中学校区55校で実施し、教職員の人権感覚を高めることができた。
- 福祉読本を8割以上の学校で活用することができた。
- 男女平等教育については、配付した資料の活用をさらに各校に奨励している。
- ◎ 早寝早起き朝ごはん推進事業では、学校や地域と連携・協力しながら、料理講習会を38か所で実施し、子どもたちが健やかに成長していくために必要な基本的な生活習慣の確立と生活リズムの向上を図った。
- ◎ 子育て出前学習講座については、就学時健診や新入生学校説明会等の機会に小学校で101校が、中学校では一昨年度から実施対象を拡大したことが浸透し、PTA行事等を含め21校(前年比+5校)が実施した。学校へ家庭教育に精通した講師を派遣し、講演を通じて家庭教育への意識啓発と家庭教育力の向上を図った。
- 出産前の妊婦を対象としたプレママ学級や乳児期から思春期まで子どもの成長期に合わせた家庭教育学級や父親学級を実施することにより、子育ての知識や情報、親としての関わり方などを学ぶ機会を提供し、家庭教育の充実を図った。また、土日などの開催も取り入れ、平日の講座に参加できない方も参加しやすい工夫をしたり、パートナーと一緒に参加してもらい、夫婦で子育ての意識を共有することができた。
- ※ 成果指標3,4については、H28年度の全国学力・学習状況調査から評価対象となる項目(「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」)がなくなった。そこで、市内の小・中学生を対象に実施している「新潟市生活学習意識調査」に含まれている類似した調査項目(「友達のよいところを見つけたり、友達が落ちこんでいるとき、はげましたりしています。」)を活用して、成果指標3,4の成果を図ることとした。

● 30年度の取組

- 道徳教育の抜本的改善・充実に向けた支援事業推進校の研修を支援する。
- 市内12校(小学校8校、中学校4校)で道徳教育パワーアップ研修会を開催する。
- 人権教育、同和教育の研修会を各中学校区で実施する。
- 男女平等教育については、配付した資料を活用した授業を小・中学校で実践する。
- ◎ 早寝早起き朝ごはん推進事業に関連する講習会等を、学校や地域と連携・協力しながら実施するほか、ホームページ等を通して普及啓発を図って行く。
- ◎ 子育て学習出前講座については、就学時健診、新入生学校説明会やPTA行事に家庭教育に関する講師を派遣し、講演を通じて家庭教育への意識啓発と家庭教育力の向上を図る。
- 引き続き、子どもの成長期に合わせた家庭教育学級を開催するとともに、ひとり親家庭など様々な生活環境にある保護者も参加しやすいように開催曜日や時間を考慮して講座を開催していく。

● 推進委員からの意見・要望等

- 教育において家庭の問題は大きいと思うが、「子育て出前学習講座」は全学校の何パーセントで実施できたのか。またどのように講師を派遣し、どのような内容を話しているのか。
- ⇒ 昨年度、小学校は107校中、101校で実施した。中学校は57校中、21校。就学児健診や新入生学校説明会時などに実施し、学校の希望で講師を紹介している。テーマは「家庭教育の大切さ」。主な内容は基本的な生活習慣としつけ、家庭でのルール、思春期における親の関わりなど。
- 他者の権利や主張に対して寛容に耳を傾けるという態度の根底には、自分を尊いと思える想いが大切である。この自尊感情を高める働き掛けは、どのような場面で、どのような意識を持って、どのような取組をしているのか。
- ⇒ 「自分自身には良いところがあると思う」という自尊感情を育む取組は、学校教育の様々な場面で行っている。一人一人の良さを認め、その子の個性を生かしていくことを、授業でも様々な教育活動の中でも行っている。次回は具体的な事例を挙げて例示したい。



**●H29施策評価**

3期進捗平均
3.2

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

**●成果指標**

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66.7	66.7	67.0	70.0		5	131.4%
進捗状況	61.1	83.3	69.2	90.9				
指標2	小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H29評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	97.0	97.0	100.0	4	101.7%
進捗状況	96.2	99.1	95.8	97.4				
指標3	中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H29評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	97.0	95.0	100.0	4	96.0%
進捗状況	94.5	96.3	98.1	94.2				
指標4	小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		0.38	0.38	0.38	0.40		1	72.7%
進捗状況	0.40	0.40	0.44	0.56				
指標5	中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.65	2.62	2.60	2.64		2	82.2%
進捗状況	2.69	2.64	2.64	3.11				
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

**●施策を構成する事業**

構成事業1 いじめ対策等生徒指導推進事業【新規】		
H29事業計画	H29事業成果	
○本市の生徒指導の考え方・体制について周知を図るための研修会の実施 ○いじめ防止に関する会議の開催 ○「新潟市いじめ防止教育フォーラム」の開催	○いじめの積極的な認知と組織的な対応を推進するための研修会や指導を実施 ○いじめに係る文部科学省からの行政説明会を招致 ○いじめ防止に関わる管理職・生徒指導担当教諭への研修を実施 ○いじめ防止市民フォーラム	
当初予算額	111 千円	決算額 686 千円
構成事業2 教育相談ネットワーク事業・カウンセラー等活用事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○スクールカウンセラーを全ての小学校, 中学校, 高等学校, 中等教育学校に配置	○教育相談センターによる, 教育相談を延べ14,567回実施。 ○スクールカウンセラーを全ての小・中・高・中等教育学校に配置するとともに, 必要に応じて緊急でスクールカウンセラーを派遣した。	
当初予算額	80,542 千円	決算額 81,004 千円
構成事業3		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額		決算額 千円
構成事業4		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	88,651 千円	H27	89,742 千円
H28	83,419 千円	H28	81,800 千円
H29	80,653 千円	H29	81,690 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	252,723 千円	合 計	253,232 千円

注：再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○「新潟市いじめの防止等のための基本的な方針」の改定に伴い、この説明会を、校長を対象として実施し、本市のいじめ対応の考え方や体制・組織等についての周知を図った。

○文部科学省による、いじめに関わる行政説明会を招致し、校長をはじめとした学校代表を集め、国のいじめ対応の考え方等について周知を図った。

○いじめ防止市民連絡協議会主催で、「いじめ防止市民フォーラム」を開催した。

○児童・生徒の自律性・社会性の育成及び問題行動への適切な対応に向けて、学校訪問等の機会をとらえて、生徒指導ガイドブック・リーフレットの内容に基づいた指導・支援を行った。

○いじめ防止市民連絡協議会を実施し、いじめの現状について情報共有を図るとともに、未然防止等に向けた取組や具体的な事案への対応の検討等を行った。

○カウンセラー配置・派遣では、スクールカウンセラーを全ての新潟市立学校に配置し、児童生徒、保護者、教職員へのカウンセリングと校内研修の助言等を行い、児童生徒、保護者が抱えている問題の解決、または一定の解消が見られた。

○各学校からの欠席報告を確実にし、各区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、各区教育相談室など、不登校に関わる機関で情報を共有し、不登校の未然防止の意識を高めた。不登校数の多い学校には、直接学校訪問し、減少に向けた取組について指導した。しかし、不登校は増加傾向であった。不登校の改善・解消も見られたが、新たな不登校の発生が上回ったためである。したがって、これまでの取組を強化・継続するだけでなく、初期対応に重点を置いた新たな不登校の未然防止策が必要である。

● 30年度の取組

○各学校で見直した「いじめ防止基本方針」を、新潟市いじめの防止等のための基本的な方針(改定版)と照らし合わせ、必要な学校を対象として再度見直しするように働きかけ、より実効性のあるものにする。

○学校訪問等を通じて、児童生徒の自律性・社会性の育成及びいじめ・不登校への適切な対応に向けた指導を継続する。

○カウンセラーの派遣を、適切かつ必要性に応じて全ての市立学校に行うとともに、学校・カウンセラーとの連携を密に、日常的・緊急的な生徒指導を継続して展開する。

○各学校からの欠席報告を、各区教育支援センター、教育相談センター、訪問教育相談員、各区教育相談室など、不登校に関わる機関で情報共有し、不登校の未然防止に向けた取組を継続して行う。

○新たな不登校の未然防止に向けて、「不登校初期対応ガイドブック」を年度初めにすべての教職員に配付する。ガイドブックの活用について不登校担当者研修会において指導するとともに、各学校における職員研修を推進する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
3.5

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		自然体験学習を実施した学校の割合(%)					H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		94.0	95.0	95.0	95.0	95.0	4	100.0%
進捗状況	94.6	96.4	95.3	95.3				
指標2		子供向け体験活動事業参加者数(人)					H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	3	96.6%
進捗状況	21,011	20,516	20,365	19,670				
指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 自然体験学習の支援	
H29事業計画	H29事業成果
○自然体験学習推進事業による小学校1学級当たり3万円のバス代補助の実施 ○体験学習の意義等の周知	○小学校107校中101校(225学級)が本事業を活用 ○豊かな自然環境の中で集団宿泊活動を実施できた学校が95%
当初予算額 6,720 千円	決算額 6,750 千円
構成事業2 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業	
H29事業計画	H29事業成果
○土日や長期休業期間に家庭や学校ではできない集団活動や多様な体験活動事業の実施	○子ども向け各種体験事業の実施, ジュニアリーダー講座など, 253講座を実施
当初予算額 2,592 千円	決算額 2,042 千円
構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	15,244 千円	H27	17,494 千円
H28	14,418 千円	H28	13,726 千円
H29	9,312 千円	H29	8,792 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	38,974 千円	合 計	40,012 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○新潟市内全小学校に「自然体験推進事業」を周知し、101校の希望校に1学級当たり3万円のバス代補助を実施した。各学校より子どもたちの自然体験学習(野外炊飯, キャンプファイヤー, 自然観察等)の充実した様子が伝えられてきた。

○学校が休みになる土日や夏休みなどの長期休業期間に、家庭や学校ではできない集団活動やキャンプなどの野外活動, ものづくりなどの体験活動事業を実施し, 異年齢や異なる学校の子どもたちの仲間づくりを促し, 協調性・社会性を育み, 子どもたちの健全育成を図った。

● 30年度の取組

○各学校の自然体験学習推進事業に関わる進捗状況を管理しながら, バス代の補助が適切に実施されるよう指導・助言をしていく。

○自然体験や生活体験が希薄な子どもたちに, 土日や長期休業期間に体験活動事業を実施することで, 様々な体験活動を通して, 自立心や協調性, 社会性を育み, 子どもたちの健全育成を図る。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	優れた音楽や芸術に触れる機会の提供(回)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2	2	2	2		5	100.0%
進捗状況	4	3	3	3				
指標2	伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5	93.7%
進捗状況	5,081	6,663	6,509	6,101				
指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 優れた音楽・芸術に触れる機会の提供		
H29事業計画	H29事業成果	
○わくわくキッズコンサートの開催 ○「こころの劇場」招待公演の開催 ○文化芸術による子どもの育成事業 巡回・派遣公演 ○事業内容の検討	○わくわくキッズコンサートの実施 ○「こころの劇場」招待公演の実施 ○文化芸術による子どもの育成事業巡回・派遣公演を18校で実施	
当初予算額	37,968 千円	決算額 35,609 千円
構成事業2 伝統文化の体験学習(再掲)		
H29事業計画	H29事業成果	
○地域の伝統・文化の体験と次世代への継承	○子ども大凧合戦や新潟漆器の絵付け体験, 地域の伝統行事などの体験事業を実施	
当初予算額	1,803 千円	決算額 1,180 千円
構成事業3		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	32,396 千円	H27	40,279 千円
H28	40,579 千円	H28	39,269 千円
H29	39,771 千円	H29	36,789 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	112,746 千円	合 計	116,337 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○わくわくキッズコンサートは市内112校(附属小学校を含む)の小学校5年生6,707名が東京交響楽団による演奏の鑑賞を行った。実施日は、10月31日(火)・11月1日(水)の2日間であった。同時に東京交響楽団の演奏者による事前の学校訪問「アウトリーチ」は、学校からの応募があり、60校で、9月19日(火)～22日(金)にかけて行われた。学習指導要領改訂による教育課程の編成を進めるにあたり、授業時数の確保と質の向上のため、平成30年度以降は継続しない。

○市立小学校107校、6,619名の6年生を招待する「こころの劇場(嵐の中の子どもたち)」が実施された。10月23日(月)・24日(火)・25日(水)に行われた。

○新潟漆器の絵付けや、南区の大凧合戦など地域の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承することの大切さを知ってもらう機会とした。

● 30年度の取組

○こころの劇場は、10月1日(月)・2日(火)・3日(水)に公演予定である。

○引き続き、地域や日本の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統文化の素晴らしさや継承することの大切さを伝え理解を深める機会とする。

● 推進委員からの意見・要望等



●H29施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	中学校の体力テストの各項目で全国平均値を上回った項目の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		51.0	52.0	47.0	54.0	55.0	5	117.5%
進捗状況	52.1	47.9	47.9	56.3				
指標2	運動習慣等調査中2女子の「運動が好きですか」の肯定的評価の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.5	82.0	82.0	82.0	85.0	4	100.4%
進捗状況	79.2	77.6	77.8	78.1				
指標3	運動習慣等調査中2女子の「運動が得意ですか」の肯定的評価の割合(%)						H29評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		58.0	59.0	-	-	-		
進捗状況	56.7	55.8	-	-	-	-		
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「体力向上ジャンプアップ」推進事業	
H29事業計画	H29事業成果
○「体力向上ジャンプアップ」を小・中学校毎に集約, 情報提供	○「体力向上ジャンプアップ」を小・中学校毎に集約し, 各校へ配付。研修会でのよい取組の紹介。
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2「体力向上・運動大好きプロジェクト」	
H29事業計画	H29事業成果
○体力向上指導者養成研修へ3名派遣 ○伝達講習会の実施(小学校2回・幼稚園1回・中学校: 県と共催1回) ○CD「学校体育のあしあと」作成。市立学校全校へ配付	○体力向上指導者養成研修へ3名派遣 ○伝達講習会の実施(小学校2回, 幼稚園1回, 中学校1回) ○CD「学校体育のあしあと」作成, 全市立学校へ配付
当初予算額 207千円	決算額 230千円
構成事業3「中学校部活動エキスパート・サポート事業」	
H29事業計画	H29事業成果
○運動部エキスパートとして50名以上を派遣 ○運動部サポーターとして40名以上を派遣	○運動部活動における競技力及び体力の向上を図るため, 運動部エキスパート67名, サポーター39名派遣
当初予算額 4,500千円	決算額 4,262千円
構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6「地域と学校パートナーシップ事業【再掲】」	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,681 千円	H27	4,511 千円
H28	4,675 千円	H28	4,376 千円
H29	4,707 千円	H29	4,492 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	14,063 千円	合 計	13,379 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○スポーツ庁主催体力向上指導者養成研修(東部ブロック)へ3名派遣した。3名とも、「新しい情報を吸収でき研鑽できた」と成果を実感できた。研修後には、市立学校体育指導伝達講習会で講師役を務めるとともに、夏季休業中には各勤務校で研修会を実施した。機会のあるごとに、体育指導者に学んだことを広めさせた。

○伝達講習会(小学校2回・幼稚園1回・中学校:県と共催1回)を実施した。全小・中学校から1名以上の参加があった。講習会の事後アンケートでは、研修の満足度が三つの研修会全てで高く、有意義であることが分かった。

○各学校や体育連盟等において、大学をはじめとする指導者からの教えを取り入れながら授業実践と研究を重ね、「学校体育のあしあと」を編集、発信できた。

● 30年度の取組

○スポーツ庁主催体力向上指導者養成研修(東部ブロック)へ3名以上を派遣し、29年度と異なる領域に関する講習を受けさせる。30年度は、新潟市単独で指導伝達講習会を開催し、市立各学校での体育指導の充実、発展に寄与する。

○市立各学校での授業実践と研究及び体育事業をさらに実りのあるものにすることが求められる。そのために、市小研、中教研、中体連の組織を生かすとともに、運営に関する支援をすすめる。さらには、年度末に「学校体育のあしあと」として実践内容をまとめ、多方面への情報発信を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
3.5

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		肥満傾向の児童生徒の割合(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		6.44	6.07	5.69	5.32	5.30	2	100.1%	
進捗状況	6.82	6.68	6.92	6.91					
指標2		中学1年生一人平均う歯(むし歯)数(本)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		0.51	0.46	0.41	0.36	0.30	3	113.7%	
進捗状況	0.56	0.53	0.51	0.44					
指標3		健康診断の確実な実施(回)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		2	2	2	2		4	100.0%	
進捗状況	2	2	2	2					
指標4		研修会の実施(回)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標		6	6	7	7		5	150.0%	
進捗状況	6	6	6	9					
指標5								H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標6								H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標7								H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									
指標8								H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標									
進捗状況									

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 児童生徒の生活習慣病予防対策事業	
H29事業計画	H29事業成果
○パンフレットを作成し, 健康教育に活用 ○小4, 中1の希望者に血液検査などの健診を実施 ○健康相談会の実施 ○健診結果説明会の開催	○6月にパンフレットを作成し, 健康教育に活用 ○小4(975名), 中1(632名)の希望者に血液検査などの健診を実施
当初予算額	9,093 千円
決算額	6,984 千円
構成事業2 児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業	
H29事業計画	H29事業成果
○「むし歯予防教室」, 「歯肉炎予防教室」の開催 ○フッ化物洗口の実施	○「むし歯予防教室」, 「歯肉炎予防教室」の開催 ○フッ化物洗口の実施 (幼稚園11園全園実施済 100%・小学校107校中82校実施済 76.6%・中学校57校中8校実施済 14.0%)
当初予算額	14,229 千円
決算額	11,267 千円
構成事業3 各種健康診断事業	
H29事業計画	H29事業成果
○就学時健康診断 ○定期健康診断	○就学時健康診断の対象者 6,549名(H29/10/1現在)6,539名実施 ○定期健康診断の実施
当初予算額	196,133 千円
決算額	195,280 千円
構成事業4 健康教育に関する研修の充実	
H29事業計画	H29事業成果
○保健主事研修 ○養護教諭研修 ○保健の授業づくり ○性に関する教育研修会 ○学校におけるアレルギー疾患への対応研修会 ○学校保健研修会 ○がん教育研修会	○保健主事研修 ○養護教諭研修(2回) ○保健の授業づくり ○性に関する教育研修会 ○学校におけるアレルギー疾患対応研修会 ○学校保健研修会 ○プールの安全衛生研修会 ○がん教育研修
当初予算額	1,552 千円
決算額	868 千円
構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	224,064 千円	H27	213,091 千円
H28	219,969 千円	H28	210,704 千円
H29	221,007 千円	H29	214,399 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	665,040 千円	合 計	638,194 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

◎児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、生活習慣病予防パンフレットを小学校4年生及び中学校1年生の保護者に6月に配付し、各学校で指導するとともに、夏休み期間を利用して、小学校4年生と中学校1年生の希望者に生活習慣病健診を実施した。生活習慣病健診は小学校4年生975人、中学校1年生632人、計1,607人が受診し、受診率は12.4%で、昨年度に比べ約2%の減少となった。また、健康診断の結果より、肥満傾向の児童生徒の割合について目標値に届かない状況が続いているが、29年度は、わずかではあるが前年度より改善が見られた。今後も、受診啓発に努めていく。

◎児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、むし歯予防教室や歯肉炎予防教室を行う巡回歯科指導を実施するための準備を行った。小学校104校、中学校55校、中等教育学校0校、特別支援学校2校、幼稚園11校、ほぼ昨年度と同じ計172校・園から実施希望があり、歯科教育に関する意識の向上が持続していると考えている。フッ化物洗口については、平成29年度は小学校12校の新規開始に取り組み、教職員及び保護者説明会、希望調査、洗口練習と段階を踏み、丁寧に説明することで、フッ化物洗口に関する正しい知識を周知し、進めることができた。

◎各種健康診断事業については、学校保健安全法に基づく定期健康診断及び精密検査を予定どおり実施し、疾病の早期発見や児童生徒の健康管理や指導に努めるとともに、小学校就学予定者に対する就学前健康診断を円滑に実施した。また、運動器の機能に関わる検査については、整形外科医を中心とした検討委員会を立ち上げて準備を進めたことにより、着実に実施することができた。

◎健康教育に関する研修の充実については、アレルギー疾患への対応、感染症、生活習慣病、喫煙や飲酒、薬物乱用、性に関する問題、いじめや不登校、虐待など多岐にわたる健康課題の解決に向け、これらの的確な対応、適切な指導を求められており、養護教諭の専門的な資質や能力の向上のため研修を実施した。また、養護教諭の育成指標の作成にも取り組み、キャリアステージごとにグループワーキングを取り入れるなど、新たな指標が完成した。

◎新規事業「がんの教育総合支援事業」について、中学校と高等学校それぞれ1校ずつ推進校を指定し、研究事業及び講演会を実施した。

● 30年度の取組

◎児童生徒の生活習慣病予防対策事業については、要医療者に受診勧奨を行い、要指導者には事後の健康相談への参加を促す。また、健診結果集計データを学校に送付し、学校における保健指導の資料に活用するとともに、平成30年度の健診対象者に前年度のうちから勧奨を行い、受診希望者の掘り起こしを行っていく。なお市立高校3校の生徒には、生活習慣指導を行い、小学校・中学校との継続指導を実施する。平成30年度は、肥満傾向の児童生徒の割合を減少させる取組として、生活習慣病健診結果説明会を開催し、この健診の必要性を理解してもらうとともに、後期に実施する健康相談会に積極的に参加するよう、併せて受診啓発に努めていく。

◎児童生徒のむし歯・歯周疾患予防対策事業については、歯科衛生士の協力を得て、希望する小学校・特別支援学校に歯科衛生士を派遣し、むし歯予防教室や歯肉炎予防教室を行う巡回歯科指導を実施する。なお、中学校においては、平成30年度より指定校の実施とし、養護教諭と連携して実施する予定。フッ化物洗口については、平成30年度新規立ち上げ校の小学校12校がフッ化物洗口を開始するための準備を着実に進めていく。平成29年度末で実施校・園数は、市立幼稚園全園(11園)、小学校82校、中学校8校となり、今後もフッ化物洗口を着実に広めていくことで、健康で丈夫な歯づくりを進め、むし歯の有病者率を抑制していくことができると考えている。

◎各種健康診断事業については、定期健康診断及び精密検査の結果を集計し、学校保健統計資料を取りまとめるとともに、成長曲線・肥満度曲線の活用について、引き続き研修を実施していく。

◎健康教育に関する研修の充実については、多様化・複雑化する児童生徒の健康課題に的確に対応するため、性に関する教育研修会、学校におけるアレルギー疾患への対応研修会及び学校保健研修会を養護教諭や学校保健関係者に広く呼びかけて、充実した研修会を開催する予定である。

◎「がんの教育総合支援事業」については、2年目の取組として、新たに小学校も加え、がん教育研修会や推進校3校において実践的な取組を進めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
2.8

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	児童生徒の朝食欠食率(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	1	93.3%
進捗状況	1.4	1.4	1.5	1.6				
指標2	給食の残食量の減少(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		3.20	3.15	3.10	3.05	3.00	1	72.7%
進捗状況	2.80	2.70	3.30	4.20				
指標3	スクールランチ利用率(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		68.7	68.7	69.2	69.6	70.0	4	99.3%
進捗状況	68.7	69.3	68.9	68.4				
指標4	地場農林水産物の使用率(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		15.8	15.8	15.8	15.9	16.0	4	96.4%
進捗状況	15.8	16.7	16.6	16.0				
指標5	おはよう朝ごはん料理講習会実施か所数(か所)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		36	37	38	39	40	4	97.4%
進捗状況	34	39	39	38				
指標6							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「食に関する指導」推進事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○食育指導者の派遣 ○研究推進校の指定(4校, H29-30) ○栄養教諭等研修会の開催 ○食に関する指導研究会の実施	○食育指導者の派遣(21校, 延べ48回) ○研究推進校による食育研究(4校, H29-30) ○栄養教諭等研修会の開催(2回), 「食に関する指導」研修会の開催(3回)	
当初予算額	603千円	決算額 427千円
構成事業2 学校と家庭との連携強化事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○食育ミニフォーラムの開催(9月・11月) ○親子料理教室の実施(各学校) ○給食・学校だよりの発行(各学校) ○保護者対象の懇談会の開催	○食育ミニフォーラムの開催(9月・11月) ○親子料理教室の実施, 給食・学校だよりの発行, 保護者対象の懇談会の開催(各学校)	
当初予算額	142千円	決算額 57千円
構成事業3 スクールランチ運営事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○食育指導者派遣 ○試食会の開催 ○リクエスト及び募集献立, 出前講座の実施 ○スクールランチ運営委員会・食育推進部会	○食育指導者の派遣の実施(21校で計48回) ○試食会, 説明会の開催(22回) ○リクエスト献立及び募集献立, 出前講座, スクールランチ運営委員会, 食育推進部会の開催	
当初予算額	872千円	決算額 476千円
構成事業4 学校給食の充実事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○地産地消の推進 ○完全米飯給食の実施	○地産地消の推進(食材数ベース: 市産16.0%) ○完全米飯給食の実施(週4.5以上)	
当初予算額	0千円	決算額 0千円
構成事業5 家庭教育振興事業(おはよう朝ごはん料理講習会)		
H29事業計画	H29事業成果	
○朝ごはん料理講習会の実施	○朝ごはん料理講習会の実施(38か所, 参加者1,067名)	
当初予算額	670千円	決算額 544千円
構成事業6		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,365 千円	H27	1,606 千円
H28	2,228 千円	H28	1,111 千円
H29	2,287 千円	H29	1,504 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	6,880 千円	合 計	4,221 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

◎「食に関する指導」推進事業については、栄養士が配置されていないスクールランチ実施校に食育指導者を派遣し、中学生の年代に合わせた食育を行うことができた。研究推進校については、指定した小・中4校において平成29年度から2か年にわたり研究を行っており、食育講座・出前授業・料理講習会・お弁当の日を行うなど食育効果を上げる研究に取り組んでいる。

◎学校と家庭との連携強化事業については、食育ミニフォーラムを9月に月潟中学校区で、11月に潟東中学校区でそれぞれ開催し、保護者や地域を巻き込んだかたちで食の大切さを学習するなど食育効果を高めることができた。ただし、指標としている朝食欠食率及び給食の残食量率は目標を下回った。朝食欠食率については、中学生の割合が高く、特に高学年になるほど欠食率は上昇している。残食率については、学校により差はあるが、残食を減らす取組みを行っている学校・クラスでは効果は出ている。

◎スクールランチ運営事業については、食育指導者の派遣を21校で48回行い、朝食の大切さと中学生の栄養、スポーツ栄養と食事、受験期の栄養と食事についての講演会を実施し、生徒が自分の食生活を見直すきっかけとなった。また、スクールランチ運営委員会と食育推進部会を各1回ずつ開催し、食育推進部会では残食を減らす取組や、学校における食育活動の実践について情報交換を行い、今後の運営改善に役立てることができた。

◎学校給食の充実事業については、引き続き完全米飯給食を推進し、学校給食において日本型食生活を実践した。市内産の給食食材の使用率向上については、農林水産部や各区役所と連携し地場産給食事業を各学校や給食センターで行ったほか、標準献立の中で「地場産推奨献立」を毎月2～3回実施し、地場産使用率は16.0%で目標の15.8%を上回り、給食における地産地消を推進することができた。

◎早寝早起き朝ごはん推進事業では、学校や地域と連携・協力しながら、料理講習会を38か所で実施し、子どもたちが健やかに成長していくために必要な基本的な生活習慣の確立と生活リズムの向上を図った。

● 30年度の取組

◎「食に関する指導」推進事業については、栄養士が配置されていないスクールランチ実施校に、学校の要請に応じて食育指導者を派遣し食育の推進を図っていく。また、研究指定校については、昨年度から引き続き小中4校において取組を行い、給食主任研修会や市学校給食会の理事幹事会においてその成果を発表し、各校の食育の取組に役立ててもらおうこととする。

◎学校と家庭との連携強化事業については、食育ミニフォーラムを濁川中学校区及び亀田西中学校区で開催し、食の大切さを学習するなど保護者や地域を巻き込んだかたちで食育を進めていく。朝食欠食率減少については、引き続き食育指導者派遣事業の中で啓発を図るほか、朝食を摂ることの大切さを盛り込んだチラシを学校に配付し指導に活用してもらおう。給食の残食率減少については、給食主任研修会などで成果を上げている学校の取組み事例を紹介し、全市的な情報共有を図る。

◎スクールランチ運営事業については、生徒に食に対する関心を持ってもらうため「リクエスト献立」を実施したり、生徒が考えた献立を給食にする「募集献立」を実施したりすることで、スクールランチへの理解と利用促進を図る。また、スクールランチ運営委員会や食育推進部会を開催し、スクールランチ事業のさらなる改善を図っていく。

◎学校給食の充実事業については、引き続き完全米飯給食を推進し、学校給食において日本型食生活を実践する。また、市内産の給食食材の使用率向上については、引き続き農林水産部や各区役所と連携していくほか、地場産食材を多く取り入れた「地場産推奨献立」を実施するなど引き続き地産地消の推進を図る。

◎早寝早起き朝ごはん運動を推進し、学校や地域と連携・協力しながら、おはよう朝ごはん料理講習会をコミュニティ協議会等と協働で実施するほか、ホームページ等を通して普及啓発を図って行く。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.2

331.0%

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	継続支援終了者(延べ人数)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		22	32	42	52	62	5	133.3%
進捗状況	12	36	42	56				
指標2	若者支援者養成講座修了者(延べ人数)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		101	101	191	231	231	4	100.0%
進捗状況	71	131	191	191				
指標3	中央育成活動回数(回)→H29～中央育成活動及び地域との合同育成活動回数(回)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		184	368	612	828	1,044	5	
進捗状況	171	275	515	759				
指標4	わたしの主張大会参加校(校数)→H29～わたしの主張大会参加団体数(団体)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		19	21	20	21	23	4	
進捗状況	17	18	17	20				
指標5	子ども向け体験活動事業参加者数(人)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	3	96.6%
進捗状況	21,011	20,516	20,365	19,670				
指標6	青少年の居場所設置か所数(か所)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		19	19	19	19	19	4	100.0%
進捗状況	19	18	19	19				
指標7							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 若者支援事業	
H29事業計画	H29事業成果
○若者支援センター事業 ・相談事業・若者の社会参加及び自立支援事業 ・居場所の運営 ○若者支援協議会の運営	○相談事業は95件(面談実数), 面談延数762件, その中で継続支援終了者が56件であり前年度比14件の増 ○若者支援協議会所属の関係機関の事業・取組の共有
当初予算額 6,381 千円	決算額 6,309 千円
構成事業2 非行防止対策事業	
H29事業計画	H29事業成果
○街頭育成活動 ○社会環境浄化活動 ○非行・被害防止キャンペーン	○青少年育成員による声かけなどの巡回を242回実施 ○青少年を取り巻く社会環境の実態調査を関係団体等205名の協力を得て実施 ○街頭で関係団体等130名による万引防止の啓発を実施
当初予算額 4,131 千円	決算額 3,674 千円
構成事業3 青少年健全育成事業	
H29事業計画	H29事業成果
○青少年関係団体の育成及び活動への支援 ○わたしの主張大会開催	○関係団体へ研修会の実施(参加者80名)や情報提供, 連絡会議等の開催(年間8回) ○わたしの主張大会開催(市内16校・4団体から782編の応募)
当初予算額 3,594 千円	決算額 3,292 千円
構成事業4 子ども体験活動・ボランティア活動推進事業(再掲)	
H29事業計画	H29事業成果
○土日や長期休業期間に家庭や学校ではできない集団活動や多様な体験活動事業の実施	○子ども向け各種体験事業の実施, ジュニアリーダー講座など, 253講座を実施
当初予算額 2,952 千円	決算額 2,042 千円
構成事業5 青少年の居場所づくり事業	
H29事業計画	H29事業成果
○公民館の講座室またはスペースを「子どもの居場所」として開放 ○長期休業中などの学習室の開放	○青少年の居場所19館で実施 ○長期休業中などで学習室の開放
当初予算額 260 千円	決算額 76 千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	21,243 千円	H27	18,826 千円
H28	18,629 千円	H28	16,528 千円
H29	17,318 千円	H29	15,393 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	57,190 千円	合 計	50,747 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○青少年への相談や自立に向けた事業においては、新潟市若者支援協議会を5月に開催し、関係機関の連携強化を図った。新潟市若者支援センター(以下「オール」)の平成29年度面接相談実績の延べ件数は、762件。居場所でのユースアドバイザー(YA)との関わりは6,235回である。若者の複雑・困難な課題整理や解決、リファーマ(外へのつなぎ)を行い、リファーマ時に同行し支援を行った。支援事業では若者一人一人の成長に応じた事業の工夫・改善、居場所ではYAが利用者に寄り添うことで若者の成長や自立につなげた。高校中退者、その未然防止に向け、「いがた若者応援ネット」の運営を着実に進め、高校職員に向けた研修を開催した。オール運営要綱について、検討を重ね要綱の策定を行った。若者支援協議会の実務代表者会議(ナビゲーションブック評価会議)を開催し、他機関との連携強化を図った。

○青少年の健全育成を推進するために、わたしの主張新潟市地区大会を開催し、市内20団体(16中学校+4地区育成協議会)782名の応募の中から選出された12名による大会を開催した。自己の体験や地域との関わり等で主張文を書くこと、自他の意見を聞くこと、考えることを通じて中学生自身がよりよく生きようとする想いや態度を育成することに寄与した。大人は中学生の考えや体験に共感し、感動することで健全育成への関心やその推進に向けた意欲を高めた。

○青少年の健全育成・非行防止については、第14期新潟市青少年育成員37名を委嘱し、242回の街頭育成活動を実施した。駅南の状況を注視し、活動の重点にした。活動中の声掛け総数は1,310回だった。内訳は、問題行動に対するものが74件、それ以外が1,236件であった。これらの情報を各地区の学校警察連絡協議会や中・高の生徒指導主事連絡会で伝達し、啓発を行った。青少年育成員に対して、研修会3回、情報交換会3回、リーダー会議6回を実施し、青少年育成員の資質向上及び情報の共有を図った。

○7月には社会環境実態調査を実施した。調査員延べ205名が市内全域の店舗・コンビニなどを回り、有害図書類などの調査を行った。この結果を基に有害環境等の把握、改善に努めた。また7月の非行・被害防止キャンペーンでは「万引きの防止」「インターネットの正しい利用」の標語を募集し、市内小中学生から1,087編の応募があった。ちらしやうちわを作成し、啓発活動に活用した。7月1日の非行・被害防止街頭PR大作戦には、関係団体の大人・子ども合わせて130名が参加した。県警職員の講話を聴き、新潟駅や万代シティ周辺で啓発うちわを配布するなど、非行・被害防止に向けた意識を高め、市民に向けた啓発を充実させた。

○学校が休みになる土日や夏休みなどの長期休業期間に、家庭や学校ではできない集団活動やキャンプなどの野外活動、ものづくりなどの体験活動事業を実施し、異年齢や異なる学校の子どもの仲間づくりを促し、協調性・社会性を育み、子どもたちの健全育成を図った。

○19か所の公民館で子どもの居場所を開設し、学校・家庭以外に安全に安心して自由に過ごせる場所を提供した。多くの公民館で遊びや勉強をして過ごす子どもたちの姿が見受けられ、公民館を知るきっかけにもなり、継続して利用する子どもたちも増えている。

● 30年度の取組

○青少年に関する相談や自立に向けた支援においては、オール運営要綱による取組を行い、相談や事業等の円滑な運営を図る。居場所の環境整備の実施。並びに、ユースアドバイザー(YA)の配置について、若者との関わりをより効果的に行うため、勤務体制の見直しを行う。若者支援協議会の実務代表者会議を開催し、オールの課題解決や他機関との連携強化を推進する。

○青少年の非行防止・健全育成対策として、新潟駅・万代シティなど繁華街を中心とした街頭育成活動を年間通して実施する(208回予定)。また、地域の交流育成活動(8回)や一日育成体験事業(3回)を通して、街頭育成活動や青少年育成員への理解や関心を高め、持続可能な活動となるようPRに努める。

○青少年の健全育成推進事業としての「わたしの主張新潟市地区大会」は、参加しやすい環境づくりや周知方法の改善を進め、さらなる推進に努める。

○青少年育成団体の育成及び支援としては、青少年育成協議会の研修会を開催し、青少年育成団体指導者の共通理解と育成を図る。また、会報を発行し、学校や各区自治協議会・コミ協、地区住民等へ広く配布し、青少年関係団体事業の周知や活性化を図る。

○社会環境実態調査の実施において明らかとなった結果を分析・考察し、ホームページなどで公表する。社会環境等の改善が必要な場合があれば対応していく。

○自然体験や生活体験が希薄な子どもたちに、土日や長期休業期間に体験活動事業を実施することで、様々な体験活動を通して、自立心や協調性、社会性を育み、子どもたちの健全育成を図る。

○引き続き、公民館で学校や家庭以外の安全な居場所を提供するとともに、ミニイベントなどを開催することで、利用者の増加に努めていく。

※ 中央育成活動にかかる指標(指標3)については、平成29年度より、街頭育成事業の実施状況を適正に評価するため指標・育成方針を変更し、平成27年度から「延べ実施回数」へと変更した。

● 推進委員からの意見・要望等

○ 若者支援センター(オール)の活動で、ユースアドバイザーとの関わりが年間6,235回とあるが、どのようなことを行っているのか。  
⇒ 引きこもりや課題を抱えている若者との相談を通じて、居場所づくりや社会とのつながりをつくっている。その相談業務等を行っているのが37名のユースアドバイザーであり、若者の来館数である。

○ 高校中退者の未然防止のため、「いがた若者応援ネット」の活動とはどのようなことか。  
⇒ 保護者や高校生、担任教師等との相談の機会を設け、改善のためにアドバイスをを行っている。月1回、明鏡高校で実施している。

●H29施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	伝統文化の体験学習事業の参加者数(人)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5	93.7%
進捗状況	5,081	6,663	6,509	6,101				

  

指標2	H29評価						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標3	H29評価						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標4	H29評価						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標5	H29評価						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標6	H29評価						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標7	H29評価						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標8	H29評価						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 伝統文化の体験学習	
H29事業計画	H29事業成果
○地域の伝統・文化の体験と次世代への継承	○子ども大凧合戦や新潟漆器の絵付け体験, 地域の伝統行事などの体験事業を実施
当初予算額 1,803 千円	決算額 1,180 千円

  

構成事業2	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,725 千円	H27	1,678 千円
H28	1,798 千円	H28	1,266 千円
H29	1,803 千円	H29	1,180 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	5,326 千円	合 計	4,124 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○新潟漆器の絵付けや、南区の大凧合戦など地域の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統文化の素晴らしさを継承することの大切さを知ってもらう機会とした。

● 30年度の取組

○引き続き、地域や日本の伝統や文化を体験することにより、子どもたちに伝統文化の素晴らしさや継承することの大切さを伝え理解を深める機会とする。

● 推進委員からの意見・要望等



●H29施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		75.0	75.0	82.0	80.0		4	96.4%
進捗状況	74.5	73.8	81.1	78.2				
指標2	新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56.5	56.5	57.0	61.0		5	106.9%
進捗状況	56.0	54.6	56.7	60.6				
指標3							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 外国語指導助手(ALT)配置事業	
H29事業計画	H29事業成果
○市立全小・中・高・中等教育学校へのALTの配置 ○ALTの資質向上に向け定例研修会を実施	○市立全小・中・高・中等教育学校へALTの配置 ○ALTの資質向上に向け定例研修会を実施 ○小学校, 中学校のTT授業を参観し, 協議会を実施 ○市内中高生を対象としたイングリッシュセミナーの運営
当初予算額 45,384 千円	決算額 44,773 千円
構成事業2 国際交流推進事業	
H29事業計画	H29事業成果
○受入: ロシア ハバロフスク市・ピロピジャン市児童生徒16名・引率者3名 ○派遣: 中国ハルビン市(児童生徒10名・引率者4名), 韓国ウルサン広域市(児童生徒10名・引率者3名)	○ロシア ハバロフスク市・ピロピジャン市から児童生徒16名・引率者3名を受入 ○中国ハルビン市・韓国ウルサン広域市へ20名・引率者7名派遣
当初予算額 2,382 千円	決算額 2,462 千円
構成事業3 外国語教育支援事業【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○小中高連携をテーマにした公開授業の実施 ○生徒, 教員の英語力向上を目指した外部試験受検補助 ○外国語教育マネジメント研修の実施	○英語指導力向上に向けての研修協力校の公開授業や外国語教育マネジメント研修の実施 ○生徒・教員の英語力向上に向けた外部試験受検補助 ○大学教授等外部専門機関を招聘しての研修会の実施
当初予算額 1,792 千円	決算額 1,776 千円
構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	51,712 千円	H27	72,736 千円
H28	65,240 千円	H28	63,893 千円
H29	49,558 千円	H29	49,011 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	166,510 千円	合 計	185,640 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○全校にALTを配置し、外国語活動・外国語の授業の充実を図った。また、毎月ALTの定例研修会を実施し、研修内容を学校現場に報告し、成果物等を教材化し、授業に生かしてもらった。

○9月20日に小学校、10月18日に中学校、10月30日に高等学校、合計3校の研修協力校による公開授業を行った。その実施に向け、3校合同の指導案検討会を行った。小学校中学校においては、それぞれ外部専門機関から指導者を招聘し、指導案検討を行った。

○中学校教員の英語指導力向上を図るために、外部専門機関より講師を招聘し、研修会を実施した。

○公開授業に向け、必要な教材等を購入した。

○小中高等学校教員の英語力向上を図るために、外部検定試験の受検補助を行い、希望者を募った。

○国際交流受入事業では、7月18日～25日にロシア連邦のハバロフスク市とビロビジャン市から16名の児童生徒を受け入れた。国際子どもフォーラム、学校訪問やホームステイ等の交流を通して、本市児童生徒のロシアに対する理解が深まった。

○国際交流派遣事業では、10月14日～18日に韓国ウルサン広域市へ、11月6日～10日に中国ハルビン市へ各10名、計20名の児童生徒を派遣した。学校訪問やホームステイ等の交流を通して、本市児童生徒の各国に対する理解が深まった。

● 30年度の取組

○小中高等学校教員の英語力向上を図るために、外部検定試験の受検補助を継続実施する。

○研修の成果と課題を明確にするために、研修協力校において、GTEC受検補助を行い、新潟市の授業改善に生かす。

○11月30日に実施する、小中高等学校の英語担当教員対象の外国語教育マネジメント研修において、外部専門機関から指導者を招聘し、研修協力校の研究成果発表を行う。

○国際交流受入事業では、10月15日～19日に中国ハルビン市に、10月23日～27日に韓国ウルサン広域市からそれぞれ10名の児童生徒を受入する。学校訪問や国際子どもフォーラムを開催して相互交流を行う。

○国際交流では、10月14日～18日にウルサン広域市に、11月6日～10日にハルビン市にそれぞれ10名の児童生徒を派遣する。派遣報告文集を作成して市内全校に配付し、理解を広める。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.7

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66.6	66.6	70.0	90.0	70.0	5	102.0%
進捗状況	65.7	60.3	98.0	100.0				
指標2	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学び合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		51.0	51.0	55.0	55.0	55.0	5	101.2%
進捗状況	50.0	50.0	97.0	98.2				
指標3	「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合(%)						H29評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0		4	100.0%
進捗状況	92.0	95.0	100.0	100.0				
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1「タブレット等ICT活用研修(教職員研修)【新規】		
H29事業計画	H29事業成果	
○ICT機器を授業で活用するための研修 ○教職員の指導スキルの向上研修 ○ICT新規導入校への説明会 ○教材の更新	○ICT機器を授業で活用するための研修 ○教職員の指導スキルの向上研修 ○ICT新規導入校への説明会 ○教材の更新	
当初予算額	0千円	決算額 0千円
構成事業2「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進(再掲)【新規】		
H29事業計画	H29事業成果	
○年間2回実施の研究主任会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での具体的支援	○年間2回実施の研究主任会での支援 ○計画訪問, 要請訪問での指導と支援	
当初予算額	0千円	決算額 0千円
構成事業3		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○第1回の研究主任研修会では、「アクティブ・ラーニング」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた各校の校内研修の進め方について学び合うことができた。その結果、多くの学校が見通しをもって取り組んでいることが計画訪問、要請訪問の様子から分かった。市小研の全体会や小中学校長会でも、新潟市の授業づくりについて説明する中で、「アクティブ・ラーニング」による主体的・対話的で深い学びの必要性についても周知してきた。

● 30年度の取組

○計画訪問、要請訪問を通して、校内研修の方向性等について研究主任、管理職に指導・助言していく。

○タブレット導入校への操作説明会を実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		20.0	50.0	80.0	85.0	100.0	5	118.1%
進捗状況	-	42.5	72.0	85.0				
指標2	教育委員会から、各校に向けて環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H29評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1	1	1	1		4	100.0%
進捗状況	1	1	1	1				
指標3	環境教育事業の実施						H29評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施	実施				
指標4	太陽光発電及び蓄電池設備の設置校(累計)						H29評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		11	16	19	20		5	111.1%
進捗状況	7	12	18	20				
指標5	停電時、非常電源としての実地体験(回)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5	5	5	5	5	4	100.0%
進捗状況	-	5	5	5				
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業(再掲)【新規】		
H29事業計画	H29事業成果	
○持続可能な開発のための教育(ESD)の啓発 ○学校訪問を通じた助言・指導	○持続可能な開発のための教育(ESD)の啓発を広報により実施 ○ESDを教育課程へ位置づけている学校が小学校で88%, 中学校79%と確実に増えている。	
当初予算額	0千円	決算額 0千円
構成事業2 環境学習の充実		
H29事業計画	H29事業成果	
○環境学習への支援 ○環境学習発表会	○環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業を9校において実施 ○児童生徒が緑に親しみふれ合い、自然の大切さや環境の保護に取り組もうとする思いや態度が育っている。	
当初予算額	1,200千円	決算額 1,197千円
構成事業3 環境教育事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○地域住民向け環境教育事業 や子ども向け環境教育事業の実施	○環境美化活動や地域特有の自然や環境を学習する機会を提供し、延べ1,260人が参加	
当初予算額	275千円	決算額 473千円
構成事業4 学校施設エコスクール化推進事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○2校で実施設計・整備 ○5校で施設の現地体験実施	○2校で実施設計・整備 ○5校で施設の現地体験実施	
当初予算額	50,308千円	決算額 45,475千円
構成事業5		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115,821 千円	H27	95,399 千円
H28	126,904 千円	H28	122,407 千円
H29	51,783 千円	H29	47,145 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	294,508 千円	合 計	264,951 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○上半期は、学校訪問を通じて、ESD(持続可能な開発のための教育)を教育活動の中に位置付けることに関して働き掛け、その意義について指導してきた。その結果、ようやく、ESDの概念が各教職員に浸透し、教職員一人一人がESDを意識した授業づくりを進めることで、子どもたちに持続可能な社会を目指そうとする態度を育むことができることを確認することができた。

○環境教育の一層の推進を図るため、小・中学校に「地域の特色を活かした環境学習支援事業」の案内・募集を行い、希望校1校(南浜中)と指定校9校(松浜小, 南中野山小, 鳥屋野小, 有明台小, 亀田東小, 新津第二小, 根岸小, 坂井輪小, 中之口西小)が事業推進している。また、県が行っている水俣病発生地域間交流事業の依頼を受けて、2校(新津第二小, 鳥屋野小)を推薦し、水俣市を中心とした現地学習を行った。その結果、各学校で身近な環境と水俣病との関連に気付き、「環境問題は自分たちの問題である」ととらえる子どもたちの意識が高まった。

◎子どもたちが、緑豊かな環境の中で、自然とかかわり合う体験をとおして学ぶことができるよう「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の案内・募集を行い、9校(濁川中, 木崎小, 木戸小, 沼垂小, 女池小, 鳥屋野中, 早通小, 大通小, 巻東中)が事業推進している。その結果、対象校の敷地内緑化が進み、子どもたちが自然とかかわり合う体験をとおして学ぶことができるようになってきた。

○地域住民に向けた環境を考える講座や小中学生を対象とした自然体験教室を実施することで、身近な自然や環境を実感し、考える機会とした。

○環境負荷への低減、自然との共生及び非常時の最低限必要なエネルギーの確保など、持続可能な環境教育の実施教材として太陽光発電及び蓄電池設備について、予定通り設置した。また、各学校の環境教育の充実に向けた支援として、既に設置されている5校で実地体験研修を実施し、設置設備の有効活用及び学習活動への活用を啓発した。

● 30年度の取組

○さらに学校訪問等を通じて、ESDを意識した授業づくりを推進するよう働き掛けていく。また、広報等でもESD(持続可能な開発のための教育)の概念の理解を広め、他課(環境政策課)とも連携を図りながら進めていく。

○今年度の「地域の特色を活かした環境学習支援事業」推進校を指導、支援するとともに、次年度のモデル校指定に向けて、新規モデル校の指定を校長会を通じて働き掛けていく。

◎「環境と人にやさしい敷地内緑化推進支援事業」の各実践校から報告書を回収し、次年度への取組に活用する。

○引き続き、地域団体や学校と連携して環境事業を実施し、身近な環境や自然を考える機会を提供することで、地域住民の意識向上を働き掛ける。

○設備設置済み校において実地体験研修を実施し、学習活動への活用の啓発及び避難所運営時の活用について周知していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	4	103.5%
進捗状況	85.0	81.8	82.1	85.0				

  

指標2							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 <small>日本語指導協力者派遣事業 外国人児童生徒への支援体制の整備【新規】</small>			
H29事業計画		H29事業成果	
○日本語指導協力者の派遣	○日本語指導協力者を、延べ481回派遣	○日本語が分かる支援者の派遣	○日本語が分かる支援員を、延べ40回派遣
○協力者連絡会, 研修会の実施	○日本語指導協力者連絡会2回, 研修会を1回実施		
当初予算額	2,142 千円	決算額	2,107 千円

  

構成事業2	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,429 千円	H27	2,042 千円
H28	2,142 千円	H28	2,095 千円
H29	2,142 千円	H29	2,107 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	5,713 千円	合 計	6,244 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○各学校から要請のあった対象児童生徒38名(26か校)に対して、延べ26名の日本語指導協力者を派遣した。派遣回数は、児童生徒の日本語能力の実態及び、予算から算出できる派遣可能な回数内で調整している。

○母語がわかる支援員の派遣も継続して行ったことで、日本語の上達だけでなく、対象児童生徒の生活が落ち着き、学校生活にスムーズに適応できたという事例が報告されている。

● 30年度の取組

○今後も、日本語指導が円滑に行われるよう対応していく。

○日本語指導の新規要請には、可能な限り速やかに対処していく。

○NPOや関係諸機関との連携を図り、帰国・外国人児童生徒の受け入れ体制の整備に努める。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	5	110.3%
進捗状況	1,500	1,616	1,585	1,749				

  

指標2							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 インクルーシブ教育システム構築の推進事業【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○管理職研修, 特支コーディネーター研修, 合理的配慮セミナーを3講座開催 ○特別支援学級の新設 ○必要に応じて特別支援教育支援員及び学校看護師を配置	○管理職研修1回, 合理的配慮セミナー3回の開催 ○特別支援学級38学級, 高等学校通級指導教室1増設 ○学校看護師の配置, 基準に応じた特別支援教育支援委員の配置, 児童生徒の実態に応じた加配支援員の配置
当初予算額 405,454 千円	決算額 462,193 千円

  

H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	324,598 千円	H27	456,801 千円
H28	377,487 千円	H28	425,797 千円
H29	405,454 千円	H29	462,193 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,107,539 千円	合 計	1,344,791 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○コーディネーター研修1回, 合理的配慮セミナー研修会3回を計画通り実施。充実した内容になり, 専門性向上に寄与した。

○総合教育センターの研修会では11の講座を企画運営して, 452名の参加者があった。職員それぞれのキャリアに応じた研修の機会を提供し, 専門性の向上に寄与した。

○明鏡高校の通級教室の開設に向けて, 準備を整えた。

○通級指導教室担当者を対象にした研修会や部会を開催し, 個々のスキルアップと情報の共通理解ができた。

○医療的ケアが必要な2人の児童生徒に, 学校看護師を配置するとともに, 特別支援教育支援員を小学校に222人, 中学校に67人, SSC(ソーシャルスキルコーチ)を発達障がい通級指導教室に9人, 特別支援教育サポーターを配置し, 延べ32校, 163回支援してきた。

● 30年度の取組

○特別支援教育の個々の職員の専門性を高めるため, 特別支援学級担任, 特別支援教育コーディネーター, 職位に応じた研修会を引き続き実施する。加えて, 特別支援教育を支える学校の雰囲気を整えるための管理職研修を充実させる。研修参加者数1,500人を目指し「合理的配慮」についての理解を深める。

○児童生徒のより適正な就学支援を実現しつつ, 特別支援学級及び通級指導教室の新設・増設に向けて, 在籍希望などを調査し, 県教委と協議を進め, 学びの場の充実に努める。

○特別な支援ニーズ(医療的なケアも含む)に応じた児童生徒に対して, 特別支援教育支援員及び学校看護師を配置し, 特別な支援を要する児童生徒が活動に参加する機会を保证する素地を作る。

● 推進委員からの意見・要望等

○ 特別支援教育は, 配慮を要する子どもたちがたくさんいる中で, これからの教育にとっても必要なことである。研修会の指標は当初から変わらずに1,500人と設定されているが, その設定理由と主な対象者を教えてほしい。

⇒ 特別支援学級担当者を中心に研修を実施している。また合理的配慮セミナーなどは担当者だけではなく, 管理職や他の教職員も受けられるようにしている。特別支援教育担当者が増えたことにより参加者も増えているので, 指標設定については今後検討が必要と思っている。

●H29施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 合理的配慮のデータベース件数(累計)							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	60	75	90	100	5	130.2%
進捗状況	40	49	63	82				

  

指標2							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 特別支援教育サポートネットワーク事業			
H29事業計画		H29事業成果	
○特別支援教育ボランティアの募集と配置 ○大学教員を講師とした公開講座を開催		○サポートセンターによる549件の学校支援 ○合理的配慮の実態把握調査を実施し, 合理的配慮データベースに19件の追加 ○年間で149件の特別支援教育ボランティアの登録	
当初予算額	980 千円	決算額	982 千円

  

構成事業2			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	8,320 千円	H27	10,578 千円
H28	1,120 千円	H28	1,105 千円
H29	980 千円	H29	982 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	10,420 千円	合 計	12,665 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○特別支援教育サポートセンターを核として、学校園、保護者の相談支援に当たってきた。実績は以下のとおりである。

- ・学校園からの支援依頼による訪問支援:549件
- ・保護者との面談:331件
- ・電話相談:67件
- ・各種アセスメント:221回
- ・校内研修支援(講師派遣):43回

○特別支援教育サポートセンター、区教育支援センター、地区特別支援教育コーディネーター(発達通級指導教室担当者)を核として、サポート

ネットワークを構築し、多様な視点から小中学校の支援に努めてきた。特に、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対して、個別の指導計画、教育支援計画の作成・活用を通じて、課題と支援の方向や具体策を明らかにし、きめ細かい支援を継続して行ってきた。

○東特別支援学校においては、夏季休業中に新潟大学教育学部入山満恵子准教授を講師とし、『言葉やコミュニケーションに困難がある子どもの理解と支援』を演題に公開講座を行った。東特別支援学校職員の他、市内小中学校、特別支援学校教諭67名が参加した。

○西特別支援学校においては、新潟大学教育学部有川宏幸教授を講師として、『事例に基づいた応用行動分析』を演題に公開講座を行った。西特別支援学校職員の他、市内小中学校特別支援学校教諭28名が参加した。

○合理的配慮データベースの整備については、実態把握調査を終了し、データベース化を進めた。

○特別支援教育ボランティアシステムについては、ホームページ、チラシ等により募集を行い、配置を進め、活動を行った。登録数は149名である。

● 30年度の取組

○今後も特別支援教育サポートセンター、区教育支援センター、地区特別支援教育コーディネーター(発達通級指導教室担当者)を核として、サポートネットワークの充実を図り、学校園への支援を継続して行う。

○合理的配慮データベースの整備については、集計、データベース化を進める。

○特別支援教育ボランティアシステムについては、継続して募集し、活動を進める。また、ボランティアの活用方法について、情報を収集する。

● 推進委員からの意見・要望等



●H29施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		300	350	310	350		5	114.9%
進捗状況	280	331	315	362				

●施策を構成する事業

構成事業1 早期からの就学支援の推進【新規】			
H29事業計画		H29事業成果	
○年間を通じた保護者相談の実施 ○幼稚園・保育園等と連携した「入学支援ファイル」の作成とスムーズな就学支援の実施	○区教育支援センターの担当指導主事が年間を通じた相談、ガイダンス、就学相談会を実施 ○幼稚園・保育園等と小学校の情報共有と就学支援のための「入学支援ファイル」の作成・活用		
当初予算額	0千円	決算額	0千円

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○各区の教育支援センターに就学支援担当指導主事を配置，就学相談の窓口として，常時来所相談や電話での相談に対応した。また，随時幼稚園・保育園等を訪問し，就学児の様子について参観し，情報を共有できるよう連携に努めた。

○平成30年度就学予定児を対象にした「就学相談ガイダンス」を各区ごとに5月に実施し，409名の参加があった。また，児童発達支援センター「こころん」を訪問し，就学支援ガイダンスと就学相談を行った。「夏季就学相談会」は区ごとに7月下旬から8月上旬に，「秋季就学相談会」は区ごとに11月に実施し，夏季は397名，秋季は176名の参加があった。春，夏，秋ともに昨年度より参加者が増加した。

○就学前の保護者・幼児教育・保育・療育・相談機関からの願いと支援情報を学校に引き継ぎ，個別の教育支援計画作成ツールである「入学支援ファイル」を，相談に来た保護者に説明した上で配付した。

○小学校新入学生の「入学支援ファイル」の活用状況調査において，「入学支援ファイル」の提出数は362人であり，全新生入生に対し，5.6%の割合である。特別支援学級在籍児童の提出数の割合は87.4%であった。年度初めに市内全小学校に「入学支援ファイル」を配付し，目的や活用方法について説明し，連携を促した。

● 30年度の取組

○保育園・幼稚園等の会議や研修において，幼稚園や保育園の園長，コーディネーターに対し，就学児の情報提供や「入学支援ファイル」の目的や活用方法について説明し，幼・保・小の連携を進める。

○年間3回就学相談会を実施し，情報提供と就学相談により，保護者の意向を把握しながら，就学予定児の学びの場を決定していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	新潟市一貫教育推進協議会(回)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		発足	3	2	2		4	66.7%
進捗状況	-	発足	3	2				
指標2	新規パイロット事業実施中学校区数(延べ数)→H29～新潟市にふさわしい小中一貫した教育に取り組んだ中学校区数(延べ数)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	4	8	24	40	4	
進捗状況	-	-	4	8				
指標3	学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数)						H29評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56	56	4	100.0%
進捗状況	-	55	56	56				
指標4							H29評価	
0	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況	-							
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 小中一貫教育パイロット事業【新規】		
H29事業計画	H29事業成果	
○小中一貫教育部会において共通プログラムの検討 ○幼保小連携部会において、接続カリキュラムの検討 ○幼保小合同研修会の実施 ○小中一貫教育リーフレットの発行	○一貫教育推進協議会を3回実施 ○小中一貫教育部会, 幼・保・小連携部会を各3回実施 ○小中一貫教育リーフレット, 幼保小連携通信を発行 ○市立幼稚園, 市立保育園にて	
当初予算額	237 千円	決算額 223 千円
構成事業2 学校間連携推進事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○児童生徒の学習及び生活に関する情報交換 ○中学校区単位の授業・諸活動の交流事業推進	○各中学校区で児童生徒の情報交換を進め, 課題解決のための共通した取組を推進する中学校区が増加 ○学習活動や地域貢献活動を小中合同で実施	
当初予算額	0 千円	決算額 0 千円
構成事業3		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業4		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	114 千円	H27	128 千円
H28	261 千円	H28	187 千円
H29	237 千円	H29	223 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	612 千円	合 計	538 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○小中一貫教育部会では、共通プログラムと独自プログラムを整理するとともに、パイロット中学校区の取組をリーフレットにまとめた。リーフレットを全市立学校に配付することで、新潟市の小中一貫教育の方向を示すことができた。

○幼保小連携部会では、新潟市版アプローチカリキュラムの暫定版をまとめ、カリキュラムに沿った公開保育を2回実施した。また、公開保育の様子を幼保小連携通信にまとめ、幼児教育施設に配付することによって、新潟市の取組を周知することができた。

○ほとんどの中学校区で学力や生徒指導に関する小中の情報交換が実施されており、6年生の体験入学など、児童生徒の交流も進んでいる。小中の円滑な接続のために、具体的な取組が行われている。また、夏休みを中心に小中教員の合同研修も実施・計画されており、新潟市が計画している小中一貫教育の動向について先取りで研修を行う中学校区もある。重点とする学び方を小中でそえるなど、小中一貫教育の実施に向けて、各中学校区で準備が進んできている。

● 30年度の取組

○リーフレットを活用して新潟市の小中一貫教育について周知し、小中一貫教育に対する取組を促す。

○新潟市版スタートカリキュラムの策定を行う。

○市立幼稚園と保育園で公開保育を実施し、新潟市版アプローチカリキュラムの検証と周知を行う。

○各中学校区における取組状況を把握し、その結果を各校園に知らせ、取組の更なる充実に生かしていけるようにする。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		10.0	95.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	-	90.0	100.0	100.0				
指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		10.0	40.0	70.0	70.0	70.0	4	100.0%
進捗状況	-	30.0	72.0	72.0				
指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		27.3	90.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	-	81.2	100.0	100.0				
指標4	隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		18.1	63.6	90.0	90.0	90.0	4	100.0%
進捗状況	-	54.5	90.0	90.0				
指標5							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標							4	100.0%
進捗状況	-							
指標6							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標							4	100.0%
進捗状況	-							
指標7							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標							4	100.0%
進捗状況	-							
指標8							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標							4	100.0%
進捗状況	-							

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 幼保小連携推進事業【新規】			
H29事業計画		H29事業成果	
○幼保小連携の推進を図るための情報交換会の実施 ○幼・保と小学校との円滑な接続を見通した教育課程の検討・編成		○幼・保との連携の充実と小学校への円滑な接続を図るための情報交換会の実施 ○幼・保と小学校の接続を見通した教育課程・指導計画の作成	
当初予算額	0 千円	決算額	0 千円
構成事業2 幼保小合同研修会【新規】			
H29事業計画		H29事業成果	
○幼保小合同研修会の実施 ○市立幼稚園教育研究協議会の後援		○幼保小合同研修会の実施 ○市立幼稚園教育研究協議会への指導・助言	
当初予算額	81 千円	決算額	81 千円
構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	42 千円	H27	72 千円
H28	87 千円	H28	81 千円
H29	81 千円	H29	81 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	210 千円	合 計	234 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○10月17日、小合東幼稚園で新潟市一貫教育推進協議会幼保小連携部会主催による幼保小連携研修会を実施し、幼児教育及び小学校接続アプローチ・カリキュラムについての幼児教育関係職員、小学校教員の意識及び理解が高まった。

○保育園・私立幼稚園・こども園の研修会と市立幼稚園の研究保育・研修会が相互に案内され、参加することにより、幼・保等の連携が図られた。

○市立幼稚園教育研究協議会や市立幼稚園教頭・主任会の研修会において、アプローチ・カリキュラム作成及び保幼小連携について指導・助言したことにより、幼小連携、幼保連携が図られた。

● 30年度の取組

○保育園・私立幼稚園・こども園の研修会と市立幼稚園の研究保育・研修会が相互に案内され、参加を勧めることにより幼・保等の連携を図る。

○保幼小合同研修会は、1月に市立西幼稚園、10月に合理的配慮セミナーを開催し、保幼小連携の更なる推進を図る。

○保育園・幼稚園・こども園－小学校間での入学に当たったの情報交換を進める。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.6

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	外部講師による人権教育、同和教育に関する校内研修を実施した学校数(校:累計)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85	110	135	160	185	5	127.2%
進捗状況	61	135	213	271				
指標2	小学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	96.0	98.2	100.0	100.0				
指標3	中学校で男女平等教育学習資料を活用している学校の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	85.0	84.2	100.0	100.0				
指標4	公民館の人権教育事業の参加者数(人)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	5	113.8%
進捗状況	3,341	3,148	3,331	3,791				
指標5	人権教育研修会の参加者満足度(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	5	104.3%
進捗状況	71.5	95.0	93.0	97.0				
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 人権教育、同和教育の推進			
H29事業計画		H29事業成果	
○人権教育、同和教育に関する研修会, 外部講師派遣事業による支援の実施		○外部講師派遣事業による校内研修会を23校, 学校支援課指導主事によるものを32校, 新発田隣保館現地学習によるものを3校・園実施	
当初予算額	149 千円	決算額	158 千円
構成事業2 男女平等教育の推進			
H29事業計画		H29事業成果	
○男女平等教育推進協議会の開催 ○児童生徒用男女平等教育学習資料をデータで配信		○男女平等教育推進研究会を2回開催 ○児童生徒用男女平等教育学習資料を作成し, 各校にデータで配信	
当初予算額	42 千円	決算額	30 千円
構成事業3 公民館の人権教育			
H29事業計画		H29事業成果	
○女性セミナーや障がい者理解などの人権に関する講座や家庭教育学級における人権講座の開催		○女性セミナー ○人権に関する講座 ○国際理解講座 ○家庭教育学級における人権事業	
当初予算額	626 千円	決算額	722 千円
構成事業4 新潟市人権教育研修会			
H29事業計画		H29事業成果	
○人権教育研修会の開催(1回)		○人権教育研修会の開催(1回)	
当初予算額	50 千円	決算額	27 千円
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,945 千円	H27	1,344 千円
H28	1,055 千円	H28	863 千円
H29	867 千円	H29	937 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	3,867 千円	合 計	3,144 千円

注:再掲事業分を含む

●29年度の取組に対する評価

○人権教育, 同和教育校内研修会外部講師派遣事業は, 7中学校区23校で事業を実施し, 研修の充実が図られた。

○人権教育, 同和教育中学校区要請研修会を12中学校区(32校)で実施し, 研修の充実が図られた。

○学校支援課からの新発田隣保館での人権教育, 同和教育研修の案内により, 3校園が校園内研修として現地学習を行い, 差別の現実から深く学び, 部落差別・同和問題についての理解と認識が深まった。

○各校園管理職対象の悉皆研修を, 7月6日の新潟市人権教育研修会(生涯学習センター主催)と8月3日の新潟県同和教育研究集会新潟市大会(新潟県同和教育研究協議会主催, 各校・園2人以上参加)で実施し, 管理職等の人権問題や同和問題についての理解と認識が深まった。

○5月に男女平等教育学習資料をデータで配付した。データをCDに入れ, 市内の小中学校, 中等教育学校, 特別支援学校に配付し, 活用を促した。

○7月には, 男女平等教育推進研究会を実施し, 男女平等教育学習資料の活用の様子と実施報告を行った。委員として12名が参加した。男性, 女性の割合は半分ずつである。

○人権教育研修会(元・新潟県同和教育研究協議会長 神谷敬二氏による講演「当事者意識をもって」)を開催し, 365名の参加があった。教育に携わるすべての職員が, 市民のよき相談役・パートナーとなるよう職員の人権意識を高め, 資質向上を図った。

○男女共同参画を考える女性セミナーや障がい者の理解や人権を考える講座を実施するとともに, 家庭教育学級の中で人権に関する講座を取り入れるなど, 人権意識の啓発を図った。

●30年度の取組

○人権教育, 同和教育校内研修会外部講師派遣事業を実施し, 研修の充実を図っていく。

○人権教育, 同和教育中学校区要請研修会を実施し, 研修の充実を図っていく。

○11月に人権教育, 同和教育担当者研修会を実施し, 各校での推進を図れるようにしていく。

○第1回目の男女平等教育推進研究会で男女平等教育学習資料の保護者への啓発が100%にならないことが話題になった。年度末のアンケート実施を各学校に伝え, 活用率100%を維持するとともに, 保護者への啓発を意識付けることが必要である。

○男女平等教育学習資料の見直しを行う。

○引き続き, 女性や子ども, 障がい者等の人権について考える講座や講演会を実施し, 市民の人権意識が高まるように啓発を進める。

○引き続き, 教育に携わるすべての職員が, 市民のよき相談役・パートナーとなるよう, 教育を取り巻く社会情勢や人権問題などに関する研修会等を開催し, 職員の人権意識を高めると共に資質向上に努める。

●推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	世代間交流事業の参加者数(人)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	4	96.4%
進捗状況	22,459	23,654	23,360	22,525				

  

指標2	世代間交流事業の参加者数(人)						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標3	世代間交流事業の参加者数(人)						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標4	世代間交流事業の参加者数(人)						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標5	世代間交流事業の参加者数(人)						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標6	世代間交流事業の参加者数(人)						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標7	世代間交流事業の参加者数(人)						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標8	世代間交流事業の参加者数(人)						H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地区別世代間交流事業	
H29事業計画	H29事業成果
○地域でのイベントやスポーツ大会を開催することで、世代間の交流が進むよう支援	○各地域の実情にあわせて、運動会や各種スポーツ大会、地域の祭りなどのイベントを通じて、地域の世代間交流事業を実施
当初予算額 1,442 千円	決算額 1,655 千円

  

構成事業2	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	861 千円	H27	1,049 千円
H28	1,007 千円	H28	1,500 千円
H29	1,442 千円	H29	1,655 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	3,310 千円	合 計	4,204 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○地域団体と連携して、野球やソフトバレーボール、運動会などの各種スポーツ大会や狸の婿入り行列、一斉クリーン作戦、どろんこカップなどの地域の特色を活かした様々なイベントを開催し、地域の子どもから高齢者まで幅広い世代の参加と交流を促した。

● 30年度の取組

○各地域の実情に合せた様々なイベントや子どもから高齢者までが気軽に参加できるスポーツ大会を実施することで、世代間交流を促し地域住民同士の交流促進を支援していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.3

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	子育て学習出前講座(小学校)の実施率(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.2	90.2	90.2	90.2	90.2	4	100.0%
進捗状況	90.2	94.5	94.4	94.4				
指標2	子育て学習出前講座(中学校)の実施率(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		26.3	26.3	28.0	28.0	29.8	5	131.0%
進捗状況	24.5	24.5	28.1	36.8				
指標3	家庭教育学級数(講座)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		63	64	68	69	69	4	97.1%
進捗状況	63	68	68	66				
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 家庭教育振興事業			
H29事業計画		H29事業成果	
○朝ごはん料理講習会の実施 ○子育て学習の出前講座の実施(小・中学校) ○出産前から子どもの成長期に合わせた家庭教育学級の実施		○朝ごはん料理講習会の実施(38か所, 参加者1,067名) ○子育て学習の出前講座の実施(小101校, 中21校) ○出産前から思春期・孫育てなどの家庭教育学級66講座を実施	
当初予算額	12,063 千円	決算額	11,393 千円
構成事業2			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,100 千円	H27	11,558 千円
H28	11,399 千円	H28	10,827 千円
H29	12,063 千円	H29	11,393 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	35,562 千円	合 計	33,778 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

◎早寝早起き朝ごはん推進事業では、学校や地域と連携・協力しながら、料理講習会を38か所で実施し、子どもたちが健やかに成長していくために必要な基本的生活習慣の確立と生活リズムの向上を図った。

◎子育て出前学習講座については、就学時健診や新入生学校説明会等の機会に小学校で101校が、中学校では一昨年度から実施対象を拡大したことが浸透し、PTA行事等を含め21校(前年比+5校)が実施した。学校へ家庭教育に精通した講師を派遣し、講演を通じて家庭教育への意識啓発と家庭教育力の向上を図った。

○出産前の妊婦を対象としたプレママ学級や乳児期から思春期まで子どもの成長期に合せた家庭教育学級や父親学級を実施することにより、子育ての知識や情報、親としての関わり方などを学ぶ機会を提供し、家庭教育の充実を図った。また、土日などの開催も取り入れ、平日の講座に参加できない方も参加しやすい工夫をしたり、パートナーと一緒に参加してもらい、夫婦で子育ての意識を共有することができた。

● 30年度の取組

◎早寝早起き朝ごはん推進事業に関連する講習会等を、学校や地域と連携・協力しながら実施するほか、ホームページ等を通して普及啓発を図って行く。

◎子育て学習出前講座については、就学時健診、新入生学校説明会やPTA行事に家庭教育に関する講師を派遣し、講演を通じて家庭教育への意識啓発と家庭教育力の向上を図る。

○引き続き、子どもの成長期に合せた家庭教育学級を開催するとともに、ひとり親家庭など様々な生活環境にある保護者も参加しやすいように開催曜日や時間を考慮して講座を開催していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 子育てフリースペースの開設(か所数)							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		13	14	14	15	15	5	100.0%
進捗状況	15	16	18	18				
指標2 保育者研修会の出席率(%)							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	90.0	90.0		3	89.6%
進捗状況	90.0	92.8	92.6	83.0				
指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 子育て支援事業	
H29事業計画	H29事業成果
○子育て支援事業(講演会, 親子遊びなど) ○子育てフリースペースの開設 ○保育者研修会の実施	○子育てフリースペースの開設 ○子育て支援事業(講演会, 親子遊びなど) ○全保育者を対象とした研修会
当初予算額	1,059 千円
決算額	1,121 千円
構成事業2	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	873 千円	H27	934 千円
H28	846 千円	H28	759 千円
H29	1,059 千円	H29	1,121 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	2,778 千円	合 計	2,814 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○子育てフリースペースを開設して、子育て中の保護者同士の交流の場を提供して、親子遊びや家庭教育学級講演会を実施することで、子育ての不安解消や孤立化を防ぐなど子育て中の保護者の支援を行い、子どもの社会性を学ぶ機会とした。

● 30年度の取組

○子育て中の保護者を対象に、フリースペースを開設し、親子遊びなどの様々な子育てに関するイベントを実施する。

○保育付事業に携わる保育者の研修会を実施し、保育者の資質向上を図り、家庭教育学級等で保護者が安心して子どもを預けて学習に取り組める環境づくりを行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1 生涯学習相談件数(件)							H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		300	310	320	330	340	4	106.2%
進捗状況	297	296	307	326				

  

指標2							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業	
H29事業計画	H29事業成果
○生涯学習情報提供システムの運営 ○生涯学習人材ガイドの作成 ○学習情報の収集・提供及び学習相談 ○生涯学習相談ボランティア養成講座	○生涯学習情報提供システムの運営 ○生涯学習人材ガイドの作成 ○生涯学習の収集・提供及び学習相談件数 326件 ○生涯学習相談ボランティア養成講座 参加者40名
当初予算額 269 千円	決算額 288 千円

  

H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	115 千円	H27	104 千円
H28	100 千円	H28	101 千円
H29	269 千円	H29	288 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	484 千円	合 計	493 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

◎市民の生涯学習活動を支援するため、講師情報をまとめた生涯学習ガイドを作成し人材紹介を行った。また、関係各課が把握する講師に協力を依頼し、講師情報の収集・更新を行った。

◎生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供や出前による学習相談等を実施し、市民の主体的な学習を支援した。

◎パソコン初心者に対し、パソコン指導ボランティアによる初心者向け講習会や専門学校との協働によるパソコン講習会を実施し、市民の主体的なICT学習を支援した。

● 30年度の取組

◎市民の多様な学習ニーズに対応するため、引き続き生涯学習ガイドによる人材・講師情報の提供を図るとともに、新たに作成したガイドブックを関係機関等に配付し、学びの循環による人材活用に寄与する。

◎生涯学習相談ボランティアによる学習相談を実施するほか、市報やSNS等により制度の周知を図り、学習相談件数の増加に努める。

◎引き続き、パソコン指導ボランティアや専門学校との協働によるパソコン初心者向け講習会を開催し、市民の主体的なICT学習の支援に寄与する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

3期進捗平均
4.3

●成果指標

指標1	にいがた市民大学の受講率(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	4	81.8%
進捗状況	84.5	122.5	112.5	92.0				
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						H29評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施	実施				
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						H29評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施	実施				
指標4	児童書の貸出冊数(冊)(12歳以下の子ども1人あたり)						H29評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		12.2	12.4	13.2	13.1		4	99.2%
進捗状況	12.1	13.1	13.1	13.0				
指標5	レファレンス受付件数(件)						H29評価	
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		72,000	72,800	90,000	99,000		5	103.7%
進捗状況	69,600	83,157	94,580	98,077				
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1にいがた市民大学開設事業	
H29事業計画	H29事業成果
○基本講座 4講座 ○大学コンソーシアム連携講座1講座	○基本講座 4講座 ○大学コンソーシアム連携講座1講座
当初予算額 6,088 千円	決算額 5,405 千円
構成事業2現代的課題を学ぶ公民館事業	
H29事業計画	H29事業成果
○青年対象事業, 環境に関する事業, 高齢者問題に関する事業, その他市民ニーズのある事業の実施 ○セカンドライフ農業体験事業の開催(4館)	○若者支援や高齢者の生きがいづくり, 健康づくり事業の開催 ○セカンドライフ農業体験事業の開催(4館)
当初予算額 3,675 千円	決算額 3,505 千円
構成事業3学習成果を発表する場の提供	
H29事業計画	H29事業成果
○文化祭や芸能祭などの開催	○文化祭や芸能祭を開催し, サークル活動等の日頃の学習成果を発表する場を提供
当初予算額 1,867 千円	決算額 2,405 千円
構成事業4子どもの読書環境の整備	
H29事業計画	H29事業成果
○ブックスタート事業の継続 ○赤ちゃんタイムの実施	○ブックスタートを5,594人に実施 ○赤ちゃんタイムの実施館を19館に拡大
当初予算額 4,210 千円	決算額 3,825 千円
構成事業5子どもが読書に親しむ機会の充実	
H29事業計画	H29事業成果
○子ども・親子を対象とした事業の継続 ○「うちどく(家読)」推進のための事業実施 ○うちどくブックリスト作成	○「子ども司書講座」を実施し10名が参加 ○「うちどく(家読)」推進のために「こどもとしょかんウォークラリー」を実施し1,537名が参加 ○「うちどくブックリスト 中学生向け」を作成し各図書館で配布
当初予算額 970 千円	決算額 513 千円
構成事業6仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○起業・経営相談会の開催 ○ビジネス支援セミナーの開催 ○くらしの情報講座の開催 ○市民向けレファレンスPR講演会の実施 ○ほんぼーと開館10周年記念事業	○起業・経営相談会を26回開催し28名参加, ビジネス支援セミナーを2回開催し39名参加, くらしの情報講座は629名が参加 ○市民向けレファレンスPR講演会を実施86名参加 ○開館10周年記念事業
当初予算額 7,667 千円	決算額 7,439 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	18,819 千円	H27	16,964 千円
H28	21,859 千円	H28	16,197 千円
H29	16,810 千円	H29	15,653 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	57,488 千円	合 計	48,814 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○にいがた市民大学では、前期講座で講義形式により大学コンソーシアム連携講座を実施したり、市民ニーズを講座企画に盛り込む等、時代や社会の要請に応えた専門性の高い講座を合計5講座開設し、市民の学習要求に応えた。後期講座では、ゼミナール形式で3講座を開設し、講師の指導のもと少人数で主体的な学習を進めた。また、学んだ成果をレポート集としてまとめ、中央図書館等に配置した。

○高齢者の健康や生きがいづくり、退職を控えた世代に地域社会参加への支援事業など、市民ニーズに沿った学習機会を提供した。また、若者が気軽に参加できるような講座を開催し、仲間づくりや公民館利用を促した。

◎「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づく事業の実施  
 ・ブックスタート事業を継続実施し、家庭での読み聞かせの大切さを伝えるとともに、親子のコミュニケーションづくりのきっかけとなるよう働きかけた。(ブックスタートは、3月末時点で5,594名に実施)  
 ・赤ちゃんタイムの実施館を全図書館(19館)に拡大し、赤ちゃんと来館する方が気軽に利用できる環境の整備を進めた。  
 ・「こどもとしょかんウォークラリー」を開催し、読書の楽しさと関心を高める機会を提供した。(児童1,537名が参加)  
 ・中学生から読書に興味を持ってもらえるよう、新たに「うちどくブックリスト 中学生向け」を作成し、図書館で配布するとともに関係部署に送付した。

◎くらしや仕事の課題解決支援  
 ・中小企業診断士協会新潟県支部と連携して「起業・経営相談会」を26回実施し、28名の参加があった。図書館司書も同席し、相談の内容に合わせた資料の紹介を行い、アンケートでも起業の参考になったと好評を得ている。  
 ・新潟IPC財団と共催で「ビジネス支援セミナー」を2回開催し、計39名の参加があった。  
 ・新潟県行政書士会と連携して「行政書士無料相談会」を58回開催し、76名の参加があった。同相談会を亀田・新津・白根・坂井輪図書館でも開催し、13回23名の参加があり、多くの市民に利用していただくことができた。  
 ・新潟雇用労働相談センターと共催で「くらしの情報講座」を開催した。参加者からも好評だった。  
 ・ほんぽーと開館10周年事業として、「黒井健原画展inほんぽーと」や「合唱と吹奏楽の夕べ」、「ほんぽーと寄席」などを開催し、1,871名の参加があった。

● 30年度の取組

○にいがた市民大学では、大学コンソーシアム連携講座をはじめ市民ニーズを講座企画に盛り込む等、時代や社会の要請に応えた専門性の高い講座を合計5講座開設するとともに、各講座の定員を増員し市民の学習要求に応える。

○次世代を担う若者を対象に、仲間づくりや異業種交流を目的とした講座を開催し、個々のスキルアップと新しい人との出会いを支援するなど、市民ニーズに沿った学習機会を提供していく。また、公民館利用団体や地区の芸術や美術協会と協働して、文化祭・芸能祭など学習成果の発表の場を提供する。

◎「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づく事業の実施  
 ・ブックスタート事業を1歳誕生歯科健診時に実施し、家庭での読み聞かせのきっかけとなるよう、ボランティアと協力して進める。  
 ・ティーンズの読書のきっかけとなるよう新たに「うちどくブックリスト 高校生向け」を作成し、関係機関に配布する。  
 ・「第三次子ども読書活動推進計画」策定に向けた準備を行う。

◎くらしや仕事の課題解決支援  
 ・中央図書館で「行政書士無料相談会」等の事業を引き続き実施し、課題解決のため図書館の情報を活用してもらえよう広く告知を行っていく。  
 ・新潟雇用労働センターや新潟IPC財団と共催し、セミナーや講座を開催する。参加者のニーズにあったテーマの選定を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

○ にいがた市民大学の受講率について、100パーセントを超える受講率を具体的に説明してほしい。  
 ⇒ 平成29年度は、5講座実施し、各講座の定員70名、全部で350名の定員であった。申込数は323名のため、92パーセントという受講率である。平成27年度と平成28年度は、会場収容が可能であったため、希望者全てを受け入れたため、100パーセント以上となった。

●H29施策評価

3期進捗平均
5.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)					H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	46	52	52	53	5	105.0%
進捗状況	41	51	60	63				

  

指標2							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域課題解決への支援	
H29事業計画	H29事業成果
○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施	○地域団体と連携し、地域課題の把握と解決を地域自ら取り組めるよう支援する事業を実施 ○コミュニティ・コーディネーター育成事業を全区で実施し、地域活動を担う人材を育成した。
当初予算額 5,174 千円	決算額 4,470 千円

  

構成事業2	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

  

構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,952 千円	H27	3,908 千円
H28	4,758 千円	H28	3,929 千円
H29	5,174 千円	H29	4,470 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	14,884 千円	合 計	12,307 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○各地区において、地域団体等と連携して、地域で支え合うまちづくりを考える「ご近所だんぎ」や地域の子育て支援を担う人材を育成するための事業、地域イベントを通して地域の絆づくりを支援する事業を実施した。また、地域住民が自ら地域課題を探り、解決できるように支援するコミュニティ・コーディネーター育成事業を実施した。

● 30年度の取組

○地域づくりや絆づくりに取り組むとともに、地域づくりの核となる人材の育成を支援するコミュニティ・コーディネーター育成事業を引き続き開催していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均

4.5

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	1,700	4	103.3%
進捗状況	1,210	1,531	1,611	1,664				
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	4	
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49				
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27	5	
進捗状況	-	4	4	24				
指標4	公民館出前型事業の実施校数(校)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66	67	94	103		5	115.7%
進捗状況	66	72	89	103				
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 地域と学校パートナーシップ事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○本事業にかかる研修会の開催(第1・2・3研修会, 教職員のみの研修会, 区研修, 新任コーディネーター研修, 校長のみの研修会) ○ウェルカム参観日等事業の市民への周知	○本事業にかかる研修会を開催し, 学校担当者, 地域教育コーディネーター, 学社民融合支援主事, 図書館職員等あわせて延べ1,210名が参加 ○市民へ周知のため, ウェルカム参観日を45校で実施	
当初予算額	144,292 千円	決算額 144,775 千円
構成事業2 ふれあいスクール事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会, 通信で紹介	○地域の人材を活用した土曜プログラムを検討し, モデル校4校において実践。研修会にて, 実践発表 ○プログラム集の活用を広報し, 実践のために指導, 助言	
当初予算額	37,613 千円	決算額 32,952 千円
構成事業3 公民館出前型事業		
H29事業計画	H29事業成果	
○学校の余裕教室などを会場にして, 地域住民を対象とした公民館事業の開催	○公民館事業を, 学校を会場にして実施	
当初予算額	482 千円	決算額 378 千円
構成事業4		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	189,987 千円	H27	184,359 千円
H28	187,454 千円	H28	190,188 千円
H29	182,387 千円	H29	178,105 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	559,828 千円	合 計	552,652 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

◎地域と学校パートナーシップ事業については、地域から多くの学校支援ボランティアの協力を得て、学習活動の充実、子どもたちの人間関係の広がりや深まり、子どもたちが認めてもらえる機会の増加がみられた。また、学校の地域貢献活動や社会教育施設及び地域コミュニティ協議会との協働事業が増加傾向にある。

◎学校の教育活動を地域に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を実施した。また、市報、区だより、HPを利用した事業の広報を行った。  
 ・地域と学校ウェルカム参観日を45小中学校で開催。  
 ・市報にウェルカム参観日の特集を掲載、区だよりでパートナーシップ事業記事を延べ35回掲載。

◎ふれあいスクール事業は、平成29年度に小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行うことで共通理解を図ることができた。ふれあいスクール事業合同研修会参加者数は、第1回研修会6月実施 参加者214名 うち放課後児童クラブ支援員49名、第2回研修会10月実施 参加者183名 うち放課後児童クラブ支援員42名。

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校において実践をした。モデル校のプログラムの内容や方法をよりよくするための検討会を2回(10月、2月)行った。第3回のふれあいスクール事業研修会(2月実施 参加者218名)では、モデル校4校の実践を発表することで、自校に取り入れたいという意識を高めることができた。また、土曜プログラム集を活用してもらうため、研修会で紹介したり、指導者との連絡調整やプログラム実施に向けての指導・助言を行ったりした。

◎公民館出前型事業は、公民館と地域教育コーディネーターと協働しながら講座の企画と運営をし、地域団体と連携して防災講座や家庭教育講演会、夏休みを利用した体験講座などを実施した。

● 30年度の取組

◎パートナーシップ事業に対する学校関係者の理解と、より質の高い地域連携を促すため、校長を対象とした学校運営マネジメント研修を継続して実施する。そして、校内研修の支援を行う。

◎パートナーシップ事業に対する地域の理解を深めるため、地域と学校ウェルカム参観日を引き続き実施する。

◎ふれあいスクールの研修会において、実技講習や意識の向上を目的として講演会、グループ情報交換会、実践発表会を行い、運営主任や運営ボランティアのスキルアップを図る。また、ふれあいスクールとひまわりクラブの共通プログラムを紹介したり、情報交換を行ったりすることで、放課後児童クラブとの連携した運営を進める。

◎地域の教育力を生かし、目的を明確にした計画的な活動を行い、子どもの豊かな体験や学びを培うことができるよう今年度もモデル校4校において土曜プログラムを実施し、研修会で報告することで土曜プログラムを活用してもらえるようにする。また、多くのふれあいスクールで土曜プログラムを活用できるよう、プログラムの成果と課題を明らかにしながら、指導・助言を行う。

◎公民館出前型事業では、地域に開かれた学校づくり・地域づくりを充実させるため、学校や地域教育コーディネーターや地域団体と連携して地域住民向けの事業を実施していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		16	16	16	16		4	100.0%
進捗状況	16	16	16	16				
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29～(中学校区数)						H29評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		32	56	28	28		4	
進捗状況	8	32	56	28				
指標3	にいがた共育通信(発行回数)						H29評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	-	-	-		
進捗状況	4	4	4	-	-	-		
指標4	H29～にいがた共育通信を読んで「教育ビジョンの施策内容について理解できた」と回答した人の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	90.0	90.0		4	
進捗状況	-	-	-	88.9				
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○各区年2回実施	○各区年2回実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催(再掲)【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○市内28中学校区で実施	○市内28中学校区で実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3 教育情報発信事業(再掲)	
H29事業計画	H29事業成果
○A4判見開き4ページ, 横書きカラー仕様, HPにも掲載 ○6月下旬・9月下旬・12月中旬・2月下旬の年4回発行 ○学校・園・関係機関等319か所に毎回63,000部発行 ○教育ビジョン中心施策の紹介	○年間4回発行 ○教育情報や学校・園, 各教育機関に関わる情報発信 ○テーマを立て, 特色ある取組(施策)について発信 ○アンケートを実施
当初予算額 1,232千円	決算額 1,066千円
構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	決算額 千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	1,232 千円	H28	1,089 千円
H29	1,232 千円	H29	1,066 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,110 千円	合 計	3,619 千円

注：再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○区教育ミーティング  
 ・上半期及び下半期それぞれ各区1回、計16回開催した。  
 ・6月から8月にかけて全区で第1回目のミーティングを実施した。平成29年度の地域と共に進める主な施策について情報提供し、地域と学校との関わりや社会教育施設との連携について、成果・課題を話し合った。意見交換では、いじめ問題や教職員の多忙化解消、地域行事への児童生徒の参加のあり方などが取り上げられた。  
 ・10月から1月にかけて全区で第2回目のミーティングを開催した。各区の課題や特徴をテーマに話し合うとともに、教育委員から他区の事例を紹介するなど意見交換の充実を図った。

○中学校区教育ミーティング  
 ・28中学校区で開催した。各区3または4中学校区で実施し、平成29年度と30年度で全中学校区を一巡する。  
 ・中学校区教育ミーティングでは防災教育をテーマとし、中学校区単位で作成されている防災教育プログラムを基に意見交換が行われた。

○年間4回発行し、教育ビジョンの中心的施策や学校園、地域における活動、社会教育施設の取組を広報した。各号における特集記事のテーマは以下の通りである。  
 ・第45号(H29.6.30) いじめを生まない・見逃さない学校づくりの取組  
 ・第46号(H29.9.29) しらべてつながる これからの学び(総合教育センター「タブレットPCの授業活用」と中央図書館「公共図書館を使おう」)  
 ・第47号(H29.12.15) 新潟の魅力を知らる！ 新潟の魅力を創る！～大好きにいがた体験事業から～  
 ・第48号(H30.2.28) 地域と歩む防災の取組について (地域と学校パートナーシップ事業の取組を通して、防災の取組を支える学校施設、地域と学校の連携の場を醸成する、防災教育の広がりをつくる、防災マスコットキャラクター など)

○平成29年12月15日(金)～平成30年1月31日(水)の期間において、「にいがた共育通信」に関わるアンケートを実施し、以下のような割合で肯定的な評価をいただいた。  
 ・よくわかった 49 (26.1%)  
 ・だいたいわかった 118 (62.8%)  
 ・ほとんどわからなかった 18 (9.6%)  
 ・わからなかった 3 (1.6%)  
 ※「よくわかった」「だいたいわかった」167 (88.9%)  
 (主な回答内容)  
 ・他校や他地域の取組を知ることができ、参考になった。  
 ・教育について、詳しい情報が得られる。  
 ・毎回、目にするが、後でじっくり読もうと思うが、なかなか時間がない。  
 など

● 30年度の取組

○区教育ミーティング  
 ・平成29年度と同様に、上半期・下半期各1回、計16回開催する。  
 ・上半期の1回目のミーティングでは、平成30年度の地域と共に進める主な施策について教育長から情報提供し、またフリーテーマでの意見交換を行う。  
 ・下半期は1回目のミーティングを踏まえたテーマや、各区独自の課題について意見交換する。

○中学校区教育ミーティング  
 ・28中学校区で開催する。各区3または4中学校区で実施し、平成29年度と30年度で全中学校区を一巡する。  
 ・テーマは「防災教育」とし、各中学校区で作成している防災教育プログラムへの理解を深めるとともに、より実効性のあるものにするための意見交換を行う。

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」とする。従来までの年間4回の紙面による広報を取りやめ、ホームページ上に教育情報の掲載を行う。  
 (計画の主な内容)  
 ①「にいがた共育通信」での特集記事は継続して行うと共に、今まで一回で行っていた情報発信を数回に分けて、シリーズとして発信する。  
 ・5～7月 「キラキラ新潟っ子応援団」(3回シリーズ)  
 ・8月 「発達障がい児への配慮や支援を示し、相談機関を紹介」  
 ・9～11月 「新潟市の子どもたちの体と健康」(3回シリーズ)  
 ・12～2月 「地域や学校、公民館・図書館で活躍するボランティア」(3回シリーズ)  
 ②他に、教育委員会のイベント紹介やお知らせを随時発信していく。  
 ③アンケートについては、前年度同様に実施し、得られた意見感想等を参考に次年度の計画を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

<「前年度比」の求め方>

3期進捗平均
4.5

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

●施策を構成する事業

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	1,700	4	103.3%
進捗状況	1,210	1,531	1,611	1,664				
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	4	
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49				
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27	5	
進捗状況	-	4	4	24				
指標4	放課後の学習支援をする中学校(校)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56		4	100.0%
進捗状況	-	56	56	56				
指標5	公民館出前型事業の実施校数(校)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		66	67	94	103		5	115.7%
進捗状況	66	72	89	103				
指標6	公民館と連携事業を実施する地域コミュニティ協議会数(か所)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	46	52	52	53	5	105.0%
進捗状況	41	51	60	63				
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

構成事業1 地域と学校パートナーシップ事業(再掲)	
H29事業計画	H29事業成果
○本事業にかかる研修会の開催(第1・2・3研修会, 教職員のみ、の研修会, 区研修, 新任コーディネーター研修, 校長のみの研修会) ○ウェルカム参観日等事業の市民への周知	○本事業にかかる研修会を開催し, 学校担当者, 地域教育コーディネーター, 学社民融合支援主事, 図書館職員等あわせて延べ1,210名が参加 ○市民へ周知のためウェルカム参観日を45校で実施
当初予算額 144,292 千円	決算額 144,775 千円
構成事業2 ふれあいスクール事業(再掲)	
H29事業計画	H29事業成果
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会, 通信で紹介	○地域の人材を活用した土曜プログラムを検討し, モデル校4校において実践。研修会にて, 実践発表。 ○プログラム集の活用を広報し, 実践のための指導, 助言を行った。
当初予算額 37,613 千円	決算額 32,952 千円
構成事業3 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後普通講座運営 ○学習支援員研修会実施	○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会(10月12日) ○参加延べ生徒数16,716人
当初予算額 7,400 千円	決算額 6,094 千円
構成事業4 公民館出前型事業(再掲)	
H29事業計画	H29事業成果
○学校の余裕教室などを会場にして, 地域住民を対象とした公民館事業の開催	○公民館事業を, 学校を会場にして実施
当初予算額 482 千円	決算額 378 千円
構成事業5 地域コミュニティ活動活性化支援事業	
H29事業計画	H29事業成果
○地域コミュニティ協議会等地域団体と連携した地域課題の解決を支援する事業の実施	○地域団体と連携し, 地域課題の把握と解決を地域自ら取り組めるよう支援する事業を実施 ○コミュニティ・コーディネーター育成事業を全区で実施し, 地域活動を担う人材を育成した。
当初予算額 5,174 千円	決算額 4,470 千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	200,939 千円	H27	193,363 千円
H28	199,612 千円	H28	200,474 千円
H29	194,961 千円	H29	188,669 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	595,512 千円	合 計	582,506 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

◎地域と学校パートナーシップ事業については、地域から多くの「学校支援ボランティア」の協力を得て、学習活動の充実、子どもたちの人間関係の広がりと深まり、子どもたちが認めてもらえる機会の増加がみられた。また、学校の地域貢献活動や社会教育施設及び地域コミュニティ協議会との協働事業が増加傾向にある。

◎学校の教育活動を地域に発信するため、地域と学校ウェルカム参観日を45校で実施した。また、市報、区だより、HPを利用した事業の広報を行った。

◎ふれあいスクール事業は、平成29年度に小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行うことで共通理解を図ることができた。ふれあいスクール事業合同研修会参加者数は、第1回研修会6月実施 参加者214名 うち放課後児童クラブ支援員49名、第2回研修会10月実施 参加者183名 うち放課後児童クラブ支援員42名。

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校において実践をした。モデル校のプログラムの内容や方法をよりよくするための検討会を2回(10月、2月)行った。第3回のふれあいスクール事業研修会(2月実施 参加者218名)では、モデル校4校の実践を発表することで、自校に取り入れたいという意識を高めることができた。また、土曜プログラム集を活用してもらうため、研修会で紹介したり、指導者との連絡調整やプログラム実施に向けての指導・助言を行ったりした。

◎5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別支援の両面から、生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。

◎公民館出前型事業は、公民館と地域教育コーディネーターと協働しながら講座の企画と運営をし、地域団体と連携して防災講座や家庭教育講演会、夏休みを利用した体験講座などを実施した。

◎各地区において、地域団体等と連携して、地域で支え合うまちづくりを考える「ご近所だんぎ」や地域の子育て支援を担う人材を育成するための事業、地域イベントを通して地域の絆づくりを支援する事業を実施した。また、地域住民が自ら地域課題を探り、解決できるように支援するコミュニティ・コーディネーター育成事業を実施した。

● 30年度の取組

◎パートナーシップ事業に対する学校関係者の理解と、より質の高い地域連携を促すため、校長を対象とした学校運営マネジメント研修を継続して実施する。そして、校内研修の支援を行う。

◎パートナーシップ事業に対する地域の理解を深めるため、地域と学校ウェルカム参観日を17校で引き続き実施する。地域コミュニティ協議会への事業周知を図る。

◎ふれあいスクールの研修会において、実技講習や意識の向上を目的として講演会、グループ情報交換会、実践発表会を行い、運営主任や運営ボランティアのスキルアップを図る。また、ふれあいスクールとひまわりクラブの共通プログラムを紹介したり、情報交換を行ったりすることで、放課後児童クラブとの連携した運営を進める。

◎地域の教育力を生かし、目的を明確にした計画的な活動を行い、子どもの豊かな体験や学びを培うことができるよう今年度もモデル校4校において土曜プログラムを実施し、研修会で報告することで土曜プログラムを活用してもらえるようにする。また、多くのふれあいスクールで土曜プログラムを活用できるよう、プログラムの成果と課題を明らかにしながら、指導・助言を行う。

◎アフタースクール学習支援員の研修会を希望制で行う。生徒の能力やニーズに応じたきめ細やかで質の高い学習支援が行われるような研修会にする。

◎公民館出前型事業では、地域に開かれた学校づくり・地域づくりを充実させるため、学校や地域教育コーディネーターや地域団体と連携して地域住民向けの事業を実施していく。

◎地域づくりや絆づくりに取り組むとともに、地域づくりの核となる人材の育成を支援するコミュニティ・コーディネーター育成事業を引き続き開催していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.7

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教育課題(課題)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2	3	3	4		5	133.3%
進捗状況	1	2	3	4				
指標2	にいがた市民大学の受講率(%)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	4	81.8%
進捗状況	84.5	122.5	112.5	92.0				
指標3	連携・協力の実施状況(連携事業数)(件)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		9	9	9	9	9	5	90.9%
進捗状況	9	11	11	10				
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 高等教育機関活用推進事業【新規】			
H29事業計画		H29事業成果	
○文科省指定「特別に支援を要する生徒に関する研究」を継続 ○文科省事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を活用した取組の実施		○文科省指定「特別に支援を要する生徒に関する研究」を実施 ○文科省事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を活用した取組の実施	
当初予算額	6,682 千円	決算額	6,217 千円
構成事業2 にいがた市民大学開設事業(再掲)			
H29事業計画		H29事業成果	
○基本講座 4講座 ○大学コンソーシアム連携講座1講座		○基本講座 4講座 ○大学コンソーシアム連携講座1講座	
当初予算額	6,088 千円	決算額	5,405 千円
構成事業3 図書館と教育機関・企業との連携・協力			
H29事業計画		H29事業成果	
○新潟大学附属図書館, 県立図書館との配本ネットワークの継続実施(予算はネットワーク費や読書普及事業費を含む) ○団体貸出の対象の拡大(予算は読書普及事業費を含む)		○新潟大学附属図書館, 県立図書館との配本ネットワークの継続実施(決算はネットワーク費や読書普及事業費を含む) ○団体貸出の対象を民間企業や店舗に拡大	
当初予算額	0 千円	決算額	0 千円
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,514 千円	H27	6,245 千円
H28	6,328 千円	H28	5,945 千円
H29	12,770 千円	H29	11,622 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	25,612 千円	合 計	23,812 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○明鏡高等学校では、「高等学校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育モデル事業」について文科省の指定を受けた。高等学校の障がいのある生徒に対して、個々の障がいの改善・克服を目的とした個別の指導を取り入れていくために、通級指導教室での指導について研究を推進してきた。また、個々の生徒の能力・才能を効果的に伸ばすことができるよう、各教科・科目の授業を改善し、工夫するための研究を行った。平成30年度より、高等学校における通級指導が制度化される。そのため、明鏡高等学校でのこれまでの研究を生かし、通級指導が効果的に行われるよう準備を進めた。

○9月20日に小学校、10月18日に中学校、10月30日に高等学校合計3校の研修協力校による公開授業を行った。実施に向け、3校合同の指導案検討会を行った。

○教員の英語指導力向上を図るために、外部専門機関より講師を招聘し、研修会を実施した。

○公開授業に向け、必要な教材等を購入した。

○小中高等学校教員の英語力向上を図るために、外部検定試験の受験補助を行い、希望者を募った。

○にいがた市民大学では、前期講座で講義形式により大学コンソーシアム連携講座を実施したり、市民ニーズを講座企画に盛り込む等、時代や社会の要請に応えた専門性の高い講座を合計5講座開設し、市民の学習要求に応えた。後期講座では、ゼミナール形式で3講座を開設し、講師の指導のもと少人数で主体的な学習を進めた。また、学んだ成果をレポート集としてまとめ、中央図書館等に配置した。

○新潟県立図書館、新潟大学附属図書館との配本ネットワーク「めぐるくん」を継続実施し、相互の所蔵資料を有効に活用できた。

○新潟IPC財団や中小企業診断士協会新潟県支部、新潟県行政書士会、新潟雇用労働相談センターといった複数の関連機関と連携して事業を行うことで、図書館の資料に加え、市民に対して幅広い情報の提供ができた。

○平成29年10月1日から、団体貸出の利用可能団体を民間企業や店舗等に拡大し、より多くの市民に本を届け、図書館のPRに努めた。平成29年10月1日から平成30年3月31日までの間に、36団体の新規登録団体があった。

● 30年度の取組

○平成30年度からの高等学校における通級指導の制度化にともない、明鏡高等学校における通級指導の充実を図る。

○小中高等学校教員の英語力向上を図るために、外部検定試験の受験補助を実施する予定である。

○研修の成果と課題を明確にするために、研修協力校において、GTEC受験補助を行い、新潟市の授業改善に生かす。

○にいがた市民大学では、大学コンソーシアム連携講座をはじめ市民ニーズを講座企画に盛り込む等、時代や社会の要請に応えた専門性の高い講座を合計5講座開設するとともに、各講座の定員を増員し市民の学習要求に応える。

○新潟県立図書館、新潟大学附属図書館との配本ネットワーク「めぐるくん」を継続実施する。

○多様な連携先と協働し、市民のニーズを踏まえた情報提供に努める。

○団体貸出制度をさらにPRLし、市民に対して本や情報の提供を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	学校関係者評価の結果に基づく検討・改善を行った学校の割合(%) (学校関係者評価の結果を公表した学校の割合)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0				

  

指標2							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標3							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標4							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標5							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標6							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標7							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標8							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校評価の充実	
H29事業計画	H29事業成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校評価シートの改善と学校評価の定期的実施</li> <li>○学校評議員の全学校設置</li> <li>○学校マネジメント研修会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価指針の新設によるいじめの対応の確実な実施</li> <li>○全学校での学校評議員会開催による地域住民の参画の推進</li> <li>○学校マネジメント研修会を実施し, 各学校園で課題解決を推進</li> </ul>
当初予算額	0千円
決算額	0千円

  

構成事業2	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4 千円	H27	23 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4 千円	合 計	23 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

- いじめ対応等, 取組の重点化を図った学校評価シートに改善した。
- 全学校園から学校評価計画書が提出され, 地区担当指導主事による学校訪問を通して, 学校園の課題解決のための指導・助言が行われた。
- ◎全学校園に学校評議員の設置を終了し, 学校園の課題解決に向けて活用できた。
- 学校マネジメント研修会を4月27日に校園長を対象に実施し, 各学校園は課題の解決に向けて取り組むことができた。

● 30年度の取組

- 学校評価の進捗状況評価(中間評価)を10月に実施し, 地区担当指導主事の学校園訪問による指導・助言を進める。
- ◎学校評議員の活用による年度末評価を3月に実施する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.5

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1		生涯学習ボランティアの登録者数(人)					H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		1,386	1,392	1,175	1,200	1,225	5	107.3%
進捗状況	1,380	1,344	1,154	1,238				
指標2		公民館活動協力員との協働事業数(本)					H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		165	165	165	165	165	4	107.8%
進捗状況	140	163	154	166				
指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 生涯学習ボランティア育成支援事業			
H29事業計画		H29事業成果	
○生涯学習ボランティアの養成 ○生涯学習ボランティアバンクの登録・活用		○生涯学習ボランティアバンク登録者数 1,238名 ○生涯学習ボランティアバンク派遣人数 290名	
当初予算額	123 千円	決算額	126 千円
構成事業2 公民館活動協力員との協働事業			
H29事業計画		H29事業成果	
○事業企画・運営 ○活動協力員会議		○活動協力員と協働して事業企画・運営を実施	
当初予算額	3,632 千円	決算額	4,515 千円
構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	3,444 千円	H27	5,309 千円
H28	3,013 千円	H28	5,061 千円
H29	3,755 千円	H29	4,641 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	10,212 千円	合 計	15,011 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

◎生涯学習に関する豊かな知識や経験、優れた技能を有する地域の人材の有効活用を図るとともに、市民の学習活動の成果を地域社会に還元するためボランティアバンクを設置し、要請のあった関係機関等に登録されたボランティアを派遣するなど学びの循環を推進した。また、ボランティアバンク登録者による自主企画講座を実施するなど、活躍の場の創出に努めた。

○生涯学習ボランティア活動に興味・関心のある人を対象にボランティア入門講座や、既に生涯学習ボランティアとして活躍している人を対象にスキルアップ講座を開催するなど、生涯学習ボランティアの学びの循環を促進した。

○地域の実情やニーズを事業に反映できるように、各公民館で活動協力員と連携して事業の企画運営を行った。

● 30年度の取組

◎生涯学習ボランティアバンクの制度を市報やホームページ、フェイスブック等を通じて周知を行うほか、公民館や学校等関係機関と連携してボランティアバンク登録者の派遣を促進する。また、ボランティア登録者による自主企画講座を実施するなど、活躍の場の創出に努める。

○生涯学習ボランティア活動に生かす技能を学習し、地域で活動する生涯学習ボランティアを養成する入門講座や、技量向上のためのスキルアップ講座を実施する。

○引き続き、地域のニーズを把握するため、定期的に活動協力員との会議を開催し、協働して事業を企画運営していく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		34	68	102	136		4	147.8%
進捗状況	8	34	69	102				
指標2							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○「防災教育」学校・地域連携事業指定校を指定し、家庭や地域と連携した実践的な防災教育の推進	○「防災教育」学校・地域連携事業に33校を指定し、各中学校区で3回以上のミーティングを実施し、年度末に地域と連携した防災教育の自校化プログラムを作成
当初予算額 10,450 千円	決算額 9,987 千円
構成事業2	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	12,600 千円	H27	9,131 千円
H28	11,134 千円	H28	10,689 千円
H29	10,450 千円	H29	9,987 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	34,184 千円	合 計	29,807 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○「防災教育」学校・地域連携事業に33校を指定し、各中学校区における防災教育の現状と課題を共有し、小中及び地域と連携した自校化プログラム作成について協議を行っている。

○5月11日に、防災教育の理念と自校化の定義の共有を図り、新潟県防災教育プログラムの<教職員ガイド編>を用いて、防災教育の理念の共有を行い、防災教育の自校化についての説明を行った。また、平成29年度には、防災教育先進実践校による活動報告(2校)、中学校区単位でのワークショップを行った。その結果、各校の防災教育実践の方向と指導計画自校化のイメージを持つことができるようになった。

○各実践校では、地域と連携した避難訓練を行うなどの取組が行われるようになり、少しずつ地域と連携した取組が広がってきた。

● 30年度の取組

○各実践校で、系統的・継続的な防災教育指導計画作成を行い、自校化した計画を継続して取り組めるように2月22日に研修会を開催する。

○5月10日に、防災教育の理念と自校化の定義の共有を図り、新潟県防災教育プログラムの<教職員ガイド編>を用いて、防災教育の理念の共有を行い、防災教育の自校化についての説明を行う。中学校区単位でのワークショップを行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	地域と連携した組織的な見守り活動を行っている学校の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	57.5	100.0	100.0	100.0				

  

指標2	H29評価						H29評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

  

指標3	H29評価						H29評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

  

指標4	H29評価						H29評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

  

指標5	H29評価						H29評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

  

指標6	H29評価						H29評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

  

指標7	H29評価						H29評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

  

指標8	H29評価						H29評価	
H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比	
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 地域見守り活動支援事業			
H29事業計画		H29事業成果	
○「子ども見守り隊」実施要項の集約	○スクールガードリーダーによる学校訪問及び安全指導	○「子ども見守り隊」実施要綱の集約	○スクールガードリーダーによる学校訪問及び安全指導
○スクールガードリーダーと連携した子ども見守り隊の連携会議を実施	○スクールガードリーダーと連携した子ども見守り隊の連携会議を実施	○スクールガードリーダーと連携した子ども見守り隊の連携会議を実施	○スクールガードリーダーと連携した子ども見守り隊の連携会議を実施
当初予算額	1,063 千円	決算額	1,062 千円

  

構成事業2			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	1,063 千円	H29	1,062 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,063 千円	合 計	1,062 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○地域の保護者やボランティア(=スクールガード, 当市では子ども見守り隊)対象の防犯講習会を開催した。

○学校の安全点検指導と巡回指導のポイント及び地域の保護者・ボランティアに対する指導・支援を行った。

● 30年度の取組

○地域の保護者やボランティア(=スクールガード, 当市では子ども見守り隊)対象の防犯講習会を継続開催する。

○学校の安全点検指導と巡回指導のポイント及び地域の保護者・ボランティアに対する指導・支援を継続する。

○スクールガードリーダー連絡協議会を開催する。

● 推進委員からの意見・要望等

○ 5月の西区における女子児童殺害事件を踏まえて, 市民自身が子どもの防犯のために意識を高め, 対応しなければならないことである。指標は100パーセント達成という結果であるが, 果たしてそれが実効性のある活動になっているのかという検証が必要であり, 今後はその検証を踏まえた指標にすることが必要ではないか。

⇒ この指標については今後見直す必要がある。5月末頃までに, 全小学校で緊急の通学路の安全点検を行う。PTAや子どもたちを見守っている方々, 団体から緊急点検をしてもらおうと共に, より有効な方法も検討していく。体制の整備や施策内容の検討は今後の課題と考えている。

(委員の要望) 神奈川県藤沢市では, ホットスポットパトロールと言って, 防犯のポイントを研修している事例があるので参考にしてほしい。

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	市立学校施設の耐震化率(%)						H29評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	-	-	-		
進捗状況	98.0	100.0	100.0	-	-	-		
指標2	H29～市立学校施設の非構造部材の耐震化促進(校)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	16	8		4	
進捗状況	-	-	-	16				
指標3	H29～市立学校施設のトイレ改修促進(校)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	13	13		4	
進捗状況	-	-	-	13				
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 改築事業及び大規模改修事業			
H29事業計画		H29事業成果	
○大規模改修事業等で非構造部材の耐震化及びトイレ改修を実施する。		○大規模改修事業等で非構造部材の耐震化及びトイレ改修を実施し, 安全かつ快適な学校施設の整備を行った。 ※額は, 大規模改修だけの工事費も含む。	
当初予算額	4,861,700 千円	決算額	4,562,744 千円
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業2			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		千円	
決算額		千円	

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,669,200 千円	H27	7,333,239 千円
H28	1,382,900 千円	H28	1,273,048 千円
H29	4,861,700 千円	H29	4,562,744 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	12,913,800 千円	合 計	13,169,031 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○計画どおりに工事を実施し,安全かつ快適な学習環境の整備と避難所としての環境整備を進めた。  
 ・非構造部材の耐震化16校(外壁改修・ガラス入替えなど)  
 ・トイレ改修13校(洋式化・ドライ化など)

● 30年度の取組

○引き続き,児童生徒の安全確保と避難所としての環境整備に向け,非構造部材の耐震化及びトイレ改修の推進に取り組んでいく。  
 ・国補助が前年度より削減となり実施校が減少せざるを得ない。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.1

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)

※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●施策を構成する事業

指標1	就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校						H29評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0				
指標2	就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校						H29評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0				
指標3	奨学生(高校～大学院)の採用率(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0		4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0				
指標4	奨学生(社会人)の採用率(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0		4	100.0%
進捗状況	100.0	100.0	100.0	100.0				
指標5	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	4	
進捗状況	1.93	1.97	2.02	49				
指標6	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	20	24	27	5	
進捗状況	-	4	4	24				
指標7	放課後の学習支援をする中学校(校)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		56	56	56	56		4	100.0%
進捗状況	-	56	56	56				
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- Ⅱ型: 初年度、中間(もしくは最終)年度等を設定
- Ⅲ型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- Ⅳ型: 数値ではなく文字で設定

構成事業1 就学援助事業	
H29事業計画	H29事業成果
○学用品費など就学に係る費用の一部を補助 ○市内小中学校のすべての保護者に「お知らせ」を年2回(4月及び10月)配付 ○小学校の新入学学用品費の早期支給を検討	○学用品費など就学に係る費用の一部を補助 ○市内小中学校のすべての保護者に「お知らせ」を年2回(4月及び10月)配付 ○小学校新入学学用品費3月早期支給の実施
当初予算額 1,185,361 千円	決算額 1,111,495 千円
構成事業2 奨学金貸付事業(高校～大学院)	
H29事業計画	H29事業成果
○奨学金の貸付、返還 ○募集時の案内チラシの配付のほか、市内の高校を通じて来年度の進学予定の高校3年生に案内チラシを配付 ○返還者に「返還特別免除制度」チラシを納付書に同封	○奨学金の貸付(342名)、返還 ○募集時の案内チラシの配布のほか、来年度の案内チラシを市内高校に通う全生徒に学校を通じて配布 ○返還者に「返還特別免除制度」チラシを納付書に同封
当初予算額 134,189 千円	決算額 137,196 千円
構成事業3 社会人奨学金貸付事業	
H29事業計画	H29事業成果
○奨学金の貸付、返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシを配付	○奨学金の貸付(14名)、返還 ○学校などの関係機関を通じて案内チラシを配付
当初予算額 8,800 千円	決算額 5,600 千円
構成事業4 ふれあいスクール事業(再掲)	
H29事業計画	H29事業成果
○土曜プログラムモデル校4校でプログラムの内容や実施方法を検討。実施結果を運営主任研修会で報告 ○各校の運営の工夫を研修会や運営委員会、通信で紹介	○地域の人材を活用した土曜プログラムを検討し、モデル校4校において実践。研修会にて、実践発表 ○プログラム集の活用を広報し、実践のための指導、助言を行った
当初予算額 37,613 千円	決算額 32,952 千円
構成事業5 アフタースクール学習支援事業(再掲)【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後普通講座運営 ○学習支援員研修会実施	○全市立中学校に学習支援員を配置 ○放課後講座運営 ○学習支援員研修会(10月12日) ○参加延べ生徒数16,716人
当初予算額 7,400 千円	決算額 6,094 千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,463,814 千円	H27	1,413,048 千円
H28	1,416,011 千円	H28	1,330,116 千円
H29	1,373,363 千円	H29	1,293,337 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	4,253,188 千円	合計	4,036,501 千円

注:再掲事業分を含む

### ●29年度の取組に対する評価

○就学援助は、私立学校も含めて全ての小・中学校で、年2回(4月、10月)保護者全員に「就学援助制度についてのお知らせ」を配付した。児童生徒数58,567人のうち、認定者14,599人の保護者に対して、学校にかかる学用品費や給食費等の一部を援助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。また、小学校の新入学学用品費の早期支給に向け調整を図り3月支給を行った。

○奨学金制度は、募集定員117人に対し、募集定員を上回る136人の申請があった。選考基準を満たす130人を採用決定し、貸し付けを行い、高等教育の機会均等を図った。本市への定住促進を図るため、返還者に「返還特別免除制度」チラシを納付書に同封した。

○社会人奨学金制度は、募集定員9人に対し、2人の申請があった。申請者全員が選考基準を満たし採用を決定し、キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

◎ふれあいスクール事業は、平成29年度に小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行うことで共通理解を図ることができた。ふれあいスクール事業合同研修会参加者数は、第1回研修会6月実施 参加者214名 うち放課後児童クラブ支援員49名、第2回研修会10月実施 参加者183名 うち放課後児童クラブ支援員42名。

◎ふれあいスクールの土曜における体験活動や学習機会提供のためのプログラムを整備するため、モデル校4校において実践をした。モデル校のプログラムの内容や方法をよりよくするための検討会を2回(10月、2月)行った。第3回のふれあいスクール事業研修会(2月実施 参加者218名)では、モデル校4校の実践を発表することで、自校に取り入れたいという意識を高めることができた。また、土曜プログラム集を活用してもらうため、研修会で紹介したり、指導者との連絡調整やプログラム実施に向けての指導・助言を行ったりした。

○5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開した。

### ●30年度の取組

○就学援助は、私立学校も含めて全ての小・中学校に、年2回(4月、10月)保護者全員に「就学援助制度」の周知チラシを配付し、制度周知を図る。

○奨学金制度は、市内の高校に通う全生徒に学校を通じて制度チラシを配付し制度周知を図る。

○本市への定住促進を図るため、これから就職を決める機会となる来年度の継続貸付者へ「返還特別免除制度」チラシを配付する。

◎ふれあいスクールの研修会において、実技講習や意識の向上を目的として講演会、グループ情報交換会、実践発表会を行い、運営主任や運営ボランティアのスキルアップを図る。また、ふれあいスクールとひまわりクラブの共通プログラムを紹介したり、情報交換を行ったりすることで、放課後児童クラブとの連携した運営を進める。

◎地域の教育力を生かし、目的を明確にした計画的な活動を行い、子どもの豊かな体験や学びを培うことができるよう今年度もモデル校4校において土曜プログラムを実施し、研修会で報告することで土曜プログラムを活用してもらえようとする。また、多くのふれあいスクールで土曜プログラムを活用できるよう、プログラムの成果と課題を明らかにしながら、指導・助言を行う。

○アフタースクール学習支援員の研修会を希望制で行う。生徒の能力やニーズに応じたきめ細やかで質の高い学習支援が行われるような研修会にする。

### ●推進委員からの意見・要望等

○「就学援助制度の保護者への周知率」と「奨学生の採用率」はいずれもずっと100パーセントであるが、今後、指標の見直しが必要ではないか。

⇒ 事業の効果があったということがわかる指標にし、それを伝えることが大切と考えている。もちろん現在の周知率を測る指標も大切と考えているが、今後、検討をしていきたい。

(委員の要望)社会人奨学金制度は素晴らしいと思う。採用率が低くなってしまいが、向上心のある人がこんなに増えてきたということがわかる指標でも良いのではないかと。

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合(%)						H29評価	
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	34.0	68.0	90.0	100.0	100.0	100.0	4	132.4%
進捗状況	5.0	34.0	68.0	90.0				
指標2	教育ネットワークの構築						H29評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	調査・研究	調査・研究	調査・研究	導入方法検討	計画策定	開発		
進捗状況	-	調査・研究	調査・研究	調査検討				
指標3							H29評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標4							H29評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標5							H29評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標6							H29評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標7							H29評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								
指標8							H29評価	
指標目標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校ICT環境整備事業			
H29事業計画		H29事業成果	
○PC教室用の端末等機器の更新(タブレット端末含)	○校内LAN用PCの更新(タブレット360台)	○PC教室用の端末等機器の更新(64校 2,053台 うちタブレット3台)	○校内LAN用PCの更新(42校 130台 うちタブレット3台)
○教職員用PCの更新		○教職員用PCの更新(64校, 151台)	
当初予算額	820,428 千円	決算額	839,104 千円
構成事業2 教育ネットワーク構築事業【新規】			
H29事業計画		H29事業成果	
○教育ネットワーク構築に係る調査研究		○教育ネットワークの導入について、導入内容の検討を行った。	
当初予算額	0 千円	決算額	0 千円
構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	750,275 千円	H27	735,201 千円
H28	809,582 千円	H28	796,482 千円
H29	820,428 千円	H29	839,104 千円
H30	0 千円	H30	0 千円
H31	0 千円	H31	0 千円
合計	2,380,285 千円	合計	2,370,787 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○教育用コンピュータ, 校内LANコンピュータ, 教職員用コンピュータの更新は計画どおりに実施した。  
 ・教育用コンピュータ 64校 2,053台(内タブレット360台) 更新  
 ・校内LAN用コンピュータ 42校 130台(内タブレット3台) 更新  
 ・教職員用コンピュータ 64校 1,151台 更新

○教育ネットワークの導入については, 導入内容の検討を行った。  
 ・平成30年度の調査費の予算が確保でき, プロポーザルにより「新潟市教育ネットワーク構築基本計画策定業務委託」の業者を選定した。

● 30年度の取組

○教育用コンピュータ, 教職員用コンピュータの更新を予定どおりに終了する。  
 ・タブレット端末の設置校が増加することで, ICTを活用した授業が拡大すると考えている。

○教育ネットワークを構築するために, その導入効果, 導入方法や内容について調査研究を行うとともに, 基本計画の策定を目指す。

● 推進委員からの意見・要望等

○ タブレット端末の他, ICTの各学校への導入についてはどのように考えているのか。  
 ⇒ タブレット端末などICTの導入については, 計画的に整備を進めていくと共に, 併せてソフトの活用を図っていく。

○ 「土曜プログラム」は土曜日の開催であるが, 学校を会場としているため学校職員の負担になっているのではないか。  
 ⇒ 「土曜プログラム」は2種類あり, 一つは部活動との兼ね合いや学校職員の在駐を考え, 平成27年度で終了した。もう一つは「子どもふれあいスクール事業」の一貫であり, 基本的に学校職員不在で実施している。また担当指導主事が必ず巡回している。

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	ボランティア室整備学校(累計校数)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		45	47	57	60		4	113.7%
進捗状況	43	46	51	58				

  

指標2							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 ボランティア室等の整備	
H29事業計画	H29事業成果
○改築・大規模改修に伴い6校で整備 ※金額は, 大規模改修等 10-(3)の一部につき省略	○改築・大規模改修に伴い7校で整備 ※金額は, 大規模改修等 10-(3)の一部につき省略
当初予算額	0千円
決算額	0千円

  

構成事業2	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

  

構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○コミュニティの拠点となるボランティア室の設置について、改築及び大規模改造工事で整備を行った。  
 ・整備校は6校(木戸小, 牡丹山小, 曾野木小, 大通小, 味方小, 東石山中)及び計上漏れの1校を加算。

● 30年度の取組

○引き続き大規模改造工事に合わせ、ボランティア室の整備をすることで、コミュニティの拠点としての学校施設整備を進めていく。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	大規模改修整備校数(校)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		14	12	16	8		4	266.7%
進捗状況	15	14	6	16				

  

指標2							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標3							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標4							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標5							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標6							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標7							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

  

指標8							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 改築・新築, 大規模改修及びその他の老朽改修事業【新規】			
H29事業計画		H29事業成果	
○大規模改修工事を16校で実施 ※金額は, 10-(3)と一部重複		○大規模改修工事を16校で実施した。 ※金額は, 10-(3)と一部重複	
当初予算額	4,685,900 千円	決算額	4,393,474 千円

  

構成事業2			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

  

構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	4,024,400 千円	H27	3,738,300 千円
H28	3,277,000 千円	H28	1,933,387 千円
H29	4,685,900 千円	H29	4,393,474 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	11,987,300 千円	合 計	10,065,161 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○計画どおり大規模改修工事を実施し、安心して安全で快適な学習環境の整備を行った。  
 ・前年度国補助が見送られたものも含め、大規模改修工事を16校(曾野木小, 大通小, 内野小, 巻南小, 牡丹山小, 竹尾小, 江南小, 山潟小, 桜が丘小, 亀田小, 味方小, 横越小, 藤見中, 木戸中, 東石山中, 亀田中)実施した。

● 30年度の取組

○予定している大規模改修工事を実施し、より安全で快適な学習環境の整備を目指す。  
 ・国補助が前年度より削減となり、実施校を減少せざるを得ない。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
3.7

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	生涯学習相談件数(件)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		300	310	320	330	340	4	106.2%
進捗状況	297	296	307	326				
指標2	図書館資料予約件数(件)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		694,000	706,000	718,000	731,000	743,000	4	99.0%
進捗状況	643,178	726,836	747,277	740,125				
指標3	市民一人当たりの図書館資料(雑誌, AVを含む)貸出点数(点)						H29評価	
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		5.82	5.92	6.02	6.12	6.22	3	95.9%
進捗状況	5.71	5.83	5.67	5.44				
指標4	郷土資料のデジタルアーカイブ化・国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供						H29評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		試行・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧		
進捗状況	-	実施・閲覧	実施・閲覧	実施・閲覧				
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学習情報の収集・提供・相談事業(再掲)			
H29事業計画		H29事業成果	
○生涯学習情報提供システムの運営 ○生涯学習人材ガイドの作成 ○学習情報の収集・提供及び学習相談 ○生涯学習相談ボランティア養成講座		○生涯学習情報提供システムの運営 ○研修・講演・講師紹介 ○生涯学習の収集・提供及び学習相談件数 ○生涯学習相談ボランティア養成講座	
当初予算額	269 千円	決算額	288 千円
構成事業2 図書館サービス向上事業			
H29事業計画		H29事業成果	
○配本車の継続運行 ○利用者用回線の全館の光回線化 ○図書館情報システムの維持管理		○配本車の継続運行 ○利用者用回線の全館の光回線化を完了 ○図書館情報システムの維持管理	
当初予算額	114,873 千円	決算額	112,215 千円
構成事業3 電子図書館機能の整備【新規】			
H29事業計画		H29事業成果	
○国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供 ○新潟県立図書館「越後佐渡デジタルライブラリー」への参加 ○デジタルアーカイブ公開資料の追加(平成29年度予算はネットワーク費に含む)		○国立国会図書館のデジタル資料閲覧サービスの提供 ○新潟県立図書館「越後佐渡デジタルライブラリー」への参加 ○デジタルアーカイブ公開資料の追加(平成29年度決算はネットワーク費に含む)	
当初予算額	0 千円	決算額	0 千円
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	149,308 千円	H27	143,940 千円
H28	114,008 千円	H28	110,821 千円
H29	115,142 千円	H29	112,503 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	378,458 千円	合 計	367,264 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

◎市民の生涯学習活動を支援するため、講師情報をまとめた「研修・講演・講師紹介ガイド」を作成し人材紹介を行った。また、関係各課が把握する講師に協力を依頼し、講師情報の収集・更新を行った。

◎生涯学習相談ボランティアによる学習情報の収集・提供や出前による学習相談等を実施し、市民の主体的な学習を支援した。

◎パソコン初心者に対し、パソコン指導ボランティアによる初心者向け講習会や専門学校との協働によるパソコン講習会を実施し、市民の主体的なICT学習を支援した。

○図書館全館の利用者用回線の高速化(光回線化)を完了し、利便性を高めた。

○平成27年度にスマホページを開始し、予約件数が飛躍的に上昇した。平成29年度は目標を上回ったが、前年度実績からは減少した。また、市民一人当たりの図書館資料貸出点数は目標を下回ったが、要因は活字離れや豪雪によるものと思われる。

○「新潟市立図書館デジタルアーカイブ」のページでは、中央図書館1点、新津図書館8点の郷土資料のデジタルデータを追加して累計40点を公開し、充実を図った。

● 30年度の取組

◎市民の多様な学習ニーズに対応するため、引き続き「研修・講演・講師紹介ガイド」による人材情報の提供を図るとともに、新たに作成したガイドブックを関係機関等に配布し、学びの循環による人材活用に寄与する。

◎生涯学習相談ボランティアによる学習相談を実施するほか、市報やSNS等により制度の周知を図り、学習相談件数の増加に努める。

◎引き続き、パソコン指導ボランティアや専門学校との協働によるパソコン初心者向け講習会を開催し、市民の主体的なICT学習の支援に寄与する。

○図書館資料を市民の生涯学習活動にさらに役立ててもらうために、図書館利用者、および図書館に来館したことのない潜在利用者へのPR方法を検討する。

○「新潟市立図書館デジタルアーカイブ」のページで、新津図書館の5点の郷土資料デジタルデータを追加公開する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.7

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		80.0	85.0	85.0	88.5		4	100.7%
進捗状況	80.0	87.0	87.5	88.1				
指標2	マイスター養成塾修了者(名)						H29評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		102	108	110	128		5	110.0%
進捗状況	102	103	110	121				
指標3	学社民融合研修会の実施(回)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		7	7	7	8		5	114.3%
進捗状況	7	7	7	8				
指標4							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育関係職員の研修プログラムの一層の充実			
H29事業計画		H29事業成果	
○キャリアステージ研修(法定研修, 若手教師道場, マイスター養成塾等) ○専門研修		○キャリアステージ研修(法定研修, 若手教師道場, マイスター養成塾等) 4,266名 ○専門研修 3,729名	
当初予算額	10,452 千円	決算額	8,720 千円
構成事業2 学社民融合研修の推進			
H29事業計画		H29事業成果	
○パートナーシップ事業研修会(3回)○ふれあいスクール研修会(3回)※1項目目,2項目目の当初予算額はシート9-(1)に掲載○公民館改革職員研修○生涯学習関係管理職研修		○パートナーシップ事業研修会(3回)延参加者数1,210名 ○ふれあいスクール研修会(3回)延参加者数615名(放課後児童クラブ支援員含む) ○公民館改革職員研修(1回)参加者116名	
当初予算額	200 千円	決算額	150 千円
構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額		決算額	千円
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

## ● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	6,167 千円	H27	4,034 千円
H28	6,482 千円	H28	4,792 千円
H29	10,652 千円	H29	8,870 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	23,301 千円	合 計	17,696 千円

注:再掲事業分を含む

## ● 29年度の取組に対する評価

○平成29年度に教育関係職員の研修プログラムとして実施した講座は以下のとおり。

- ・キャリアステージ研修 47講座 延べ受講者数 4,266名
  - ・専門研修 68講座 延べ受講者数 3,729名
- (計 115講座 延べ受講者数 7,995名)

○講座修了後の受講者満足度評価、肯定的評価は、キャリアステージ研修95%、専門研修83%であった。実施した全研修講座115講座の平均では、88%となり、目標を達成することができた。受講者とマンツーマンで行う授業づくり研修の実施など、個々の受講者のニーズに対応した丁寧な研修システムの実施が評価された。

○今年度のマイスター養成塾には、平成28年度入塾生8名、平成29年度入塾生8名、過年度生1名、計17名が受講した。認定者を一人でも多く輩出できるよう、月2回のペースで指導主事研修を実施し、指導主事の指導力向上を図ってきた。また、外部指導者を依頼して全ての受講者の専門教科に対応したり、複数の指導主事で指導にあたりたりしてきた。結果、研究授業を重ねる度に点数が伸びている塾生が増えており、最終的には新たに11名の修了者を増やした。

○パートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が計99名参加して、地域教育コーディネーターとの情報交換を行い、地域教育コーディネーターと社会教育施設とのネットワークづくりを促した。また、地域教育コーディネーターのスキルアップのため、研修運営を担当する地域教育コーディネーターによる研修幹事会と区研修を実施した。

- ・パートナーシップ事業研修会(第1回研修会5月9日・16日・22日:参加者522名(うち学社民融合支援主事33名, 図書館職員8名), 第2回研修会(校長研修)8月7日:参加者195名(うち学社民融合支援主事14名, 図書館職員7名), 第3回研修会11月28日・30日参加者493名(うち学社民融合支援主事24名, 図書館職員13名))
- ・研修幹事会(第1回研修会7月:参加者29名, 第2回研修会1月:参加者28名)

○新任コーディネーターの事業理解とスキルアップを図るため、新任コーディネーター研修を2回開催した(延参加者93名)。また、新任コーディネーターを支援するため、経験豊富な地域教育コーディネーターをアドバイザーとして各区に配置した。

○ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や実技研修を行った。(6月実施 参加者 214名(うち放課後児童クラブ支援員49名), 10月実施 参加者183名(うち放課後児童クラブ支援員42名))

○生涯学習・社会教育関係職員の意識共有を図り、専門性を高めるため管理職研修を開催した。(9月7日, 参加者57名)

○日常業務力量形成を目指し、公民館職員のスキルアップを図るため公民館改革研修を実施した。(12月2日, 参加者116名)

## ● 30年度の取組

○キャリアステージ研修, 専門研修とも, 受講者の受講満足度の肯定的評価88.5%以上を目標に, 内容の精選, 研修形態の工夫などに取り組み, 充実した研修講座を実施していく。

○マイスター養成塾では, 2年目受講者6名, 1年目受講者9名, 総計15名が受講する。認定授業終了時の授業合格細目割合平均が80%以上, または, 年度当初授業時と比較して15%以上上昇した者の人数が受講者総数の75%を超えることを目指し, 認定授業までの指導案指導, 授業研究等への指導・支援を充実させる。そのために, 月2回の指導主事研修等で指導主事の指導力を高めていく。

なお, マイスター養成塾修了者は平成29年度末時点で121名を教え, 平成30年度の指標目標を上回ったことから, 指標目標を見直し128名とする。

○学社民融合支援主事と図書館職員が参加する事業研修会, 研修幹事会, 区研修を下半期も実施する。

○地域との連携・協働を進める上での課題をテーマに, 第3回地域と学校パートナーシップ事業研修会を実施する。

○ふれあいスクールの各実施校の取組を一層充実させるために, 運営主任や運営ボランティアを対象とした研修を進める。また, 各校のふれあいスクールを訪問し, 実施についての指導助言を行う。

○「学・社・民の融合」による教育をさらに推進するため, 生涯学習・社会教育関係職員の意識共有を図り, 専門性を高めるため管理職研修を開催する。

○公民館職員のスキルアップを図るため公民館改革職員研修を開催する。

## ● 推進委員からの意見・要望等

○ 指標1は, 研修受講者の満足度と活用度を指標にしているが, 満足度よりも活用度が大切ではなかろうか。研修内容をしっかりと理解し, 自らの役目に繋げていけることが大切であると考えているが, どうか。  
⇒ 満足度と活用度があるが, これからの授業に活用できるかという視点を大切にしている。

●H29施策評価

3期進捗平均
2.7

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	放課後に子どもと接する時間が1週間あたり5時間以上の教員の割合(%)→H30～月当たり平均時間外勤務時間が45時間以下の教職員の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		65.0	66.0	66.0	70.0			
進捗状況	64.2	65.8	64.9	50.3			2	77.5%
指標2	教職員の病気休暇・休職者(30日以上)のうち精神疾患者の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		41.5	41.5	38.0	38.0			
進捗状況	43.9	42.1	38.9	38.3			4	101.5%
指標3	支援を要する教職員(人)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		14	14	13	13			
進捗状況	15	15	14	15			2	92.9%
指標4							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 多忙化解消対策の推進		
H29事業計画	H29事業成果	
○各校の取組の調査 ○効果的な取組の紹介 ○「1校1取組」の推進 ○勤務時間の適正把握	○在校勤務時間の把握と実態調査の実施 ○校長研修会等での意識啓発 ○多忙化解消検討会議の開催 ○第2次多忙化解消行動計画の策定	
当初予算額	300 千円	決算額 310 千円
構成事業2 教職員ヘルスケアシステム		
H29事業計画	H29事業成果	
○教職員健康管理委員会の開催 ○職場復帰のための支援体制の整備 ○メンタルヘルス相談体制の充実 ○職員研修の開催	○心と体の相談室(相談12件) ○メンタルヘルス研修・講座(4回・約260名受講) ○職場復帰支援プログラム(対象者延11名) ○教職員健康管理委員会(審査延47件)	
当初予算額	678 千円	決算額 522 千円
構成事業3 支援を要する教職員の研修		
H29事業計画	H29事業成果	
○対象教職員に対する指導力向上研修の実施 ○指導が不適切な教職員に関する委員会の開催	○研修者の状況に応じた研修計画の作成, 研修の実施 ○校長等との定期的な面談の実施 ○指導が不適切な教職員に関する委員会(2月実施)	
当初予算額	143 千円	決算額 36 千円
構成事業4		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業5		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円
構成事業6		
H29事業計画	H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	989 千円	H27	836 千円
H28	968 千円	H28	562 千円
H29	1,121 千円	H29	868 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	3,078 千円	合 計	2,266 千円

注:再掲事業分を含む

●29年度の取組に対する評価

○多忙化解消対策の推進  
 ・出退勤管理システムを運用して、各学校園の教職員の在校勤務時間を学校と教育委員会では把握することが可能になった。  
 ・各学校園の各校一取組と市内全職員の勤務実態の調査を行い、新潟市の教職員の勤務実態を把握した。  
 ・夏季休業中に学校閉庁日を設定し、休暇を取得しやすい環境づくりに努めた。  
 ・校長研修会を通して、校長等の多忙化解消に関する意識の啓発を進めた。  
 ・多忙化解消検討会議を開催し、年度末に第2次多忙化解消行動計画を策定した。平成30年度より学校園と教育委員会が一体となって取組を進める。

○教職員ヘルスケアシステム  
 ・各種メンタルヘルス研修会の実施による教職員への啓発、健康管理委員会からの助言の学校現場への反映、精神疾患による休職者に対する職場復帰支援プログラムの実施、メンタルヘルス相談窓口の開設等を行うことで、精神疾患による病気休暇・休職者数が減少するとともに、全病気休暇・休職者に占める割合も低下した。  
 ・長時間労働者に対する保健指導の充実を図るため、各学校への啓発活動を推進するとともに、長時間労働者に対する過重労働者面談を実施した。

○支援を要する教職員の研修  
 ・支援を要する教職員の人数は1名増であり、目標を達成できなかった。支援が不要となるまでには時間を要するので、教職員の状況に即した研修等を個別に実施する必要がある。  
 ・学校訪問の際に、支援を要する教職員の状況について確認し、校長と連携して校内研修の充実を図るとともに、学校からの要請により総合教育センターと連携して支援を要する教職員に対する研修を行って、指導力向上を図った。

●30年度の取組

○多忙化解消対策の推進  
 ・「学校現場の業務改善事業」や「学校事務支援員」等を活用した第2次多忙化解消行動計画の推進に努める。  
 ・多忙化解消行動計画に基づいた学校や教育委員会の取組にかかわって、教育委員会が積極的に保護者、地域への啓発を行う。  
 ・教育委員会内のワーキングチーム会議、外部の方を招いた検討会議を開催して、行動計画の進捗管理を進める。  
 ・改良した出退勤管理システムにより教職員の勤務時間を適正に把握し、取組の成果を検証し新たな多忙化解消に向けた対策を検討する。

○教職員ヘルスケアシステム  
 ・健康管理委員会を月1回開催し、教職員の休職の要否や復職の可否等について、病状の検討及び判定を行う。  
 ・精神疾患による病気休職者に対し、職場復帰の準備と再発防止を図るため、職場復帰支援プログラムを実施する。  
 ・メンタルヘルス相談の実施・長時間労働者に対する過重労働面談を継続・発展し、教職員の心と体に関する不安軽減と健康保持増進を図る。

○支援を要する教職員の研修  
 ・支援を要する教職員の情報収集に努め、校長との連携により効果的な支援を進める。  
 ・教職員の状況に即した指導力向上研修を個別に実施する。  
 ・支援を要する教職員に関する委員会を開催する。

※指標1については、第2次多忙化解消行動計画(H30.3月)において指標が変更となったため、30年度から「月当たり平均時間外勤務時間が45時間以下の教職員の割合」に変更

●推進委員からの意見・要望等

○ 指標1は教職員の多忙を表していると思う。「平成29年度の取組」に学校閉庁日が取り入れられ、新聞等でも教職員の多忙化解消の記事が掲載され、大変良い方向に向かっている。是非引き続きスピードを上げて、確かな成果を感じられるものにしてほしい。  
 ⇒ 第2次多忙化解消行動計画の策定の過程で出退勤管理システムを開発し、教職員の勤務実態を把握できるようになった。月当たり平均時間外勤務時間を45時間以下に設定し、年次有給休暇取得日数を14日以上と示している。また各校での多忙化解消の取組を、研修会やホームページ上で共有化できるようにしている。

○ この評価の記載に、希望校・指定校・推進校・パイロット校・モデル校・実践校と、様々な課題や問題に学校が取り組んでいることがわかるが、実際にどのくらいの学校が取り組んでいるのか。  
 ⇒ 授業改善など、希望を募って行う研修や、NIEや学校図書館活用、防災教育などの輪番で行う指定校など、様々な教育課題について多様な形態を持って各校と共に取り組んでいる。



基本施策	12	市民に信頼される教育関係職員の育成	施策(3)	信頼される教職員の採用・登用・配置 (p.60)
------	----	-------------------	-------	-----------------------------

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値 ÷ 前年度進捗状況値 × 100 (%)  
※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	出願倍率(倍)(出願数/採用者数)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4.2	4.9	3.6	3.1		3	79.1%
進捗状況	4.1	5.5	4.3	3.4				
指標2	女性管理職等(教頭, 主幹教諭, 主任)の割合(%) ※次年度4月1日現在における目標値						H29評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		38.0	38.0	37.0	38.0	40.0	4	99.4%
進捗状況	36.0	35.4	36.3	36.1				
指標3	マイスター配置校の割合(%)※マイスター のいる市立学校の割合						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		28.0	30.0	33.0	38.0		5	110.1%
進捗状況	27.8	29.5	32.7	36.0				
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- Ⅱ型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- Ⅲ型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- Ⅳ型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教員採用選考検査	
H29事業計画	H29事業成果
○教員採用選考検査の実施 ○翌年度の教員採用選考検査計画案の作成 ○人材確保のための工夫・改善	○教員採用選考検査の実施 ○平成30年度実施教員採用選考検査の骨格完成 ○人材確保のための工夫・改善について検討
当初予算額 4,264 千円	決算額 4,404 千円
構成事業2 管理職選考検査	
H29事業計画	H29事業成果
○管理職選考検査の実施 ○翌年度の管理職選考検査の計画案作成 ○女性管理職の人材育成	○管理職選考検査の実施 ○管理職の採用・登用の審議・決定・通知 ○翌年度の管理職選考検査の計画案検討 ○主任層への女性教員の抜擢, 女性教員への啓発等
当初予算額 130 千円	決算額 65 千円
構成事業3 適材適所の人員配置	
H29事業計画	H29事業成果
○異動方針・基準の周知徹底を図るとともに, 全市的視野に立ち, 校種間の連携を促進するために, 異校種間の異動を積極的に推進 ○学校課題に即した非常勤講師の配置	○新異動方針・基準の周知徹底 ○校種間の連携を促進するための異校種間異動を積極的に推進 ○学校課題に即した非常勤講師の配置
当初予算額 16,186 千円	決算額 9,529 千円
構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

●予算・決算の状況



当初予算額		決算額	
H27	19,068 千円	H27	13,008 千円
H28	16,250 千円	H28	13,276 千円
H29	20,580 千円	H29	13,998 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合計	55,898 千円	合計	40,282 千円

注：再掲事業分を含む

### ●29年度の取組に対する評価

#### ○教員採用選考

- ・特別選考の区分の拡大に加えて、第1次検査に加点制度(資格・免許)の拡充を図り、必要な人材確保を工夫した。
- ・新潟市立学校を除く新潟県内にある国公立の教員が在職のまま受験できる制度を変更し、即戦力となる人材の確保を行うことができた。
- ・採用案内の刷新や採用選考検査ガイダンスの実施を通して、人材確保のための啓発を図った。出願人数が前年度の387人から396人に増加したが、募集人数も前年度の90人から115人と増加したため、指標目標を達成することができなかった。

#### ○管理職選考

- ・民間面接官を含めた面接を実施するなど、公平性・透明性を確保した管理職選考検査を実施し、人物重視の登用を行うことができた。
- ・教頭の受検者に占める登用者の女性の割合が21.4%であり、前年度の16.1%を5.3%上回った。
- ・公募校長選考では、2名の応募があった。

#### ○人事異動・人員配置

- ・人事異動会議での校長からのヒアリングを通して、正規・非常勤の教職員の能力や各学校課題を把握するとともに、地域に根ざした特色ある学校づくりに向け職住近接を考慮し、居住区、隣接区への配置に努めることができた。
- ・今年度の県との人事交流は、県への転出教職員数(教諭、養護教諭、事務職員)は45名、県からの転入教職員数111名である。市内に自宅があり、県から市内への転入を希望した教職員については全て受け入れ、市内配置を行った。

#### ○非常勤講師の配置

- ・育児休暇、病気休暇等により欠員が生じて児童生徒の教育活動に支障をきたさないために、その都度、迅速に非常勤講師を配置した。
- ・各学校の実情に応じて、特別非常勤講師、実技指導困難代替非常勤講師、初任者研修代替非常勤講師を配置した。

### ●30年度の取組

#### ○教員採用選考

- ・中・高共通「美術」の募集や「追加合格」制度の導入により、人材の確保を図る。
- ・特別選考に出願できる対象者の要件を緩和し、即戦力となる人材の確保に努める。
- ・教員として服務・勤務の心構えを習得させるため、採用内定者を対象に採用ガイダンスを2回(11月と3月)実施する。
- ・人材確保の啓発を行い、出願数を前年度の396人から410人に増加させ、採用予定者数の拡大に伴う倍率の低下を最小限に抑える。

#### ○管理職選考

- ・公平・公正・透明性のより一層の向上を図りながら、人物重視の登用を行う。
- ・平成30年度初の女性教頭職の配置率17.8%の割合を高める。そのために、校長会等での啓発や働きかけを進める。

#### ○教職員の適材適所への配置

- ・人事異動に係る基準を基に、平成31年度初の人事異動を円滑に進められることができるようにする。
- ・平成31年度初の人事異動に向け、職住近接を基本に、適材適所の人員配置を行う。
- ・県との円滑な人事交流を行うため情報交換を密に行うとともに、人事異動登録票を基に先を見通しながら計画的に進めていく。
- ・女性管理職の登用を進めるため、教頭選考の受検資格対象となる主任層への女性教員の抜擢や、管理職選考検査の周知、校長や女性教員に対する意識啓発などの取組をより一層進める。

#### ○非常勤講師の配置

- ・教職員の育児休暇、病気休暇等により、児童生徒の教育活動に支障をきたさないために、今後も引き続き迅速に非常勤講師を配置する。

### ●推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100 (%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	評価者研修受講者の充実度(満足度)が高い人の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		90.0	90.0	90.0	90.0		4	100.8%
進捗状況	87.3	88.7	88.0	88.7				
指標2	優秀教職員の表彰						H29評価	
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		実施	実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施	実施				
指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教職員の人事評価制度の実施・改善			
H29事業計画		H29事業成果	
○教職員人事評価の実施 ○評価者研修の実施 ○平成29年度に使用した評価シートの改善検討		○権限移譲を踏まえた教職員人事評価の実施 ○評価者研修の実施(6回) ○有識者を交えた人事評価に係わる懇談会の開催 ○新しい評価シートの開発	
当初予算額	459 千円	決算額	302 千円
構成事業2 教職員表彰制度			
H29事業計画		H29事業成果	
○被表彰者の選考と表彰の実施		○10名の教職員を選考し, 優秀教職員として表彰	
当初予算額	104 千円	決算額	63 千円
構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	966 千円	H27	934 千円
H28	788 千円	H28	778 千円
H29	563 千円	H29	365 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	2,317 千円	合 計	2,077 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○教職員評価の評価者研修会を予定通り(6回)実施し、評価者としての力量向上を図ることができた。

○平成28年度からの教職員評価制度について、検討をすすめ、有識者を交えた人事評価に係わる懇談会を開催するとともに、新年度に活用を図る標準職務遂行能力表を作成した。

○教育委員会表彰に計23名の推薦があった。選考委員会で10名の表彰者を決定し、表彰式を実施した。

○従来の目標設定シート及び評価シートを活用して、教職員評価の本来の目的である人材育成、組織の活性化を図れるように運用を進めた。

● 30年度の取組

○平成29年度より新しい評価シート(能力態度評価、業績評価)を用いて、人材育成、組織の活性化ならびに人事管理の基礎としての活用を目的として、教職員人事評価制度の運用を進める。

○校園長・教頭に対する評価者研修を実施する。(4回開催)

○学校教育に携わる中で地道な努力を積み重ね、優れた実績をあげている優秀な教職員を表彰する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		16	16	16	16		4	100.0%
進捗状況	16	16	16	16				
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29~(中学校区数)						H29評価	
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		32	56	28	28		4	
進捗状況	8	32	56	28				
指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 区教育ミーティングの開催【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○各区年2回実施	○各区年2回実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業2 中学校区教育ミーティングの開催【新規】	
H29事業計画	H29事業成果
○市内28中学校区で実施	○市内28中学校区で実施
当初予算額 0千円	決算額 0千円
構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	0 千円	H27	0 千円
H28	0 千円	H28	0 千円
H29	0 千円	H29	0 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	0 千円	合 計	0 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○区教育ミーティング  
 ・上半期及び下半期それぞれ各区1回、計16回開催した。  
 ・6月から8月にかけて全区で第1回目のミーティングを実施した。平成29年度の地域と共に進める主な施策について情報提供し、地域と学校との関わりや社会教育施設との連携について、成果・課題を話し合った。意見交換では、いじめ問題や教職員の多忙化解消、地域行事への児童生徒の参加のあり方などが取り上げられた。  
 ・10月から1月にかけて全区で第2回目のミーティングを開催した。各区の課題や特徴をテーマに話し合うとともに、教育委員から他区の事例を紹介するなど意見交換の充実を図った。

○中学校区教育ミーティング  
 ・28中学校区で開催した。各区3または4中学校区で実施し、平成29年度と30年度で全中学校区を一巡する。  
 ・中学校区教育ミーティングでは防災教育をテーマとし、中学校区単位で作成されている防災教育プログラムを基に意見交換が行われた。

● 30年度の取組

○区教育ミーティング  
 ・平成29年度と同様に、上半期・下半期各1回、計16回開催する。  
 ・上半期の1回目のミーティングでは、平成30年度の地域と共に進める主な施策について教育長から情報提供し、またフリーテーマでの意見交換を行う。  
 ・下半期は1回目のミーティングを踏まえたテーマや、各区独自の課題について意見交換する。

○中学校区教育ミーティング  
 ・28中学校区で開催する。各区3または4中学校区で実施し、平成29年度と30年度で全中学校区を一巡する。  
 ・テーマは「防災教育」とし、各中学校区で作成している防災教育プログラムへの理解を深めるとともに、より実効性のあるものにするための意見交換を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	例規整備やシステム構築などの権限移譲準備						H29評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	人給構築	人給稼働	-	-	-	-		
進捗状況	-	基本計画策定	人給稼働	-	-	-		
指標2	H29～教育行政の効果的・効率的な執行体制の整備と市長部局との連携を図るため、「新潟市総合教育会議」を共同開催						H29評価	
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標	-	-	協議・開催	協議・開催	協議・開催	-		
進捗状況	-	-	協議・開催					
指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 県費負担教職員の権限移譲準備【新規】			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業2 新潟市総合教育会議の開催【新規】			
H29事業計画		H29事業成果	
○市長部局と連携を図り, 教育行政の効果的・効率的な執行体制の整備や, 教育課題に的確に対応することを目的とした年2回の総合教育会議の運営		総合教育会議を29年度中に2回開催し, 会議録を市ホームページ上で公表した。	
当初予算額	0千円	決算額	41千円
構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	126,415 千円	H27	63,455 千円
H28	174,219 千円	H28	170,308 千円
H29	0 千円	H29	41 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	300,634 千円	合 計	233,804 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○総合教育会議

- ・上半期は、大テーマ「全ての子どもへの学習機会の確保」の下に、小テーマ「基礎学力の定着～教職員の多忙化解消による教育の質の向上～」と「貧困の連鎖を防ぐための支援策～子どもの居場所づくりの充実～」に基づき、第1回総合教育会議を開催した。
- ・テーマ内容について、各担当課から事務事業説明の後、市長と8人の教育委員が積極的に意見交換をした。
- ・教育委員からは、「教員の勤務実態の把握は評価するが、長時間勤務は当たり前という雰囲気があるかもしれないので改善に期待する」「国への教員確保の要望も進めてほしい」などの意見があった。教育委員会で多忙化解消検討会を設置し取り組んでいる中で、市長からは「学校は業務に集中できるようにしてもらいたい」と発言があった。
- ・その他、子どもの貧困対策や学力向上に向けた様々な取組についても議論が交わされた。

・下半期はテーマ「平成30年度教育施策について」に基づき、第2回総合教育会議を開催した。

- ・平成30年度当初予算における教育委員会の課題への対応について、教職員の多忙化解消及び中学校における部活動の在り方について、また、新潟市子どもの未来応援プランについて事務局から事務事業を説明し、市長と8人の教育委員が意見交換をした。
- ・教育委員からは、働き方改革については「教職員は限られた時間の中で最大の効果を上げられるような働き方を進めていく必要がある」「教員の働き方改革は、教職員だけのためではなく、結果として質の高いレベルの教育につながり、引いては子どもたちに反映してくる」という意見があり、子どもの未来応援プランについては「どういう形のを5年間で目指してやっていくのか、まずは初年度に何に取り組むのかなど、教育委員会として何か取り組むために、議論のきっかけになる具体的なものを示していただきたい」などの発言があった。

・平成29年度は2回会議を開催し、教育行政の推進のために必要な議題について市長と教育委員が活発に意見交換することで相互連携を図ることができた。また、会議録を市ホームページ上で公表し、市民へ周知することができた。

- ・会議の中で、教育委員から議題に対する資料の構成、内容について要望があったので次年度以降見直していく。その他にいただいたご意見も今後の教育施策を実施する際に参考にする。

● 30年度の取組

○年度内に2回、会議を開催する予定である。それ以外に急に議論が必要な課題が生じた場合は必要に応じて随時開催を検討する。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	にいがた共育通信(発行回数)						H29評価	
停止	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		4	4	-	-	-		
進捗状況	4	4	4	-	-	-		
指標2	H29～にいがた共育通信を読んで「教育ビジョンの施策内容について理解できた」と回答した人の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		-	-	90.0	90.0		4	
進捗状況	-	-	-	88.9				
指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

<指標目標の設定型>

- I型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育情報発信事業	
H29事業計画	H29事業成果
○A4判見開き4ページ, 横書きカラー仕様, HPにも掲載 ○6月下旬・9月下旬・12月中旬・2月下旬の年4回発行 ○学校園・関係機関等319ヶ所に毎回63,000部発行 ○教育ビジョン中心施策の紹介	○年間4回発行 ○教育情報や学校・園, 各教育機関に関わる情報発信 ○テーマを立て, 特色ある取組(施策)について発信 ○アンケートを実施
当初予算額	1,232 千円
決算額	1,066 千円
構成事業2	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額	千円
決算額	千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	1,646 千円	H27	1,464 千円
H28	1,232 千円	H28	1,089 千円
H29	1,232 千円	H29	1,066 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,110 千円	合 計	3,619 千円

注：再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○年間4回発行し、教育ビジョンの中心的施策や学校園、地域における活動、社会教育施設の取組を広報した。各号における特集記事のテーマは以下の通りである。

- ・第45号(H29.6.30) いじめを生まない・見逃さない学校づくりの取組
- ・第46号(H29.9.29) しらべて つながる これからの学び(総合教育センター「タブレットPCの授業活用」と中央図書館「公共図書館をしよう」)
- ・第47号(H29.12.15) 新潟の魅力を知る！ 新潟の魅力を創る！～大好きにいがた体験事業から～
- ・第48号(H30.2.28) 地域と歩む防災の取組について (地域と学校パートナーシップ事業の取組を通して、防災の取組を支える学校施設、地域と学校の連携の場を醸成する、防災教育の広がりをつくる、防災マスコットキャラクター など)

○平成29年12月15日(金)～平成30年1月31日(水)の期間において、「にいがた共育通信」に関わるアンケートを実施し、以下のような割合で肯定的な評価をいただいた。

- ・よくわかった 49 (26.1%)
  - ・だいたいわかった 118 (62.8%)
  - ・ほとんどわからなかった 18 (9.6%)
  - ・わからなかった 3 (1.6%)
- ※「よくわかった」「だいたいわかった」 167 (88.9%)

(主な回答内容)

- ・他校や他地域の取組を知ることができ、参考になった。
- ・教育について、詳しい情報が得られる。
- ・毎回、目にするのが、後でじっくり読もうと思うが、なかなか時間がない。など

● 30年度の取組

○新潟市ホームページによる「教育情報発信」とする。従来までの年間4回の紙面による広報を取りやめ、ホームページ上に教育情報の掲載を行う。

- (計画の主な内容)
- ①「にいがた共育通信」での特集記事は継続して行うと共に、今まで一回で行っていた情報発信を数回に分けて、シリーズとして発信する。
    - ・5～7月 「キラキラ新潟っ子応援団」(3回シリーズ)
    - ・8月 「発達障がい児への配慮や支援を示し、相談機関を紹介」
    - ・9～11月 「新潟市の子どもたちの体と健康」(3回シリーズ)
    - ・12～2月 「地域や学校、公民館・図書館で活躍するボランティア」(3回シリーズ)
  - ②他に、教育委員会のイベント紹介やお知らせを随時発信していく。
  - ③アンケートについては、前年度同様に実施し、得られた意見感想等を参考に次年度の計画を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	H29評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標2	H29評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3	H29評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4	H29評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5	H29評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6	H29評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7	H29評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8	H29評価							
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 学校適正配置の推進	
H29事業計画	H29事業成果
○新潟市立学校適正配置基本方針に基づいた学校適正配置の推進	○太田小学校の葛塚東小学校への編入統合が完了。笹山小学校地域検討協議会が木崎小学校への編入統合を希望する提言をコミ協へ提出。鳥屋野小学校地域検討会が大規模対応に係る提言をコミ協へ提出
当初予算額 1,090 千円	決算額 1,078 千円
構成事業2	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業3	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業4	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業5	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円
構成事業6	
H29事業計画	H29事業成果
当初予算額 千円	決算額 千円

● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	2,261 千円	H27	1,082 千円
H28	1,039 千円	H28	815 千円
H29	1,090 千円	H29	1,078 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	4,390 千円	合 計	2,975 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進し、6地区12校において協議を行った。主な取組は下記のとおりであり、いずれも概ね順調に進行している。

- ・北区の太田小学校と葛塚東小学校の統合において、太田小学校の閉校事業は無事に完了し、平成30年4月に統合した。
- ・北区の笹山地区において、笹山小学校地域検討協議会を立ち上げ、「平成32年4月に木崎小学校への編入統合」という地域の総意がまとまった。その後、地域検討協議会からコミュニティ木崎村へ提言書が提出された。
- ・中央区の鳥屋野小学校大規模化対応のための地域検討会を再開させ、鳥屋野小学校PTA勉強会を開催した。その後も地域検討会を3回開催し、協議を重ね、結果として現在の鳥屋野小学校で校舎増築を行うことで意見をまとめた。最終的に鳥屋野地区コミュニティ協議会が要望書としてまとめて、新潟市長及び新潟市教育長に提出する予定である。
- ・西区の新通小学校分離新設校開校に向けて、通学路安全対策検討会で協議を重ねた。最終的に通学路における交通安全設備についての要望書を、西警察署長と西区長へそれぞれ提出する予定である。

※協議を行った地域・学校

- ①南浜地区コミュニティ協議会(南浜小学校・太夫浜小学校・南浜中学校)
- ②太田ちいきコミュニティ協議会(太田小学校)
- ③葛塚東小学校区コミュニティ協議会(葛塚東小学校)
- ④コミュニティ木崎村(笹山小学校・木崎小学校・木崎中学校)
- ⑤小合地域コミュニティ協議会(小合小学校・小合東小学校・小合中学校)
- ⑥鳥屋野校区コミュニティ協議会(鳥屋野小学校)

● 30年度の取組

○29年度に引き続き、新潟市立小中学校の適正配置基本方針に基づき、学校適正配置を推進する。主な取組は次のとおりである。

- ・北区の笹山小学校と木崎小学校の統合についての要望書が市側へ提出された後、統合実行委員会の設立の準備を支援する。また、統合実行委員会開催後は、両校の統合に関わる課題が円滑に協議されるように支援する。
- ・中央区の鳥屋野小学校は最新の推計値を見ながら、校舎増築工事までの間の教室不足や教育環境確保のための対策を、施設課が中心となって学校と保護者、地域住民と協議する。
- ・西区の新通小学校分離新設校の開校準備委員会を設置し、協議を開始する。

○上記以外で、学校適正配置が必要な地域・学校へ、児童生徒数の推計などの情報提供を行う。

● 推進委員からの意見・要望等

●H29施策評価

3期進捗平均
4.0

<「3期進捗」の評価基準> ( )内は減少指標目標の場合

- 5: 指標を上回って達成〔達成率105%以上(95%未満)〕
- 4: 指標を概ね達成〔達成率95%以上105%未満(同左)〕
- 3: 指標をもう少しで達成〔達成率85%以上95%未満(105%以上115%未満)〕
- 2: 指標を下回った〔達成率75%以上85%未満(115%以上125%未満)〕
- 1: 指標を大きく下回った〔達成率75%未満(125%以上)〕

<「前年度比」の求め方>

当該年度進捗状況値÷前年度進捗状況値×100(%)  
 ※減少指標目標の場合の「前年度比」は、100%に伸率を加減算して表示

●成果指標

指標1	指標どおりに概ね達成した施策の割合(%)						H29評価	
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標		75.0	90.2	85.0	85.0		4	102.4%
進捗状況	75.0	90.2	84.3	86.3				
指標2							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標3							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標4							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標5							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標6							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標7							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								
指標8							H29評価	
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3期進捗	前年度比
指標目標								
進捗状況								

< 指標目標の設定型 >

- I 型: 第3期実施計画の5か年分を設定
- II 型: 初年度, 中間(もしくは最終)年度等を設定
- III 型: 前年度の実績を踏まえて毎年度設定  
(原則として前年度設定値以上)
- IV 型: 数値ではなく文字で設定

●施策を構成する事業

構成事業1 教育ビジョンの適正な推進			
H29事業計画		H29事業成果	
○教育ビジョン推進委員会を3回実施	○全54施策の進行管理・評価を実施	○教育ビジョン推進委員会の3回開催(6・10・2月)	○全54施策について, 中間及び最終評価による進行管理・評価の実施
○施策の点検と評価のダイジェスト版を作成・配付		○9月にダイジェスト版を作成・配付	
当初予算額	553 千円	決算額	546 千円
構成事業2			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業3			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業4			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業5			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円
構成事業6			
H29事業計画		H29事業成果	
当初予算額	千円	決算額	千円



● 予算・決算の状況

当初予算額		決算額	
H27	588 千円	H27	609 千円
H28	812 千円	H28	732 千円
H29	553 千円	H29	546 千円
H30	千円	H30	千円
H31	千円	H31	千円
合 計	1,953 千円	合 計	1,887 千円

注:再掲事業分を含む

● 29年度の取組に対する評価

○5月に、新潟市教育ビジョン第3期実施計画平成29年度施策最終評価を行った。全施策の数値評価の平均は4.17、NEXT&NEWの平均は4.22となった。このことにより、施策が着実に進捗していると判断できる。

○教育ビジョン全54施策のうち、数値評価できるものが51施策あるが、昨年度と比較すると次のように変わった。

・指標を達成した施策(評価5と4)は45施策であり、昨年度よりも2施策増加し、割合も84.3%から86.3%に増加した。

・目標を達成できなかった施策(評価3と2と1)は7施策であり、昨年度よりも2施策減少し、割合も15.7%から13.7%に減少した。また3期進捗評価平均における評価1の施策はなくなった。

これらにより、「3期進捗評価平均」は評価4となり、第3期実施計画において施策は着実に実施され成果を挙げていると判断できる。但し、目標を達成できなかった7施策については、今後、その状況の分析や平成30年度に向けた改善策が必要と考える。

○「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づく「教育委員会の事務執行にかかる点検・評価」として教育ビジョンの評価を活用した。

○9月に、教育ビジョン第3期実施計画のNEXT&NEWの20施策を中心にした『平成28年度施策の点検と評価(ダイジェスト版)』を作成し、市内各校の全教職員や関係機関等に配付した。このことにより、特に、教職員の新潟市教育ビジョン各施策への関心を高めることができた。

● 30年度の取組

○教育ビジョン第3期実施計画の平成28年度施策最終評価の結果や、それに対する教育ビジョン推進委員会での意見や助言を生かし、下半期での適正な進行管理を進める。

● 推進委員からの意見・要望等